

2026

令和8年度版

# 研修講座案内

## ～磨かん共に～



### 長野県総合教育センター

Nagano Prefectural Education Center

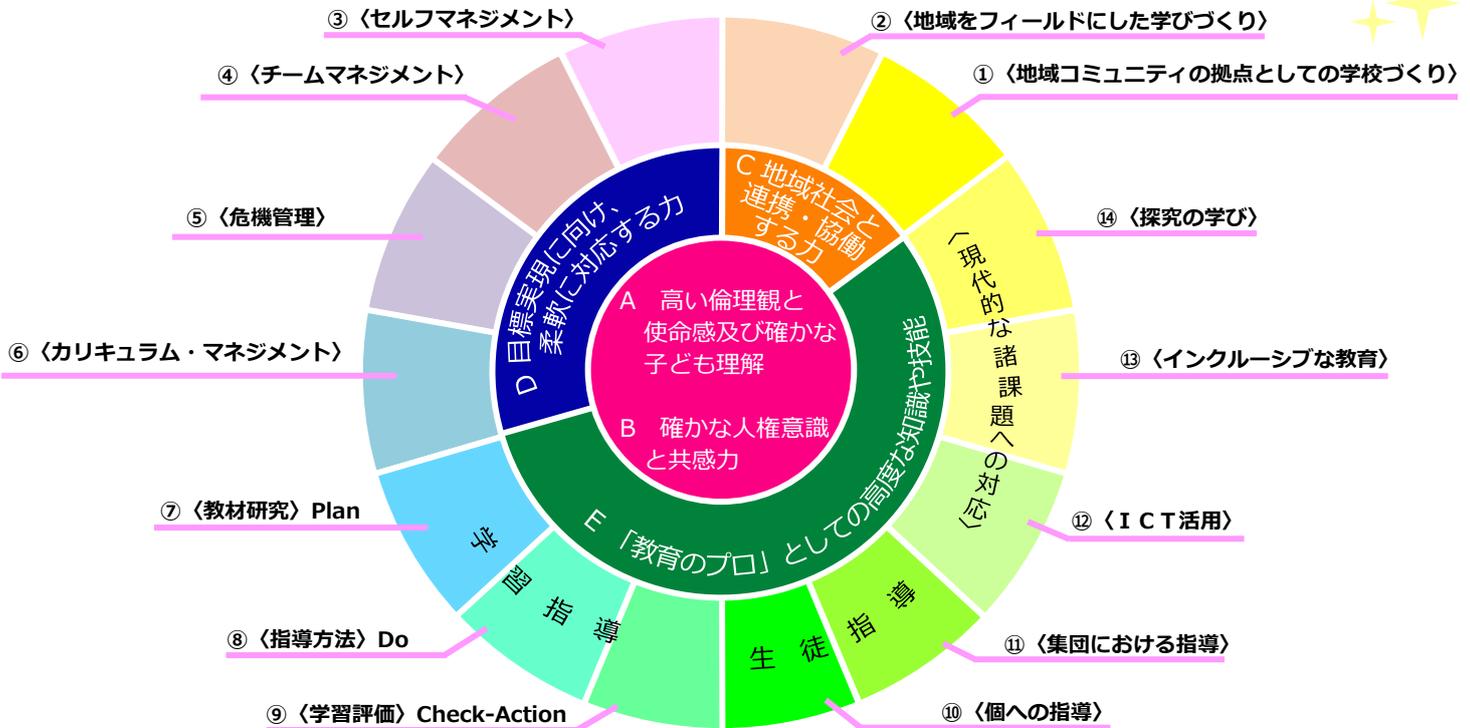
住所 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢6342-4  
電話 0263-53-8800 (代表)  
ファミリ 0263-51-1290 (代表)  
ホムページ <https://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp>  
メール [sogokyoiku@pref.nagano.lg.jp](mailto:sogokyoiku@pref.nagano.lg.jp)

【総務部】	0263-53-8800
【企画調査部】	0263-53-8802
【教科教育部】	0263-53-8803
【教科教育部(学校体育担当)】	0263-51-5400
【教職教育部】	0263-53-8804
【生徒指導・特別支援教育部】	0263-53-8833
	53-8805
【情報・産業教育部】	0263-53-8806
	53-8807

# 長野県教員育成指標

平成29年4月に教育公務員特例法の一部が改正され、校長及び教員の職責、経験及び適性に於いてその資質の向上を図るための必要な指標を定めることとされました。この改正を受け、長野県教育委員会では、平成30年4月「長野県教員育成指標」を策定しました。この指標は、教員自身が教職キャリア全体を俯瞰し、学び続け、力量向上を図るための目安となるものです。

なお、教員の資質の向上にあたっては、学校における働き方改革をより一層推進する中で研修の時間を生み出すことが必要です。



長野県教員研修体系（平成25年11月策定）に示された5つの資質能力を、常に意識化を図る「A 高い倫理観と使命感及び確かな子ども理解」と「B 確かな人権意識と共感力」を中核にし、その周囲に、経験と研修を積むことで高めていく「C 地域社会と連携・協働する力」、「D 目標実現に向け、柔軟に対応する力」、「E 『教育のプロ』としての高度な知識や技能」としました。さらに、これらを支える14のスキルを位置付けました。また、長野県では、教員のキャリアステージを「基礎形成期」「伸長期」「充実期」「深化・貢献期/管理職期」に区分し、それぞれのキャリアステージの高まりを示しています。

教員のキャリアステージ

深化・貢献期相当 (経験20年程度以上) 管理職期相当	<b>○第Ⅳ期 深化・貢献期相当/管理職期相当</b> 深化・貢献期/管理職期は、教員としての人間力をさらに向上させ、豊富な経験を生かし、多面的・多角的な視野をもって組織的な運営を推進していく時期です。学校運営や、他の職員への助言や支援、学校の教育課題の解決を行い、学校や地域全体の教育力を向上させるリーダーとしての役割を担います。
充実期相当 (経験10年から20年程度)	<b>○第Ⅲ期 充実期相当</b> 充実期は、学校の中核となる教員としての自覚をもち、組織マネジメントやリスクマネジメントなどの力を身に付け、それらを発揮していく時期です。チームとしての学校への貢献度を高め、校内研修の充実を図りながら、学校の教育力を高めます。
伸長期相当 (経験5年から10年程度)	<b>○第Ⅱ期 伸長期相当</b> 伸長期は、教科指導や生徒指導の力をさらに身に付け、これまでの自分の実践を見返しながら、専門性を高めていく時期です。教科や学年などのグループのリーダーとして、同僚性を高めたり、推進力を発揮したりしていきます。
基礎形成期相当 (経験1年から5年程度)	<b>○第Ⅰ期 基礎形成期相当</b> 基礎形成期は、教科指導や生徒指導について基礎的・基盤的な力を身に付け、実践力を磨く時期です。任された業務に積極的に取り組み、よい授業や学級経営に触れ、先輩や同僚から学びながら、常に新たな視点を身に付けていきます。
着任時	○着任時に長野県教育委員会が求める姿
養成期	○養成期（主に大学等での教員養成の段階で身に付けます。）



## 《 目 次 》

### 受講の手引

はじめに	1
I 教員対象研修	
1 指定研修	2
2 希望研修	4
II 受講上の注意事項	6
1 受講日・持ち物等について	2
2 研修講座の基本日程について	3
3 研修室について	6
4 昼食について	5
5 送迎について	6
6 駐車場の利用について	6
7 旅費について	8
8 宿泊施設の利用について	8

### 研修講座案内

講座案内表の見方	8
I 指定研修	9
1 校長・教頭研修	10
2 初任者研修（幼稚園等・小学校・中学校・特別支援学校）	12
3 初任者研修（高等学校）	17
4 キャリアアップ研修Ⅰ（小学校・中学校・特別支援学校）	23
5 キャリアアップ研修Ⅰ（高等学校）	25
6 キャリアアップ研修Ⅱ（幼稚園等・小学校・中学校・特別支援学校）	27
7 キャリアアップ研修Ⅱ（高等学校）	32
8 キャリアアップ研修Ⅲ	36
II 希望研修	
文部科学省・国立教育政策研究所から講師を招いた講座	37
学校力の向上を目指す研修講座	38
1 教科等教育研修	41
2 学校体育研修	51
3 生徒指導研修	55
4 特別支援教育研修	58
5 情報教育研修	62
6 産業教育研修	65
7 産業教育実践研修	68
8 産業教育教材探究	69
9 先端技術研修	70
III 大学連携講座	
信州大学教職支援センター 連携講座・夏季集中講義	71
信州大学教職大学院 連携講座	73
長野大学 連携講座	74
上越教育大学教職大学院 連携講座	75
IV 生涯学習推進センター 研修講座	
総合教育センターとの連携講座	76
総合教育センターとの連携講座以外の講座	78

### 巻末

教職員研修会サポート案内	81
研修を欠席・遅刻・早退する場合の申請について	82
欠席・遅刻・早退に係る電子申請の方法	裏表紙裏

# 令和8年度 総合教育センター事業の方向

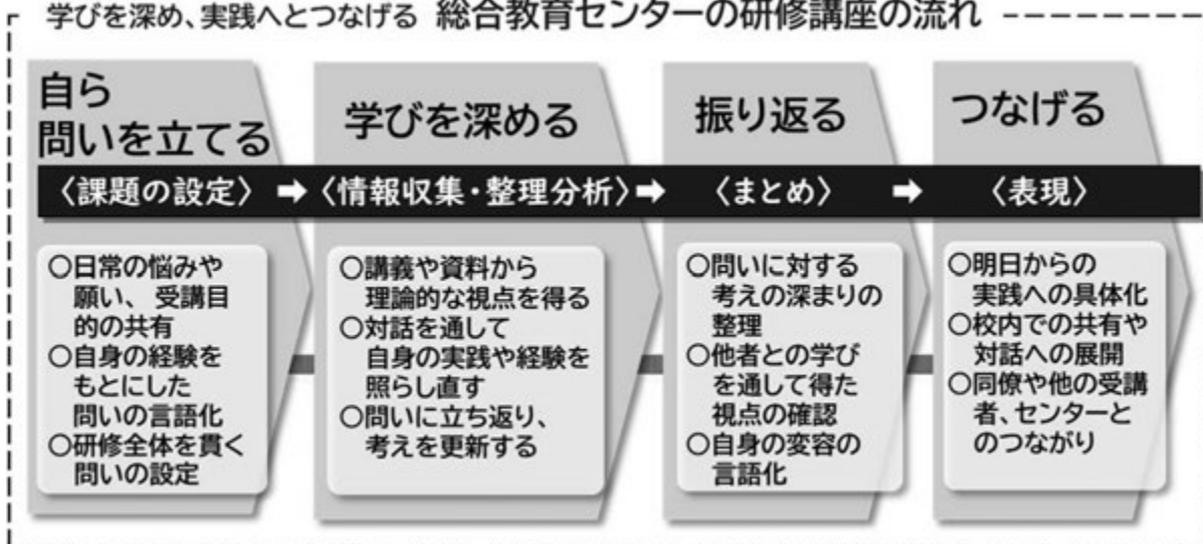
〔総合教育センター事業目標〕

**対話の楽しさや気づきを起点に、  
学びを深め、実践へつなげる研修**

## 重点1 対話を通して学びの深まりを実感できる探究的な研修の充実

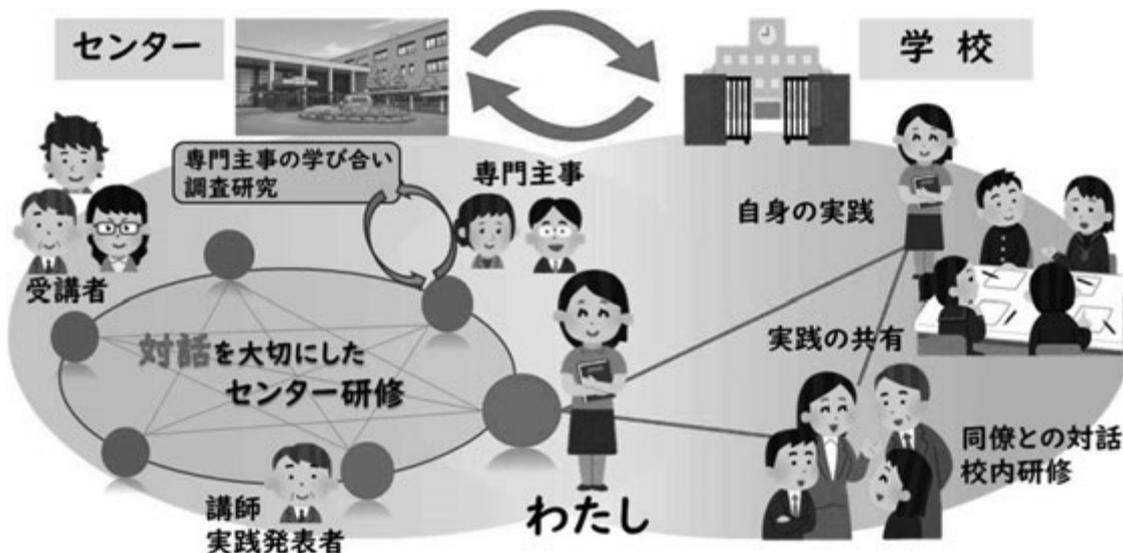
自らの願いや問いをもとに、他者との対話を通して学びを深め、実践と理論を行き来しながら、自分の教育観や授業観を見つめ直す探究的な研修を目指します。研修デザインやファシリテーションを工夫し、先生方の学びがより深まり、自身の省察や新たな気づきへとつながるようにします。

学びを深め、実践へとつなげる 総合教育センターの研修講座の流れ



## 重点2 共に探究する「学び合いのコミュニティ」の創出

先生方が安心して語り合い、互いの経験や考えを通して学び合うコミュニティの創出を目指します。また、先生一人ひとりの中での学び、学校現場での先生同士の学び合い、学校とセンターの往還、そしてセンター自身の学びが、互いに響き合っていくよう目指していきます。



# 受講の手引

## 講座内容・連絡

- (1) 各研修講座の「内容、連絡等」を必ず事前にお読みください。
- (2) 全国教員研修プラットフォーム（以下、Plant）や当センターのホームページに、追加連絡や講師の変更等についての情報を掲載する場合がありますのでご確認ください。  
 ※ 当センターのホームページに掲載される追加連絡は「研修講座の追加連絡はこちらから」のバナー（右図）からご確認ください。  
 ※ 学校代表のメールアドレスへ連絡事項を送信する場合があります。
- (3) 受付終了時刻までに入室してください。それ以降は遅刻となります。  
 ※ 研修講座の基本日程は p. 6 又は裏表紙を参照してください。
- (4) 欠席、遅刻、早退する場合は、必ず管理職を通じて申請をしてください（p. 82 参照）。
- (5) 体調がすぐれない場合には、無理をせず早めに管理職に申し出てください。



## 会場・受付

- (1) 各研修講座の会場は、当日、当センター入口の電子掲示板に表示されています。
- (2) 受付は電子掲示板に表示されている会場で行います。
- (3) 当センター以外の会場（オンラインも含む）で行う研修講座については、詳細な通知が Plant 及び当センターのホームページに掲載されますので、そちらも確認してください。



## 磨かん共に

平成8年に総合教育センターが設立された際、センター設置の理念を込めて石碑に刻まれ、玄関前に設置されました。

学校教育に携わる者、生涯教育に携わる者、幅広く教育に関心をもつ者、いずれも教育への熱意と探究心をもつ者が共に集い研鑽する場でありたいとの願いが込められています。総合教育センター、生涯学習推進センターへお越しの際は、是非足を止めてご覧ください。

## はじめに

長野県教育委員会では、平成25年11月に「長野県教員研修体系」を策定し、長野県の教員に求められる5つの資質能力を示しました。そして、平成28年11月教育公務員特例法の一部改正を受けて「長野県教員育成指標」を策定しました。この育成指標は、教員が各ステージにおいて担う役割を明らかにするとともに、自らの職責や経験、適性に応じて効果的、継続的に学び続けることができるよう目安を示したものです（長野県教員育成指標については表紙裏参照）。

これを受け、総合教育センターでは、キャリアステージに応じて総合的な教師力の向上を目指す指定研修と学校・園の学校力の向上および教師力の向上を目指す希望研修を提供します。

また、平成29年3月、平成30年3月に公示された学習指導要領を受けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善をすすめる研修を提供し、受講内容の帰校後の共有・活用にいたるまでをサポートします。

# I 教員対象研修

## 1 指定研修

指定研修には、初任者研修（1年次・2年次）、キャリアアップ研修Ⅰ（5年経験者研修）、中堅教諭等資質向上研修にあたるキャリアアップ研修Ⅱ（10年経験者研修）、キャリアアップ研修Ⅲ（20年経験者研修）、校長・教頭を対象とした研修があり、キャリアステージに応じて研修が設定されています。

初任者研修及びキャリアアップ研修Ⅰ、Ⅱでは、講義・演習を通して、それぞれのキャリアステージに応じて求められる資質と能力を向上させるとともに、学校で直面している教育課題に対応できる知識と技能の習得につなげます。

キャリアアップ研修Ⅲでは、充実期の教員として専門性や人間性を高め、ミドルリーダーに求められる実践力の向上を目指します。

校長・教頭を対象とした研修では、学校経営を行うために管理職として必要な識見を高めるとともに、各校の教育理念に基づいた学校経営につながる研修を行い、直面する様々な教育課題の解決に役立つ知識と手法を、講義・演習により学びます。

### (1) 概要（詳細は各指定研修の「研修の手引」を参照）

#### ① 校長研修・教頭研修

総合教育センター主催は共通必修研修のみ（p.10に掲載）【申込み不要】

#### ② 初任者研修

校種	総合教育センター主催の共通必修研修 【申込み不要】	選択必修研修・校外研修 【申込み必要】	掲載ページ
幼	○ 令和8年度採用者 全県セッションⅠ	1日	p.12
小中義特	○ 1年次（令和8年度採用者） 全県セッションⅠ 全県セッションⅡ（オンライン） 全県セッションⅢ	1日 1日 1日	○ 「わたしが選ぶ」 総合教育センター研修 1日 総合教育センターの対象講座から選択
	○ 2年次（令和7年度採用者） 全県セッション（オンライン）	1日	○ 「わたしが選ぶ」 校外研修 1日 総合教育センターの対象講座からも選択可能
高	○ 1年次（令和8年度採用者） 講座案内 p.17~19 を参照	12日	○ 選択必修研修 3日間 総合教育センターの対象講座から選択
	○ 2年次（令和7年度採用者） 2年次教職研修A・B	1日	p.22

#### ③ キャリアアップ研修Ⅰ

校種	総合教育センター主催の共通必修研修 【申込み不要】	選択必修研修（特別支援学校のみ） 【申込み必要】	掲載ページ
小中義特	○ 全県セッションA・B	1日	○ 「わたしが選ぶ」 総合教育センター研修 1日 総合教育センターの対象講座から選択
高	○ 教職研修ⅠA・B ○ 教職研修ⅡA・B	1日 1日	p.25

#### ④ キャリアアップ研修Ⅱ

校種	総合教育センター主催の共通必修研修 【申込み不要】	選択必修研修・校外研修 【申込み必要】	掲載ページ
幼	○ 全県セッションⅠ	1日	p.27
小中義	○ 全県セッションⅠA・B ○ 全県セッションⅡA・B	1日 1日	○ 「わたしが選ぶ」 総合教育センター研修 1日 総合教育センターの対象講座から選択
	○ 全県セッションⅠA・B ○ 全県セッションⅡA・B	1日 1日	○ 「わたしが選ぶ」 校外研修 1日 総合教育センターの対象講座からも選択可能

高	○ 教職研修ⅠA・B	1日	○ 選択必修研修 2日 総合教育センターの対象講座から1日 県教育委員会が指定する授業公開等から1日	p. 32
	○ 生徒指導力充実研修	1日		
	○ 教職研修Ⅱ	1日		
	○ 教職研修Ⅲ	1日		

⑤ キャリアアップ研修Ⅲ

校種	総合教育センター主催の共通必修研修 【申込み不要】	選択必修研修・校外研修 【申込み必要】	掲載ページ
小中 義特	/	○ 「わたしが選ぶ」 校外研修 1日 総合教育センターの対象講座からも選択可能	p. 36
高		○ 校外研修 1日 総合教育センターの対象講座からも選択可能	

(2) 猶予、休止・再開について（各様式はホームページを参照）

① 猶予（各研修種の研修の全てを受講できない場合）

研修種及び講座	申請書類	送付先
小・中・特 初任者研修（2年次研修）	「2年次研修猶予願」（様式28）	総合教育センター 【電子申請】
高校 初任者研修（2年次研修）	「指定研修猶予願」（様式第40号）	
キャリアアップ研修Ⅰ		
キャリアアップ研修Ⅱ		
キャリアアップ研修Ⅲ		

（注）前年度の対象予定者調査票に「猶予予定」と回答した場合は、「猶予願」の申請は必要ありません。調査時と変更になった場合のみ申請してください。

② 休止・再開（年度途中で研修を休止または再開する場合）

研修種及び講座	提出書類	送付先
初任者研修（2年次研修）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休止する場合 「指定研修休止願」（様式44） 「指定研修報告書（休止者用）」 （様式は「研修の手引」参照）</li> <li>・ 再開する場合 「指定研修再開願」（様式45）</li> </ul>	電子申請の後 小学校・中学校・義務教育学校 市町村教育委員会 高校・県立中学校 学びの改革支援課 特別支援学校 特別支援教育課 【すべて郵送】
キャリアアップ研修Ⅰ		
キャリアアップ研修Ⅱ		
キャリアアップ研修Ⅲ		

（注）キャリアアップ研修Ⅰの高校教諭は、「指定研修報告書（休止者用）」の提出は必要ありません。

(3) 欠席及び遅刻・早退について

対象者が学校行事や健康上のやむを得ない事由等で研修を欠席する場合、校長・園長は、**電話にて教職教育部長（0263 - 53 - 8804）に連絡をした後、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください（p. 82 参照）**。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル（様式第60号）を出力し、所属校で保管してください。  
なお、代替研修については、後日担当者から連絡します。

(4) 改姓について

送付した決定通知に記載された教職員で、姓の変更が必要な場合、**管理職は、教職教育部（0263 - 53 - 8804）に連絡してください。**

## 2 希望研修

教科指導や生徒指導、学校運営に関わる知識・技能及び資質の向上又は課題の解決に向けて、指導の基礎・基本から専門性の深化まで各自のキャリアステージに合わせた研修講座を選択することができます。

### (1) 概要

研修分野	対象者
学校力の向上を目指す研修、 教科等教育研修、学校体育研修、 生徒指導研修、特別支援教育研修、 情報教育研修、産業教育研修、 産業教育実践研修、産業教育教材探究、 先端技術研修	受講を希望する教員（育休中を含む）のうち、所属長が推薦し、センター所長がその受講を決定した者。 ・育休中の教員が受講を希望する場合は、申込み前に所属長より、企画調査部（0263 - 53 - 8802）へお問い合わせください。 ・療休中の教員の受講は、原則としてできません。 ※行政職員や教育委員会の指導主事の受講申込みについては、(6)の②を確認してください。

### (2) 希望研修受付に係る日程

4月13日（月）希望研修申込受付開始

4月24日（金）希望研修教員申込締切

（学校管理職申込承認は4月28日（火）まで）

5月19日（火）希望研修の受講者選考結果公表  
（午後1時以降に公表）

5月20日（水）追加募集開始

6月4日（木）希望研修スタート

5月に行われる学校体育研修については、  
5月19日（火）より前に受講決定者へ通知します。

### (3) 受講申込みについて

- ① 希望研修対象講座（p.37～77（連携講座も含む））の中から選んでください。
- ② 希望研修は、4月の申込みでは**1人3講座まで**申し込むことができます。複数の研修講座を申し込む場合は、実施日が重複しないよう注意してください。また、他のスケジュールと重複することがないように、所属校の年間行事予定、指定研修日など十分確認してください。  
（講座名の表記に係る注意）  
講座名末尾にA、Bが付してある研修講座は、同じ内容を複数回実施する研修講座です。重複して申し込むことはできません。
- ③ **受講申込みは、Plant を通じて申し込んでください**（Plant マニュアルは当センターのホームページからダウンロードできます）。Plant に登録されていない教員（公立学校の非常勤講師、私立学校の教員、幼稚園・認定こども園の教員等）の受講申込みは、教頭を通じて、「ながの電子申請サービス」から申込みを行ってください（当センターのホームページ「希望研修の情報・申込はこちらから」のバナーから行ってください）。
- ④ 教頭は、Plant の学校管理職アカウントにて、**4月28日（火）までに受講申込みの承認・否決の登録**を行ってください（Plant マニュアルを参照）。
- ⑤ 受講の採否は、5月19日（火）午後1時以降にPlant 上で公表しますので、Plant にログインして確認してください。**学校や受講申込者への紙による通知は行いません。各校にて受講希望者への周知をお願いします。**Plant に登録されていない教員の受講の採否は、「学校別受講決定者通知書」を所属長あてに郵送します。

#### (4) 追加募集する研修講座について

- ① 申込み締切以降、追加募集する研修講座がある場合は、引き続き申込みを受付けます。追加募集する研修講座の一覧を、5月20日（水）にPlant及び当センターのホームページに掲載します。
- ② 追加募集講座への申込み数に制限はありません。4月の申込みで3講座申し込んだ方も、新たに申し込むことができます。他のスケジュールと重複することがないように十分確認してください。
- ③ 追加募集講座への申込みは、(3)の③及び④と同様に行ってください。
- ④ 申込みは5月20日（水）から始まります。各講座の実施日の10日前までに申し込んでください（実施日の10日前が土日・祝日である場合は、申込み締切日を直前の平日に繰り上げます）。
- ⑤ 申込状況により、各講座の締切日より前に募集を終了する場合があります。

#### (5) 欠席、遅刻・早退について

##### ① 欠席について

対象者が学校行事や健康上のやむを得ない事由等により研修を欠席する場合、管理職は、**電話にて企画調査部（0263 - 53 - 8802）に連絡をした後、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください（p. 82 参照）**。その際、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル（様式第71号）を出力し、所属校で保管してください。欠席する教職員に代わり他の教職員が受講する場合、代理受講者についても申請してください。欠席しなければならないことが分かった時点で、できるだけ早く、当センターへの連絡、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください。

なお、材料費を必要とする研修講座では、止むを得ない事由等で**欠席した場合も材料費を徴収**させていただきます。所属校の教頭を通じて連絡を取らせていただきますのでご承知おきください。

##### ② 遅刻・早退について

管理職は、**電話にて企画調査部（0263 - 53 - 8802）に連絡をした後、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください（p. 82 参照）**。その際、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル（様式第71号）を出力し、所属校で保管してください。

なお、体調不良等で、当日早退する場合は、当センターから所属長へ電話にて連絡します。その場合は後日、**欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください**。

#### (6) その他

- ① 手話通訳者の希望がある場合は、事前に管理職から企画調査部（0263 - 53 - 8802）に連絡してください。手話通訳者の派遣依頼に時間を要しますので、早めの連絡をお願いします。
- ② 行政職員や教育委員会の指導主事が当センターの研修講座への参加を希望する場合は、研修の視察として扱います。5月20日（水）以降に、所属長から企画調査部長へお問い合わせください。参加を希望する研修講座の講座担当者に受講の可否を確認します。受講が可能である場合は、当センターのホームページ「希望研修の情報・申込はこちらから」のバナーから、「ながの電子申請サービス」を通じて「研修講座への視察について（様式1号）」を企画調査部へ提出してください。
- ③ 信州大学教育学部附属学校園、私立学校（幼稚園・認定こども園を含む）の教職員が当センターの研修講座を受講する場合、講座受講料として1人1講座1,000円をいただきます。研修終了後に所属長あてに納付書を送付します。また、研修講座によっては材料費等が別途必要になる場合があります。詳細は p. 37～77 の希望研修対象講座一覧表で確認してください。

## Ⅱ 受講上の注意事項

### 1 受講日・持ち物等の確認について

- (1) **申込講座の採否はPlantにて確認をしてください。** Plant に登録されていない教員の申込講座の採否は、当センターから郵送される「学校別受講決定者通知書」を確認してください。
- (2) 研修講座の受講日や持ち物等については、研修講座案内の他、Plant や当センターのホームページ「追加連絡はこちらから」を確認してください。
- (3) 講師の承諾が得られたテキスト等については、受講日の3日前までに電子データを Plant に掲載し、その旨を Plant に登録しているメールアドレスを通じてお知らせします。**受講日当日、当センターにおいて、印刷・製本したテキスト等を受講者全員に配付しますが**、テキスト等が Plant に掲載された場合は、個人端末に電子データを保存して持参することもできます（ダウンロード方法等はPlant マニュアルを参照）。
- (4) **研修講座のふりかえりはPlantへの入力となります**（Plant に登録されていない受講者については、受講日当日に Google Forms や用紙でのふりかえりを案内します）ので、**Wi-Fiに接続でき、Plantにログイン可能な端末をご持参ください。** 端末持参が難しく受講日当日にふりかえりを Plant に入力できない場合には、帰校後入力していただくようになります。

### 2 研修講座の基本日程について

終日開催の基本日程	
受付	9:10 ～ 9:35
午前の研修	9:40 ～ 12:00
昼食	12:00 ～ 13:00
午後の研修	13:00 ～ 16:10

半日開催の基本日程		
午前	受付	9:10 ～ 9:35
	研修	9:40 ～ 12:10
午後	受付	13:10 ～ 13:35
	研修	13:40 ～ 16:10

### 3 研修室について

- (1) ゴミは持ち帰ってください。
- (2) 冷暖房は、長野県が推進するエコマネジメント長野に基づく内規により運用しています。受講者もクールビズ、ウォームビズにご協力ください。**特に、寒い時期には防寒対策を各自で行うようお願いします。**

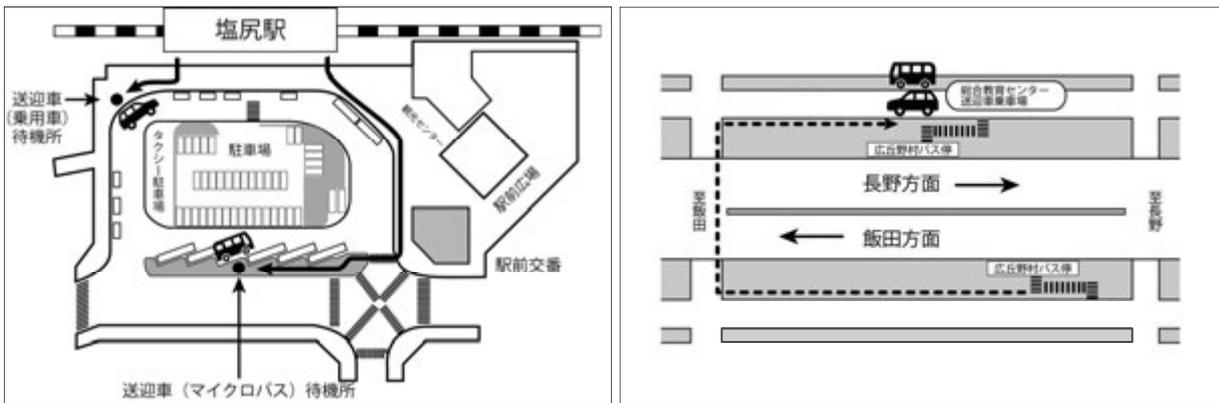
### 4 昼食について

- (1) 当センターの食堂「温故」は営業していません。
- (2) メインラウンジにて、不定期にお弁当等を販売している場合があります。詳細は当センターのホームページを確認してください。また、数に限りがありますのでご注意ください。
- (3) 昼食場所については、講座担当者の指示に従ってください。
- (4) センター外から持ち込んだ弁当の容器やペットボトル等は、ゴミ袋等を持参し、必ず持ち帰ってください。メインラウンジで購入したお弁当の容器も同様をお願いします。

## 5 送迎について

- (1) 送迎は、塩尻駅（東口）～長野道高速バス停留所（広丘野村）～総合教育センターの区間です。
- (2) **利用日の7日前までに**、当センターのホームページから電子申請で申し込んでください。期限を過ぎてからの申込みは、受け付けられない場合があります。また、申込期限までに**利用者がいない場合には、運行しません**ので注意してください。  
 ※ 信州大学教育学部附属学校園、私立学校（幼稚園・認定こども園を含む）の教員は、申し込む前に、総務部（0263 - 53 - 8800）に連絡してください。
- (3) 申込みを取り消す場合は、速やかに総務部（0263 - 53 - 8800）まで連絡してください。
- (4) 送迎車の運行時刻及び乗降場は次のとおりです。半日の講座で利用する場合はお問い合わせください。

センター行き	センターからの帰り
高速バス停留所（広丘野村）発 午前8時50分	総合教育センター 発 午後4時20分
塩尻駅（東口） 発 午前9時10分	高速バス停留所（広丘野村）着 午後4時30分
総合教育センター 着 午前9時30分	塩尻駅（東口） 着 午後4時45分



- ※利用者の人数によりマイクロバスではなく乗用車の場合もあります。
- ※JR塩尻駅の送迎車待機場所はマイクロバスの場合と乗用車の場合では異なりますので注意してください。

## 6 駐車場の利用について

植込みのある場所では、無理のない範囲で前向き駐車にご協力ください。混雑時は係員の指示に従ってください。

## 7 旅費について

県立学校以外の旅費は長野県教育委員会義務教育課に請求してください。当センターが主催する研修は研修旅費となります。私立学校（幼稚園・認定こども園を含む）については、学校（園）負担となります。

## 8 宿泊施設の利用について

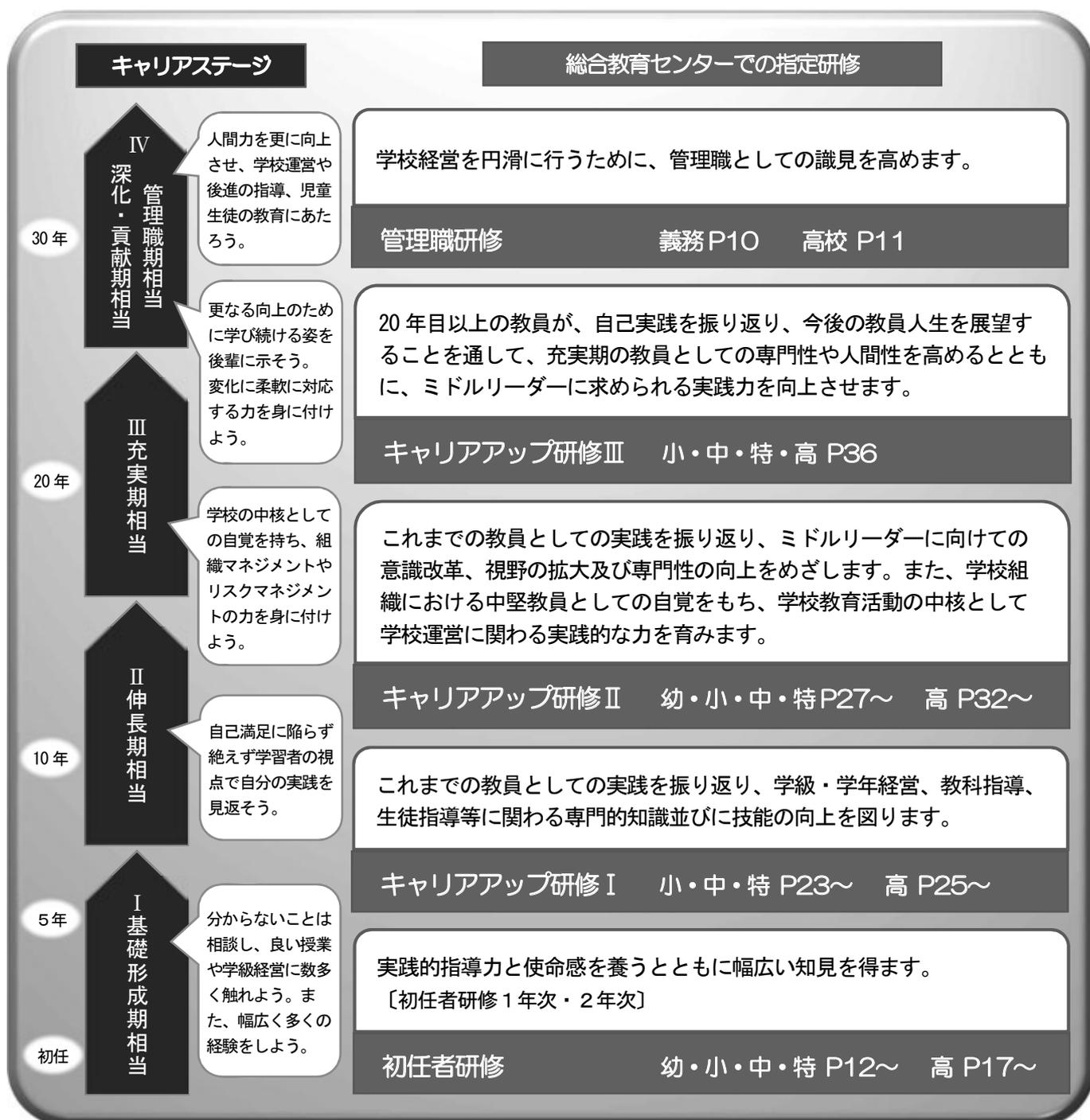
当面利用できません。



# I 指定研修

私達は、教職生活を通じ、継続的に資質能力の向上を図る必要があります。また、キャリアステージに応じた担うべき役割を意識し、チームとして連携・協働し、組織的に対応できるようにすることも大切です。

教員育成指標は、教職全体を俯瞰し、各キャリアステージで目安となる資質能力を示したものであり、それに基づいて、指定研修は設定されています。自分の現状を把握し、必要な知識・技能を身に付けるため「学び続ける教員」を支援します。



I 指定研修

# 1 校長・教頭研修

指定研修  
校長・教頭研修

- 校長・副校長・教頭を対象とした悉皆の研修です。
- 学校経営を円滑に行うために、管理職としての識見を高めるとともに、各校の教育理念に基づいた学校組織マネジメントに資する研修を行います。各学校が直面する様々な教育課題を解決するために、それらに対応した講義・演習を通して、その具体的な解決手法を考えます。

## 1 研修講座の日程等

### 【義務校長・副校長・教頭】

研修（講座）名	実施日	日数	対象	欠席の対応
義務校長マネジメント研修（オンライン）	9月15日（火）	1日	義務校長	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を 確認してください。
義務教頭マネジメント研修（オンライン）	10月20日（火）	1日	義務副校長・教頭	
義務新任教頭研修Ⅰ（オンライン）	5月25日（月）	1日	義務新任教頭	
義務新任教頭研修Ⅱ	6月1日（月）	1日	義務新任教頭	

校長・教頭研修 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校				
講座番号・講座名		実施日	内容、連絡等	
2-1-01-01 義務校長マネジメント研修(オンライン)		9月15日(火) 【オンライン研修】 在勤校等	行政説明「健康教育の課題とその対応」 保健厚生課教育主幹 講演・演習「幼保小中高接続を基軸に捉えた学校運営と授業改善 ～有能な学び手としての子どもを支える 教育の連続性を考える～」 講師 長野県立大学 教授 太田 光洋 講義「OODAループで学校改善を日常化する」 講師 国士舘大学 客員教授 喜名 朝博	
アセスメント	マネジメント		■実施方法等、詳細は別途Plantにて連絡します。	
○	○	○	○	○
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	
2-1-02-01 義務教頭マネジメント研修(オンライン)		10月20日(火) 【オンライン研修】 在勤校等	管理職としての資質及び実務能力の向上を目指します。 行政説明「長野県校長育成指標等について」 学びの改革支援課 行政説明「健康教育の課題とその対応」 保健厚生課 講義「探究的な学びにおける日本の現状と課題」 講師 東京科学大学 執行役副学長 白井 俊 情報交換	
地域社会と連携・協働	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		■実施方法等、詳細は別途Plantにて連絡します。	
目標実現に向け、柔軟に対応する力	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	(4) (5) (14)
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	
2-1-03-01 義務新任教頭研修Ⅰ(オンライン)		5月25日(月) 【オンライン研修】 在勤校等	管理職としての資質及び実務能力の向上を目指します。 講義「児童虐待の相談の対応状況と教育機関との連携について」 心の支援課主任指導主事 講義・演習「非違行為防止と学校事故対応」 義務教育課管理係担当係長 講義・演習「学校における危機管理『リスク・マネジメント』」 講師 鳴門教育大学 客員教授 阪根 健二	
地域社会と連携・協働	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		■実施方法等、詳細は別途Plantにて連絡します。	
目標実現に向け、柔軟に対応する力	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	(4) (5)
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	
2-1-03-02 義務新任教頭研修Ⅱ		6月1日(月)	管理職としての資質及び実務能力の向上を目指します。 講義「教頭の服務と心得」 義務教育課長 講義「生徒指導・特別支援教育の現状と課題」 生徒指導・特別支援教育部長 講義・演習「人を育て、組織を育てるコーチング」 講師 PHP研究所公認ビジネスコーチ（上級） 常葉大学大学院 教授 久米 昭洋	
地域社会と連携・協働	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		■持ち物 端末 (p.6参照)	
目標実現に向け、柔軟に対応する力	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	(3) (4) (10) (11) (13)
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	

【高校校長・副校長・教頭】

研修（講座）名	実施日	日数	対象	欠席の対応
高校校長マネジメント研修	6月19日（金）	1日	高校校長	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を 確認してください。
高校校長研修	9月4日（金）	1日	高校校長	
高校教頭マネジメント研修	6月11日（木）	1日	高校副校長・教頭	
高校教頭研修	10月15日（木）	1日	高校副校長・教頭	
高校新任教頭研修Ⅰ	5月21日（木）	1日	高校新任教頭	
高校新任教頭研修Ⅱ	8月4日（火）	1日	高校新任教頭	

指定研修  
校長・教頭研修

校長・教頭研修 高等学校		実施日	内容、連絡等													
<b>2-2-01-01</b> 高校校長マネジメント研修		6月19日（金）	これからの時代に必要な組織マネジメントについて考えます。 講義・演習「自律的の学校を支えるマネジメントとリーダーシップ」 講師 東洋大学 准教授 葛西 耕介 講義・演習「非違行為防止に向けて」 講師 NPO法人子ども・人権・エンパワメントCAPながの													
<table border="1"> <tr> <th>アセスメント</th> <th>ファシリテーション</th> <th colspan="3">マネジメント</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>教育課程編成</td> <td>安全安心信頼</td> <td>ワークエンゲージ</td> </tr> </table>	アセスメント	ファシリテーション	マネジメント			○	○	教育課程編成	安全安心信頼	ワークエンゲージ	<table border="1"> <tr> <td>基礎形成</td> <td>伸長</td> <td>充実</td> <td>深化・貢献/管理職</td> </tr> </table>	基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末（p.6参照）
アセスメント	ファシリテーション	マネジメント														
○	○	教育課程編成	安全安心信頼	ワークエンゲージ												
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職													
<b>2-2-01-02</b> 高校校長研修		9月4日（金）	今後の学校づくりに資する人材育成について理解を深めます。 講義・演習「人を育て、組織を育てるコーチング」 講師 常葉大学大学院 教授 久米 昭洋													
<table border="1"> <tr> <th>アセスメント</th> <th>ファシリテーション</th> <th colspan="3">マネジメント</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>教育課程編成</td> <td>安全安心信頼</td> <td>ワークエンゲージ</td> </tr> </table>	アセスメント	ファシリテーション	マネジメント			○	○	教育課程編成	安全安心信頼	ワークエンゲージ	<table border="1"> <tr> <td>基礎形成</td> <td>伸長</td> <td>充実</td> <td>深化・貢献/管理職</td> </tr> </table>	基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末（p.6参照）
アセスメント	ファシリテーション	マネジメント														
○	○	教育課程編成	安全安心信頼	ワークエンゲージ												
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職													
<b>2-2-02-01</b> 高校教頭マネジメント研修		6月11日（木）	組織マネジメントについて理解を深めるとともに、教職員の非違行為防止対策について考え、リスクマネジメント力を高めます。 講義・演習「非違行為防止に向けて」 講師 NPO法人子ども・人権・エンパワメントCAPながの 講義・演習「ワクワクが最強！これからの組織づくりに必要なこと」 講師 東京医療保健大学 特任教授 恩塚 亨 行政説明「本年度の教育施策について」 学びの改革支援課主任指導主事													
<table border="1"> <tr> <th>地域社会と連携・協働</th> <th>目標実現に向け、柔軟に対応する力</th> <th colspan="3">「教育のプロ」としての高度な知識や技能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>③ ④ ⑤ ⑥</td> <td>学習指導</td> <td>生徒指導</td> <td>現代的な課題への対応</td> </tr> </table>	地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				③ ④ ⑤ ⑥	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	<table border="1"> <tr> <td>基礎形成</td> <td>伸長</td> <td>充実</td> <td>深化・貢献/管理職</td> </tr> </table>	基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末（p.6参照）
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能														
	③ ④ ⑤ ⑥	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応												
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職													
<b>2-2-02-02</b> 高校教頭研修		10月15日（木）	管理職として様々な変化に対応できるための視点を考えます。 講義・演習「研修観の転換に向けて」 講師 独立行政法人教職員支援機構 前審議役 佐野 壽則 講義・演習「教頭の心得」 高校教育課教育幹兼管理係長													
<table border="1"> <tr> <th>地域社会と連携・協働</th> <th>目標実現に向け、柔軟に対応する力</th> <th colspan="3">「教育のプロ」としての高度な知識や技能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>④ ⑥</td> <td>学習指導</td> <td>生徒指導</td> <td>現代的な課題への対応</td> </tr> </table>	地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				④ ⑥	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	<table border="1"> <tr> <td>基礎形成</td> <td>伸長</td> <td>充実</td> <td>深化・貢献/管理職</td> </tr> </table>	基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末（p.6参照）
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能														
	④ ⑥	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応												
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職													
<b>2-2-03-01</b> 高校新任教頭研修Ⅰ		5月21日（木）	高等学校管理職としての資質及び実務能力の向上を目指します。 講義・演習「生徒指導上の留意点～現状と課題～」 心の支援課主任指導主事 講義・演習「学びの改革支援課の施策と実務」 学びの改革支援課教育幹兼係長 講義・演習「管理職としての実務」 高校教育課教職員係担当													
<table border="1"> <tr> <th>地域社会と連携・協働</th> <th>目標実現に向け、柔軟に対応する力</th> <th colspan="3">「教育のプロ」としての高度な知識や技能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>④ ⑤</td> <td>学習指導</td> <td>生徒指導</td> <td>現代的な課題への対応</td> </tr> </table>	地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				④ ⑤	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	<table border="1"> <tr> <td>基礎形成</td> <td>伸長</td> <td>充実</td> <td>深化・貢献/管理職</td> </tr> </table>	基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末（p.6参照）
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能														
	④ ⑤	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応												
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職													
<b>2-2-03-02</b> 高校新任教頭研修Ⅱ		8月4日（火）	高等学校管理職としての資質及び実務能力の向上を目指します。 講義・演習「学校組織マネジメントと教頭に期待される役割」 講師 信州大学 准教授 荒井 英治郎 講義・演習「学校経営と保護者対応におけるリスクマネジメント」 講師 神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男													
<table border="1"> <tr> <th>地域社会と連携・協働</th> <th>目標実現に向け、柔軟に対応する力</th> <th colspan="3">「教育のプロ」としての高度な知識や技能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>③ ④ ⑤</td> <td>学習指導</td> <td>生徒指導</td> <td>現代的な課題への対応</td> </tr> </table>	地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				③ ④ ⑤	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	<table border="1"> <tr> <td>基礎形成</td> <td>伸長</td> <td>充実</td> <td>深化・貢献/管理職</td> </tr> </table>	基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末（p.6参照）
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能														
	③ ④ ⑤	学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応												
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職													

I 指定研修

2 幼稚園等  
小学校・中学校・義務教育学校  
特別支援学校

初任者研修

指定研修  
幼・小・中・義務特支  
初任者研修

- 令和8年度（1年次）、令和7年度（2年次）に採用された教員を対象とした悉皆の研修です。教育公務員としての自覚と使命感を養い、教育活動に必要な基礎的・基本的な知識及び技能と実践的指導力を身に付けるとともに、総合的な教師力の向上に繋がる、幅広い知見を得ることを目的とした研修を行います。
- 1年次は12日、2年次は4日の校外研修があります。詳細については「初任者研修の手引」を参照してください。「研修の手引」「様式」は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。  
(トップページ>研修>指定研修>初任者研修)

1 「1年次研修」について

1年次研修は、年間12日の校外研修があります。そのうち、総合教育センターでは「全県セッションⅠ」・「全県セッションⅡ（オンライン）」・「全県セッションⅢ」・「わたしが選ぶ」総合教育センター研修を受講します。他の8日間については、「令和8年度初任者研修の手引」を参照してください。

(1) 共通必修研修（3日）

研修（講座）名	実施日	日数	場所	欠席の対応
全県セッションⅠ	4月14日（火）	1日	総合教育センター	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
全県セッションⅡ（オンライン）	7月27日（月）	1日	在勤校におけるオンライン研修	
全県セッションⅢ	A	7月28日（火）	1日 総合教育センター	
	B	7月29日（水）		
	C	7月30日（木）		
	D	7月31日（金）		

□ 各研修とも期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

初任者研修 幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 総合教育センター研修											
講座番号・講座名					実施日		内容、連絡等				
1-1-01-01 全県セッションⅠ					4月14日（火）		教員の使命や任務を確認し、学級・授業づくりの基礎を学びます。 講話「長野県の教師として期待すること」 県教育委員会教育長 講義「コンプライアンスとサービスの基本」 義務教育課 講義「けがの予防について」 保健厚生課 講義「学級づくり授業づくりの基礎・基本Ⅰ」 学びの改革支援課 協義「学級づくり授業づくりの基礎・基本Ⅱ」 教育事務所 初任研ガイドランス 教育事務所				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能									
		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応							
	③	⑤	⑦	⑧	⑪		⑭				
基礎形成		伸長		充実	深化・貢献/管理職						
1-1-01-02 全県セッションⅡ（オンライン）					7月27日（月）		初任者研修夏期研修の1日目です。高校の養護教諭も参加します。 協議「ワークライフバランスについて」 講義「生徒指導と保護者対応の基礎・基本」 講義・演習「道徳科の授業づくりの基礎・基本」 講義「GIGAスクール構想に求められる1人1台端末の活用」 講師 信州大学教育学部 准教授 佐藤 和紀 講義「子どもを性被害等から守るために」 講師 上智大学総合人間科学部 齋藤 梓 ■実施方法等、詳細は別途Plantにて連絡します。				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			【オンライン研修】						
		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	在勤校等						
	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
基礎形成		伸長		充実	深化・貢献/管理職						



初任者研修 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 「わたしが選ぶ」総合教育センター研修〔教科基礎群〕					
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ
理科	3-1-04-02	中学校理科の授業づくり 基礎 ～実験を通して、授業づくりを考えよう～	- 中 義 特	6月 9日(火)	44
	3-1-04-21	小学校・中学校理科実験 ～理科実験と指導を学ぶ～	小 中 義 特	6月11日(木)	44
	3-1-04-23	小学校理科の授業づくり ～実践を語り、体験し、学び合う～	小 - 義 特	6月25日(木)	44
	3-1-04-24	中学校理科の授業づくり ～実践を語り、体験し、学び合う～	- 中 義 特	6月30日(火)	44
外国語活動	3-1-05-21	子供の力を伸ばす外国語の授業づくり ～子供の「やってみよう！」を引き出す言語活動～	小 中 義 特	6月 9日(火)	45
	3-1-05-22	「できた！」を生み出す外国語の授業づくり ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～	小 - 義 特	7月16日(木)	46
	3-1-05-23	生徒の学びから考える外国語の授業づくり ～言語活動で生徒が働かせている見方・考え方は～	- 中 義 特	8月 5日(水)	46
	3-1-05-24	つきたい力を明確にした外国語の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から考える～	- 中 義 特	10月15日(木)	46
生活	3-1-06-21	生活科 子供の学びを捉える ～ただ一人を追いつけ、児童理解の力を高める～	小 中 義 特	10月 2日(金)	46
音楽	3-1-07-21	調査官と学ぶ音楽科の授業づくり ～学習指導要領の趣旨と指導と評価～	小 中 義 特	6月23日(火)	46
	3-1-07-22	子供から音楽を引き出す授業づくり ～鑑賞や音楽づくりの授業を中心に～	小 中 義 特	8月20日(木)	46
	3-1-07-23	音楽教育の現在から未来へ ～郷土の音楽やAIの授業への活用～	小 中 義 特	10月27日(火)	47
	3-1-07-24	音楽科における個別最適な学びと協働的な学び ～ICTを活用した一体的な充実を目指して～	小 中 義 特	11月26日(木)	47
図画美術工作	3-1-08-21	調査官と考える小学校図画工作と造形遊び ～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～	小 中 義 特	6月 5日(金)	47
	3-1-08-22	調査官と考える中学校・高校美術 ～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～	小 中 義 特	9月 8日(火)	47
	3-1-08-23	見方や感じ方を深める鑑賞の学習 ～@軽井沢ニューアートミュージアム～	小 中 義 特	11月 6日(金)	47
	3-1-08-24	図工・美術でのICT活用 ～演習を通して有効性を学ぶ～	小 中 義 特	11月27日(金)	47
家庭	3-1-09-21	初めての 小学校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～	小 - 義 特	6月 5日(金)	47
	3-1-09-22	初めての 中学校・高校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～	- 中 義 特	6月18日(木)	47
	3-1-09-23	資質・能力を育成する家庭科の授業づくり	小 中 義 特	8月 3日(月)	48
	3-1-09-24	家庭科 消費生活・環境の授業づくり ～最新の情報を取り入れた授業づくり～	- 中 義 特	10月 8日(木)	48
技術	3-1-10-21	デジタルものづくりで描く授業の未来 ～3DCADと3Dプリンターの活用～	小 中 義 特	6月 8日(月)	48
	3-1-10-22	調査官と考える技術科の授業づくり ～生徒が自分の思いや願いを具現化する授業～	- 中 義 -	7月10日(金)	48
	3-1-10-24	STEAM教育、はじめの一步 ～中学校技術科と総合的な学習の時間を窓口に～	小 中 義 特	9月17日(木)	48
道徳	3-1-11-21	子供の「心」を育てる「特別の教科 道徳」～調査官と考える道徳科の指導と評価の一体化～	小 中 義 特	7月10日(金)	48
学校体育	3-1-20-05	仲間をつなぐ授業づくり ～体育の楽しさを学ぼう～	小 中 義 特	7月 9日(木)	51
	3-1-20-07	みんなが楽しいボール運動・球技 ～教材づくりの考え方や教材体験～	小 中 義 特	8月19日(水)	51
	3-1-20-08	子供と創る体育学習 ～子供が主体的に学ぶ体育学習の基本を学ぼう～	小 中 義 特	9月 4日(金)	52
	3-1-20-11	ロイノートを使った授業づくり ～体育・保健体育で活用してみよう～	小 中 義 特	9月17日(木)	52
	3-1-20-12	だれでもできる マット・跳び箱・鉄棒運動 ～できた喜びを味わえる指導法～	小 中 義 特	10月 1日(木)	52
	3-1-20-14	武道のイメージを変える授業づくり ～楽しい剣道への動機づけ～	- 中 義 -	10月15日(木)	52
	3-1-20-15	振付に頼らなくても大丈夫！リズム系ダンス指導 ～みんなちがって みんないい～	小 中 義 特	10月23日(金)	52
	3-1-20-16	誰もがわくわくする運動遊び ～たのしい縄跳び・遊びの教材づくり～	小 中 義 特	11月19日(木)	53
	3-1-20-17	ICT/AI活用で学ぶ未来の保健体育 ～人生に必要な「保健」と「体育」で学ぶ～	小 中 義 特	11月26日(木)	53
	3-1-20-51	小学生のための体づくり運動 ～子どもの体力や身体能力の向上～	小 中 義 特	6月 5日(金)	53
	3-1-20-54	最新の体育・保健体育の授業づくり(小・中) ～体育・保健体育指導力向上研修の伝達～	小 中 義 -	7月10日(金)	54

初任者研修 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 「わたしが選ぶ」総合教育センター研修〔教育課題群〕					
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ
プログラミング教育	3-1-10-23	子供の願いが連続するプログラミング教育 ～AIを活用した問題解決～	小中義特	8月7日(金)	48
	3-1-10-25	ICT端末で育む情報活用能力 ～NHK for Schoolを活用した授業づくり～	小中義特	10月8日(木)	48
特別活動	3-1-12-01	小学校学級づくり 基礎 ～学級活動の授業づくり～	小 - 義特	6月4日(木)	49
	3-1-12-02	中学校学級づくり 基礎 ～学級活動の授業づくり～	- 中義特	6月5日(金)	49
図書館教育	3-1-14-22	図書館教育 ～学校図書館を活用した探究的な学びの創造～	小中義特	11月13日(金)	50
幼年教育	3-1-15-21	幼年教育 子供の遊びと学びを支える ～実践を語り合い、支援を考える～	小中義特	6月15日(月)	50
学校体育	3-1-20-01	安全で、楽しい学校登山 ～学校登山の意義や留意点、安全対策～	小中義特	5月29日(金)	51
	3-1-20-02	プロセスに焦点! グループワークトレーニング ～より良い人間関係の構築に向けて～	小中義特	6月25日(木)	51
	3-1-20-03	スポーツ場面のアンガーマネジメント ～子どもと大人を救うウェルビーイング～	小中義特	6月30日(火)	51
	3-1-20-04	運動の基本動作を身につけるプログラム ～ドイツ生まれのバルシューレ～	小中義特	7月2日(木)	51
	3-1-20-06	誰もが楽しめるインクルーシブ体育 ～アダプテッド・スポーツから広がる体育授業～	小中義特	8月5日(水)	51
	3-1-20-09	実践! 障がいのある子どもの発達を育む運動遊び ～誰もが楽しめるムーブメント教育・療法～	小中義特	9月10日(木)	52
	3-1-20-10	子どもの からだづくり 心づくり ～現代の子どもの育ちについて～	小中義特	9月11日(金)	52
	3-1-20-13	遊びで育つ心と体! 運動遊び実践講座 ～幼児・児童・生徒の笑顔を引き出そう～	小中義特	10月9日(金)	52
	3-1-20-18	スポーツによるケガ予防と再発防止のテーピング ～基礎的な考え方と方法～	小中義特	12月4日(金)	53
	3-1-20-52	脳の発達と幼児期の運動支援 ～子どもの教育に必要なこと～	小 - 義特	10月6日(火)	53
	3-1-20-53	スポーツ活動が充実する体幹トレーニング ～運動パフォーマンスを向上させる理論と実践～	小中義特	10月20日(火)	53
学校の 校向上	3-2-01-21	人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～	小中義特	10月1日(木)	38
	3-2-01-22	人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～	小中義特	10月16日(金)	38
	3-2-03-21	学校と社会がつながるキャリア教育 ～学習意欲の向上を目指す地域とのつながりの構築～	小中義特	8月6日(木)	38
情報教育	3-3-01-21	先生のための知的財産入門 ～ネット時代の著作権と学校のルール～	小中義特	6月19日(金)	63
	3-3-01-22	安全な情報セキュリティのための第一歩 ～先生も生徒も守るセキュリティ実践～	小中義特	10月6日(火)	63
生徒指導 特別支援	3-5-02-22	児童生徒理解と課題への対応Ⅱ ～子供に寄り添う理解と支援～	小中義特	6月26日(金)	56,59
生徒指導	3-5-01-21	教育相談 ～サインを見逃さない教育相談～	小中義特	7月9日(木)	56
	3-5-01-22	関係づくり ～カウンセリングを学んで教師力アップ～	小中義特	10月6日(火)	56
	3-5-02-21	児童生徒理解と課題への対応Ⅰ ～今、学校に求められるいじめ問題の理解と対応～	小中義特	6月8日(月)	56
	3-5-02-23	児童生徒理解と課題への対応Ⅲ(オンライン) ～トラブル回避のための情報モラル教育～	小中義特	9月8日(火)	56
	3-5-02-24	児童生徒理解と課題への対応Ⅳ ～学級の気になる児童生徒の理解と支援～	小中義特	9月17日(木)	56
	3-5-02-25	児童生徒理解と課題への対応Ⅴ ～不登校の児童生徒の理解と支援～	小中義特	10月1日(木)	56
	3-5-02-26	児童生徒理解と課題への対応Ⅵ ～福祉・医療の立場から考える連携・支援～	小中義特	11月13日(金)	56
特別 支援 教育	3-6-01-02	スタート! 特別支援学校 ～特別支援学校で大切にしたいこと～	- - - 特	8月5日(水)	59
	3-6-02-21	通常の学級で学びにくさの壁を壊そう! ～UDLの視点を生かして(小学校・中学校)～	小中義 -	7月6日(月)	59
	3-6-03-26	特別支援教育の授業づくりⅥ ～一緒に楽しもう! 障がいのある子の音楽～	小中義特	9月4日(金)	60
	3-6-04-23	発達と行動を踏まえた支援 ～事例から学ぼう! 応用行動分析～	小中義特	7月2日(木)	60
長野大学 連携講座	3-7-11-21	総合的な学習・探究の時間(オンライン) ～地元をフィールドにした地域の学び～	小中義特	9月11日(金)	49,74
生涯 スポ ーツ	3-9-02-01	スポーツ現場における緊急対応 ～指導者が身につけておきたい応急手当と心肺蘇生法～	小中義特	6月9日(火)	77
	3-9-02-02	スポーツのケガや故障予防とコンディショニング ～パフォーマンス向上のために～	小中義特	6月12日(金)	77
	3-9-02-03	スポーツへ応用できる古武術的身体操法 ～様々なスポーツへつながる指導法～	小中義特	8月2日(木)	77
	3-9-02-04	メンタルトレーニングの理論と実践 ～選手の力を引き出そう～	小中義特	11月13日(金)	77
	3-9-02-05	現場で使える10代アスリートのスポーツ栄養 ～ベストコンディションの実現～	小中義特	11月20日(金)	77

## 2 「2年次研修」について

2年次研修は、年間4日の校外研修があります。そのうち、総合教育センター研修として「**全県セッション（オンライン）**」を受講します。他の3日間については、「令和8年度初任者研修の手引」を参照してください。

研修（講座名）	実施日	日数	場所	欠席の対応
全県セッション（オンライン）	4月28日（火）	1日	在勤校におけるオンライン研修	p. 82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 （代替講座受講）
「わたしが選ぶ」校外研修	年間	1日	総合教育センター	p. 82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。
			各研究会会場 等	主催機関等に連絡して指示を受けてください。

□「全県セッション（オンライン）」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

□「わたしが選ぶ」校外研修は、総合教育センターの義務初任者研修対象の研修講座（p. 13～15）や、各地区で行われる教科の研修会等、様々な研修を各自で選定して受講します。総合教育センターの研修講座を受講する場合は、Plantを通じて総合教育センターへ申し込んでください（締切4月24日（金））。

初任者研修 幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 総合教育センター研修										
講座番号・講座名					実施日	内容、連絡等				
1-1-01-31 全県セッション(オンライン)					4月28日(火)	2年目の教師のあり方を見つめるとともに、人権教育や地域連携を通して、より深い児童・生徒理解の手法について学びます。 協議「2年次ガイダンス」 講義「地域とともにある学校」 講義「人権教育を進めるうえで大切にしたいこと」 講義「GIGAスクール構想に求められる1人1台端末の活用」 講師 信州大学教育学部 准教授 佐藤 和紀 講義「生徒指導・特別支援教育の目指すもの」 ■実施方法等、詳細は別途Plantにて連絡します。				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能		【オンライン研修】 在勤校等					
		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応						
①	②	③		⑩	⑪	⑫	⑬	⑭		
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献/管理職				

## 3 「2年次研修」の猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で**研修の全てに出席できない場合**、校長・園長は、**教職教育部長（0263-53-8804）**に電話連絡をした上で、**指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください**。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル（様式28）を出力し、所属校で保管してください。

猶予願の申請期限：4月15日（水）

# 3 高等学校 初任者研修

- 令和8年度（1年次）、令和7年度（2年次）に採用された教員を対象とした悉皆の研修です。教育公務員としての自覚と使命感を養い、教育活動に必要な基礎的・基本的な知識及び技能と実践的指導力を身に付けるとともに、総合的な教師力の向上に繋がる、幅広い知見を得ることを目的とした研修を行います。
- 1年次は年間19日、2年次は1日の校外研修があります。詳細については、「初任者研修の手引」を参照してください。「初任者研修の手引」様式は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。（トップページ>研修>指定研修>初任者研修）

## 1 「1年次研修」について

1年次の校外研修は年間19日です。そのうち12日は共通必修研修として総合教育センターの研修を受講します。その他、選択必修研修を3日、地区校長会が計画する研修を1日、自らが計画する研修を3日（手引を参照）、合わせて7日受講します。

### (1) 共通必修研修（12日）

研修（講座）名		実施日	日数	場所	欠席の対応
教職基礎研修Ⅰ		4月7日（火）	1日	総合教育センター	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。（代替講座受講）
教科指導基礎研修Ⅰ		4月21日（火）	1日	総合教育センター	
生徒指導基礎研修Ⅰ		5月12日（火）	1日	総合教育センター	
体験研修	A	5月19日（火）	1日	総合教育センター 及び林業総合センター	
	B	5月26日（火）			
教科指導基礎研修Ⅱ	A	6月2日（火）	1日	授業協力校（教科による）	
	B	6月9日（火）			
	C	6月16日（火）			
夏期研修Ⅰ（オンライン）		7月14日（火）	1日	在勤校におけるオンライン研修	
夏期研修Ⅱ	A	7月17日（金）	1日	総合教育センター	
	B	7月21日（火）			
教職基礎研修Ⅱ		8月18日（火）	1日	総合教育センター	
教職基礎研修Ⅲ		8月25日（火）	1日	総合教育センター	
教科指導基礎研修Ⅲ		10月13日（火）	1日	総合教育センター	
生徒指導基礎研修Ⅱ		12月1日（火）	1日	総合教育センター	
課題研究研修		令和9年 1月19日（火）	1日	総合教育センター	

□ 各研修とも期日が指定されるので、申込みは必要ありません。各研修の詳細はp.18~19を参照してください。

初任者研修 高等学校 総合教育センター研修				実施日	内容、連絡等
講座番号・講座名					
1-1-02-01 教職基礎研修 I				4月7日(火)	教育公務員としての基本的なあり方について学びます。 講義「教育公務員としてのサービスの基本」 高校教育課管理係長 講義「長野県における教育課題と展望」 学びの改革支援課高校教育指導係長 講義・演習「円滑な人間関係を築くために」 講師 好生館マナー研究所 青木 孝子
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
	③	⑤	⑩ ⑪		■持ち物 端末 (p. 6 参照) 実習助手は白衣(理科・農業)、作業着(工業)
1-1-02-02 教科指導基礎研修 I				4月21日(火)	講義・演習及び教科別分科会での研究協議を通して、教科指導の基本について理解を深めます。 講義・演習「授業力向上に向けて」 講師 信州大学 特任教授 小山 茂喜 講義・演習(教科別分科会) 「授業づくりの基礎・基本」 研究協議(教科別分科会) 「授業改善に向けた課題を解決するための手立てを考える」
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
	⑥	⑦ ⑧ ⑨			■持ち物 事前課題(教職基礎研修 I で配布)、端末 (p. 6 参照)
1-1-02-03 生徒指導基礎研修 I				5月12日(火)	生徒指導の意義や目的を学ぶとともに、人権教育に関する指導のあり方を考えます。また、特別支援教育の視点に立った生徒理解を学びます。 講義・演習「生徒指導の意義と目的」 生徒指導・特別支援教育部専門主事 講義・演習「長野県における人権教育の現状と課題」 心の支援課指導主事 講義・演習「インクルーシブな教育の実現に向けて」 特別支援教育課主任指導主事
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
		⑩ ⑪	⑬		■持ち物 端末 (p. 6 参照)
1-1-02-04 体験研修A				5月19日(火)	危険の未然防止や事故発生時の適切な対応についての知識を身につけます。また、野外活動を通して体験活動への理解を深めます。 講義・演習「まもるいのち・ひろめるぼうさい」 日赤長野県支部 講義・演習「学校現場で起こりやすい危険への対応とその予防」 教科教育部専門主事 体験「野外活動」 長野県林業総合センター職員
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
	②	④ ⑤	⑪		■A、Bのいずれかを指定します。 ■午前は総合教育センターで講義・演習を行い、午後は林業総合センターにて徒歩で移動して野外活動を行います。詳細は別途Plantにて連絡します。
1-1-02-05 体験研修B				5月26日(火)	危険の未然防止や事故発生時の適切な対応についての知識を身につけます。また、野外活動を通して体験活動への理解を深めます。 講義・演習「まもるいのち・ひろめるぼうさい」 日赤長野県支部 講義・演習「学校現場で起こりやすい危険への対応とその予防」 教科教育部専門主事 体験「野外活動」 長野県林業総合センター職員
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
	②	④ ⑤	⑪		■A、Bのいずれかを指定します。 ■午前は総合教育センターで講義・演習を行い、午後は林業総合センターにて徒歩で移動して野外活動を行います。詳細は別途Plantにて連絡します。
1-1-02-06 教科指導基礎研修 II A				6月2日(火) 授業協力校	教育課程研究委員等の授業を見学し、授業研究会での協議を通して自己の授業を振り返り、教科指導力の向上を目指します。 授業見学(教育課程研究委員等による授業を見学) 「授業用ワークシート研究会」 その他、授業協力校の学校説明等
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
		⑥ ⑦ ⑧ ⑨			■A～Cのいずれかを指定し、教科別に授業協力校にて行います。 ■集合場所等、詳細は別途Plantにて連絡します。
1-1-02-07 教科指導基礎研修 II B				6月9日(火) 授業協力校	教育課程研究委員等の授業を見学し、授業研究会での協議を通して自己の授業を振り返り、教科指導力の向上を目指します。 授業見学(教育課程研究委員等による授業を見学) 「授業用ワークシート研究会」 その他、授業協力校の学校説明等
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
		⑥ ⑦ ⑧ ⑨			■A～Cのいずれかを指定し、教科別に授業協力校にて行います。 ■集合場所等、詳細は別途Plantにて連絡します。
1-1-02-08 教科指導基礎研修 II C				6月16日(火) 授業協力校	教育課程研究委員等の授業を見学し、授業研究会での協議を通して自己の授業を振り返り、教科指導力の向上を目指します。 授業見学(教育課程研究委員等による授業を見学) 「授業用ワークシート研究会」 その他、授業協力校の学校説明等
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
		⑥ ⑦ ⑧ ⑨			■A～Cのいずれかを指定し、教科別に授業協力校にて行います。 ■集合場所等、詳細は別途Plantにて連絡します。

初任者研修 高等学校 総合教育センター研修				実施日	内容、連絡等
講座番号・講座名					
1-1-02-09 夏期研修Ⅰ(オンライン)				7月14日(火) 【オンライン研修】 在勤校等	授業改善に向けて「指導と評価の一体化」について考えます。また、生徒の変容を捉える1枚ポートフォリオを実際に作成し、理解を深めます。 講義「授業と評価の一体化」 講師 法政大学 教授 辻本 昭彦 研究協議「1枚ポートフォリオ評価法の活用について」  ■実施方法等、詳細は別途Plantにて連絡します。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
	⑥ ⑦ ⑧ ⑨		⑫		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職		
1-1-02-10 夏期研修ⅡA				7月17日(金)	模擬授業及び研究協議を通して、教員としての資質・能力及び指導力向上の方策、自己課題の発見と解決について考えます。 模擬授業・研究協議「教科指導力向上に向けて」  ■A、Bのいずれかを指定します。 ■詳細は別途Plantにて連絡します。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
	⑥ ⑦ ⑧ ⑨				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職		
1-1-02-11 夏期研修ⅡB				7月21日(火)	模擬授業及び研究協議を通して、教員としての資質・能力及び指導力向上の方策、自己課題の発見と解決について考えます。 模擬授業・研究協議「教科指導力向上に向けて」  ■A、Bのいずれかを指定します。 ■詳細は別途Plantにて連絡します。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		学習指導	生徒指導 現代的な課題への対応		
	⑥ ⑦ ⑧ ⑨				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職		
1-1-02-12 教職基礎研修Ⅱ				8月18日(火)	本県の教育課題を理解するとともに、教員として必要とされる基本的な知識や配慮事項について学びます。 講義・演習「非違行為防止に向けて」 講師 NPO法人子ども・人権・エンパワメントCAPながの 講義・演習・研究協議①「多様な教育的ニーズに対応する高校」 生徒指導・特別支援教育部専門主事 講義・演習・研究協議②「キャリア教育の現状と課題」 学びの改革支援課指導主事  ■持ち物 端末 (p. 6 参照)
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		③ ④ ⑤	⑩ ⑪ ⑬		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職		
1-1-02-13 教職基礎研修Ⅲ				8月25日(火)	コーチングやコンプライアンスについて理解を深め、人間関係力を身に付けるとともに、集団づくりに関する理論と実践を学びます。 講義・演習「学校教育に活かすコーチング」 講師 常葉大学大学院 教授 久米 昭洋 講義・演習「教育法規に基づく教育実践」 講師 立正大学 准教授 山田 知代  ■持ち物 端末 (p. 6 参照)
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		④ ⑤	⑩ ⑪		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職		
1-1-02-14 教科指導基礎研修Ⅲ				10月13日(火)	教科別分科会を通して、学習評価について理解を深めるとともに、自身のこれまでの実践をふりかえり、授業改善の手掛かりとします。 講義・演習(教科別分科会) 「学習評価について」 研究協議(教科別分科会) 「学習改善に向けた評価の手立てを考える」 講義「授業づくりの基本」 教職教育部専門主事 研究協議「授業改善に向けて」  ■持ち物 端末 (p. 6 参照)
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職		
1-1-02-15 生徒指導基礎研修Ⅱ				12月1日(火)	生徒指導を意識したホームルーム経営や校内連携について理解を深め、教育相談と人間関係づくりのための理論と実践を学びます。 講義・演習「生徒指導とホームルーム経営」 生徒指導・特別支援教育部専門主事 講義・演習「保健室の事例から考える校内連携」 保健厚生課指導主事 講義・演習「教育相談と人間関係づくり」 講師 信州大学学術研究院教育学系 准教授 茅野 理恵  ■持ち物 端末 (p. 6 参照)
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		④	⑩ ⑪ ⑬		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職		
1-1-02-16 課題研究研修				令和9年 1月19日(火)	教科指導に関する1年間の自己課題研究の成果を発表するとともに、2年目に向けての課題を見出します。 発表・研究協議「自己課題研究発表会」 ※グループ別分科会にて、年間を通して取り組んだ教科指導に関する自己課題についての発表を行い、フィードバックを参考に次年度に向けた課題を明確にします。  ■詳細は別途Plantにて連絡します。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			
		⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職		

(2) 選択必修研修 (3日)

選択必修研修は、総合教育センターの研修講座の中から選択してください。

(注) 学校行事、地区校長会が計画する研修と日程が重複しないように選択してください。

選択研修群	概要	日数	選択	申込み先
教科基礎群	教科の基礎・基本について学ぶ講座	3日	p. 20～21にある「教科基礎群」及びp. 21にある「教育課題群」の中から選択する。	総合教育センター
教育課題群	今日的な教育課題の解決を目指した実践的な講座			

初任者研修  
高等学校  
指定研修

初任者研修 高等学校 選択必修研修〔教科基礎群〕				
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ
国語	3-1-01-21	資質・能力を育成する高校国語科の授業 ～生徒と考える、生徒が考える授業を基に～	6月11日(木)	42
	3-1-01-23	校種間の連携を大事にした古典指導 ～「古典の魅力」を感じ続けるために～	10月15日(木)	42
地歴 公民	3-1-02-23	高校地理歴史科の授業づくり ～問いを追究する授業づくり～	6月29日(月)	42
	3-1-02-24	中学校・高校公民の授業づくり ～主権者教育を意識した授業づくり～	9月15日(火)	43
数学	3-1-03-23	高校数学 主体的・対話的な授業づくり ～魅力ある授業を一緒に考えよう～	6月30日(火)	43
	3-1-03-25	中学校・高校数学 数学を楽しむ授業づくり ～統合的・発展的に考える力の育成を目指して～	9月1日(火)	43
	3-1-03-26	中学校・高校数学 統計分野の授業づくり ～統計で考えることの有用性を感じる授業づくり～	10月6日(火)	44
	3-1-03-27	視学官と学ぶ中高数学の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から中高連携を考える～	11月10日(火)	44
理科	3-1-04-01	高校理科の授業づくり 基礎 ～授業づくりの基礎・基本～	6月8日(月)	44
	3-1-04-22	高校理科生物実験 ～生物の基礎実験と指導を学ぶ～	6月18日(木)	44
	3-1-04-25	高校理科物理・地学実験 ～物理・地学の基礎実験を学ぶ～	7月2日(木)	45
	3-1-04-26	高校理科化学実験 ～化学の基礎実験と指導を学ぶ～	7月16日(木)	45
	3-1-04-28	高校理科課題研究 ～課題研究の指導を学ぶ～	11月9日(月)	45
英語	3-1-05-01	中学校・高校英語 基礎Ⅰ ～「できた!」「わかった!」を力に変える授業づくり～	6月23日(火)	45
	3-1-05-02	中学校・高校英語 基礎Ⅱ ～授業づくりから評価まで～	7月7日(火)	45
	3-1-05-23	生徒の学びから考える外国語の授業づくり ～言語活動で生徒が動かしている見方・考え方とは～	8月5日(水)	46
音楽	3-1-07-21	調査官と学ぶ音楽科の授業づくり ～学習指導要領の趣旨と指導と評価～	6月23日(火)	46
	3-1-07-22	子供から音楽を引き出す授業づくり ～鑑賞や音楽づくりの授業を中心に～	8月20日(木)	46
	3-1-07-23	音楽教育の現在から未来へ ～郷土の音楽やAIの授業への活用～	10月27日(火)	47
	3-1-07-24	音楽科における個別最適な学びと協働的な学び ～ICTを活用した一体的な充実を目指して～	11月26日(木)	47
美術	3-1-08-22	調査官と考える中学校・高校美術 ～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～	9月8日(火)	47
	3-1-08-23	見方や感じ方を深める鑑賞の学習 ～@軽井沢ニューアートミュージアム～	11月6日(金)	47
	3-1-08-24	図工・美術でのICT活用 ～演習を通して有効性を学ぶ～	11月27日(金)	47
家庭	3-1-09-22	初めての 中学校・高校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～	6月18日(木)	47
	3-1-09-24	家庭科 消費生活・環境の授業づくり ～最新の情報を取り入れた授業づくり～	10月8日(木)	48
学校 体育	3-1-20-11	ロイノートを使った授業づくり ～体育・保健体育で活用してみよう～	9月17日(木)	52
	3-1-20-14	武道のイメージを変える授業づくり ～楽しい剣道への動機づけ～	10月15日(木)	52
	3-1-20-15	振付に頼らなくても大丈夫!リズム系ダンス指導 ～みんながって みんないい～	10月23日(金)	52
	3-1-20-17	ICT/AI活用で学ぶ未来の保健体育 ～人生に必要な不可欠な「保健」と「体育」で学ぶ～	11月26日(木)	53
情報	3-3-03-21	高校教科「情報」プログラミング編 ～探究学習につながる授業を考える～	7月7日(火)	63
	3-3-03-22	高校教科「情報」データ活用編 ～探究学習につながる授業を考える～	10月27日(火)	64
農業	3-4-11-21	探究的な学びを実現するプロジェクト学習 ～ワクワクを引き出すプロジェクト学習～	7月7日(火)	66
	3-4-11-22	環境に優しい持続可能な農業を目指した農業教育 ～環境と調和のとれた食料システムを目指して～	9月1日(火)	66
	3-4-11-23	日本農業の未来を拓くスマート農業 ～スマート農業を取り入れた農業教育を考える～	10月27日(火)	66
工業	3-4-12-21	ロボット製作を通じたものづくり教育 ～設計・製作・改善の探究プロセスを考える～	7月28日(火)	66
	3-4-12-22	工業教育における地域連携と産業界の今 ～産業界の最新技術とこれからの工業教育～	9月8日(火)	66
	3-4-12-23	CADで広がる製図の世界 ～これからの製図教育を考える～	11月5日(木)	67

初任者研修 高等学校 選択必修研修〔教科基礎群〕				
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ
商業	3-4-13-21	ケースメソッドで変わる授業づくり ～未来のビジネスリーダーを育てる授業を目指して～	6月25日(木)	67
	3-4-13-22	統計の基礎とデータ活用法 ～オープンデータを活用したデータ分析～	9月1日(火)	67
	3-4-13-23	原価計算の効果的指導法 ～思考力を高める授業のデザイン～	9月15日(火)	67
福祉	3-4-14-21	介護技術(生活支援技術)の実践と指導法 ～実習を通じた指導力向上を目指して～	8月17日(月)	67
	3-4-14-22	福祉分野の授業づくり ～教科「福祉」の教材研究と指導法～	11月10日(火)	67

初任者研修 高等学校 選択必修研修〔教育課題群〕				
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ
図書館教育	3-1-14-22	図書館教育 ～学校図書館を活用した探究的な学びの創造～	11月13日(金)	50
学校体育	3-1-20-02	プロセスに焦点!! グループワークトレーニング ～より良い人間関係の構築に向けて～	6月25日(木)	51
	3-1-20-03	スポーツ場面のアンガーマネジメント ～子どもと大人を救うウェルビーイング～	6月30日(火)	51
	3-1-20-04	運動の基本動作を身につけるプログラム ～ドイツ生まれのバルシューレ～	7月2日(木)	51
	3-1-20-06	誰もが楽しめるインクルーシブ体育 ～アダプテッド・スポーツから広がる体育授業～	8月5日(水)	51
	3-1-20-09	実践! 障がいのある子どもの発達を育む運動遊び ～誰もが楽しめるムーブメント教育・療法～	9月10日(木)	52
	3-1-20-10	子どもの からだづくり 心づくり ～現代の子どもの育ちについて～	9月11日(金)	52
	3-1-20-13	遊びで育つ心と体! 運動遊び実践講座 ～幼児・児童・生徒の笑顔を引き出そう～	10月9日(金)	52
	3-1-20-18	スポーツによるケガ予防と再発防止のテーピング ～基礎的な考え方と方法～	12月4日(金)	53
	3-1-20-53	スポーツ活動が充実する体幹トレーニング ～運動パフォーマンスを向上させる理論と実践～	10月20日(火)	53
学校の 校向上	3-2-01-21	人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～	10月1日(木)	38
	3-2-01-22	人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～	10月16日(金)	38
	3-2-03-21	学校と社会がつながるキャリア教育 ～学習意欲の向上を目指す地域とのつながりの構築～	8月6日(木)	38
情報教育	3-3-01-21	先生のための知的財産入門 ～ネット時代の著作権と学校のルール～	6月19日(金)	63
	3-3-01-22	安全な情報セキュリティのための第一歩 ～先生も生徒も守るセキュリティ実践～	10月6日(火)	63
産業教育	3-4-10-21	先生向けのアントレプレナーシップ入門 ～予測不能な時代を生き抜く力～	6月30日(火)	66
	3-4-10-22	専門科の学びをつなぐ課題研究 ～産業教育における探究的な学びに向けて～	12月3日(木)	66
	3-4-10-23	産業教育研修発表会 ～研究成果を生かした授業改善を考える～	1月15日(金)	66
生徒指導 特別支援	3-5-02-22	児童生徒理解と課題への対応Ⅱ ～子供に寄り添う理解と支援～	6月26日(金)	56,59
生徒指導	3-5-01-21	教育相談 ～サインを見逃さない教育相談～	7月9日(木)	56
	3-5-01-22	関係づくり ～カウンセリングを学んで教師力アップ～	10月6日(火)	56
	3-5-02-21	児童生徒理解と課題への対応Ⅰ ～今、学校に求められるいじめ問題の理解と対応～	6月8日(月)	56
	3-5-02-23	児童生徒理解と課題への対応Ⅲ(オンライン) ～トラブル回避のための情報モラル教育～	9月8日(火)	56
	3-5-02-25	児童生徒理解と課題への対応Ⅴ ～不登校の児童生徒の理解と支援～	10月1日(木)	56
	3-5-02-26	児童生徒理解と課題への対応Ⅵ ～福祉・医療の立場から考える連携・支援～	11月13日(金)	56
特別支援	3-6-02-01	クラスの中の気になる生徒の支援 ～見方を変えれば支援が始まる!(高校)～	9月1日(火)	59
長野大学 連携講座	3-7-11-21	総合的な学習・探究の時間(オンライン) ～地元をフィールドにした地域の学び～	9月11日(金)	49,74
生涯 スポーツ	3-9-02-01	スポーツ現場における緊急対応 ～指導者が身につけておきたい応急手当と心肺蘇生法～	6月9日(火)	77
	3-9-02-02	スポーツのケガや故障予防とコンディショニング ～パフォーマンス向上のために～	6月12日(金)	77
	3-9-02-03	スポーツへ応用できる古武術的身体操法 ～様々なスポーツへつながる指導法～	8月27日(木)	77
	3-9-02-04	メンタルトレーニングの理論と実践 ～選手の力を引き出そう～	11月13日(金)	77
	3-9-02-05	現場で使える10代アスリートのスポーツ栄養 ～ベストコンディションの実現～	11月20日(金)	77

## 2 「2年次研修」について

初任者研修2年次は、共通必修研修として総合教育センターの研修を1日受講します。

研修(講座)名	実施日	日数	場所	欠席対応
2年次教職研修	A	9月28日(月)	総合教育センター	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を 確認してください。 (代替講座受講)
	B	9月29日(火)		

期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

指定研修  
高等学校  
初任者研修

初任者研修 高等学校 総合教育センター研修				
講座番号・講座名		実施日	内容、連絡等	
1-1-02-31 2年次教職研修A		9月28日(月)	不登校やいじめへの対応について理解を深め、具体的な支援について考えます。また、他の教育課題について、キャリアアップ研修Iの受講者と協議しながら解決策を探るとともに、協議の進め方について理論と実践を学びます。 講義・演習「不登校・いじめへの対応」 心の支援課主任指導主事 研究協議(クロスエイジセッション) 「日々の実践を振り返り、明日からの実践に生かす」 教職教育部専門主事	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能	学習指導
③	④		⑩	⑪
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	
1-1-02-32 2年次教職研修B		9月29日(火)	不登校やいじめへの対応について理解を深め、具体的な支援について考えます。また、他の教育課題について、キャリアアップ研修Iの受講者と協議しながら解決策を探るとともに、協議の進め方について理論と実践を学びます。 講義・演習「不登校・いじめへの対応」 心の支援課主任指導主事 研究協議(クロスエイジセッション) 「日々の実践を振り返り明日からの実践に生かす」 教職教育部専門主事	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能	学習指導
③	④		⑩	⑪
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献/管理職	

## 3 「2年次研修」の猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修講座に出席できない場合、校長は、教職教育部長(0263-53-8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。

猶予願の申請期限：4月15日(水)

# I 指定研修

## 4 小学校・中学校・義務教育学校 特別支援学校

# キャリアアップ研修 I

- 採用から5年目の教員を対象とした悉皆の研修です。教員としてのこれまでの実践を振り返り、学級・学年経営、教科指導、生徒指導等にかかわる専門的知識を豊かにするとともに技能の向上を図ります。
- 校外研修が2日、在勤校での授業公開が1日あり、原則として1年間で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」を参照してください。「研修の手引」「様式」は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>研修>指定研修>キャリアアップ研修 I)
- 特別支援学校と養護教諭、栄養教諭の研修の詳細については、以下の担当課にお問い合わせください。  
・特別支援学校 → 特別支援教育課へ ・養護教諭、栄養教諭 → 保健厚生課へ

### 1 小学校・中学校・義務教育学校

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
全県 セッション	A (東信・中信)	5月18日(月)	1日	総合教育センター	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
	B (南信・北信)	5月28日(木)			

□「全県セッション」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

### 2 特別支援学校

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
全県 セッション	A (東信・中信)	5月18日(月)	1日	総合教育センター	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
	B (南信・北信)	5月28日(木)			
「わたしが選ぶ」 総合教育センター研修		年間 (6月～11月)	1日	総合教育センター	

□「全県セッション」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

□「わたしが選ぶ」総合教育センター研修は、下の一覧表から1日を選択し、Plantを通して総合教育センターへ申し込んでください(締切 4月24日(金))。

※1つの講座に申込みが集中した場合、受講について調整する場合があります。

キャリアアップ研修 I 特別支援学校 「わたしが選ぶ」総合教育センター研修					
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ	
生徒指導 特別支援	3-5-02-22	児童生徒理解と課題への対応Ⅱ ～子供に寄り添う理解と支援～	6月26日(金)	56,59	
特別 支援 教育	3-6-01-02	スタート! 特別支援学校 ～特別支援学校で大切にしたいこと～	8月5日(水)	59	
	3-6-03-22	特別支援教育の授業づくりⅡ ～「自分で学べる」につながる支援～	8月7日(金)	60	
	3-6-03-23	特別支援教育の授業づくりⅢ ～構想してみよう! 生活単元学習の授業～	8月10日(月)	60	
	3-6-03-26	特別支援教育の授業づくりⅥ ～一緒に楽しもう! 障がいのある子の音楽～	9月4日(金)	60	
	3-6-04-23	発達と行動を踏まえた支援 ～事例から学ぼう! 応用行動分析～	7月2日(木)	60	
	3-6-04-24	「自立」を育む特性に応じた支援 ～子供・保護者の困りを捉え 支援を考える～	11月17日(火)	61	

### 3 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修の全てを実施できない場合、校長は、教職教育部長(0263 - 53 - 8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「猶予予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

(調査時と変更になった場合) 猶予願の申請期限：4月15日(水)

指定研修  
小・中・義務・特支  
キャリアアップ研修Ⅰ

キャリアアップ研修Ⅰ 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 共通必修研修													
講座番号・講座名										実施日		内容、連絡等	
<b>1-2-01-01</b> <b>全県セッションA</b> <b>【東信・中信】</b>										5月18日(月)		本県の教育課題を理解し、自ら学び続ける教員として、自己課題を明確にします。 講義・演習「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 講義「生徒指導の意義と課題」 生徒指導・特別支援教育部長協議「『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善」 (ICT活用指導力向上研修Ⅲを含む)	
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能									
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献/管理職							
■持ち物及び詳細は「研修の手引」を確認してください。													
<b>1-2-01-02</b> <b>全県セッションB</b> <b>【南信・北信】</b>										5月28日(木)		本県の教育課題を理解し、自ら学び続ける教員として、自己課題を明確にします。 講義・演習「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 講義「生徒指導の意義と課題」 生徒指導・特別支援教育部長協議「『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善」 (ICT活用指導力向上研修Ⅲを含む)	
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能									
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献/管理職							
■持ち物及び詳細は「研修の手引」を確認してください。													

# 5 高等学校 キャリアアップ研修 I

- 採用から5年目の教員を対象とした悉皆の研修です。教員としてのこれまでの実践を振り返り、学級・学年経営、教科指導、生徒指導等にかかわる専門的知識を豊かにするとともに技能の向上を図ります。
- 総合教育センターでの2日間の校外研修を原則として1年間で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」を参照してください。「研修の手引」 「様式」は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>研修>指定研修>キャリアアップ研修 I)

## 1 研修講座の日程等

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
教職研修 I	A	5月18日(月)	1日	総合教育センター	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
	B	5月28日(木)			
教職研修 II	A	9月28日(月)	1日	総合教育センター	
	B	9月29日(火)			

各研修とも期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

## 2 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修講座の全てに出席できない場合、校長は、教職教育部長(0263-53-8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「猶予予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

(調査時と変更になった場合) 猶予願の申請期限: 4月15日(水)

キャリアアップ研修Ⅰ 高等学校 共通必修研修				実施日	内容、連絡等	
講座番号・講座名						
1-2-02-01 教職研修ⅠA				5月18日(月)	本県の教育課題を理解し、自ら学び続ける教員として、自己課題を明確にします。 講義・演習「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 講義「生徒指導の意義と課題」 生徒指導・特別支援教育部長 協議「『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善」 学びの改革支援課指導主事	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				
		学習指導	生徒指導			現代的な諸課題への対応
	③ ④ ⑤	⑦ ⑧ ⑨	⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭			
基礎形成		伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末 (p. 6 参照)	
1-2-02-02 教職研修ⅠB				5月28日(木)	本県の教育課題を理解し、自ら学び続ける教員として、自己課題を明確にします。 講義・演習「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 静岡大学 名誉教授 山崎 保寿 講義「生徒指導の意義と課題」 生徒指導・特別支援教育部長 協議「『主体的・対話的で深い学び』の視点からの授業改善」 学びの改革支援課指導主事	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				
		学習指導	生徒指導			現代的な諸課題への対応
	③ ④ ⑤	⑦ ⑧ ⑨	⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭			
基礎形成		伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末 (p. 6 参照)	
1-2-02-03 教職研修ⅡA				9月28日(月)	特別支援教育について理解を含め、具体的な指導・支援について考えます。また、教育課題について、2年次研修の受講者と協議しながら解決策を探るとともに、協議の進め方について理論と実践を学びます。 講義・演習「高校における合理的配慮と特別支援教育」 特別支援教育課主任指導主事 研究協議(クロスエイジセッション) 「日々の実践を振り返り、明日からの実践に生かす」 教職教育部専門主事	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				
		学習指導	生徒指導			現代的な諸課題への対応
	③ ④		⑬			
基礎形成		伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末 (p. 6 参照)	
1-2-02-04 教職研修ⅡB				9月29日(火)	特別支援教育について理解を含め、具体的な指導・支援について考えます。また、教育課題について、2年次研修の受講者と協議しながら解決策を探るとともに、協議の進め方について理論と実践を学びます。 講義・演習「高校における合理的配慮と特別支援教育」 特別支援教育課主任指導主事 研究協議(クロスエイジセッション) 「日々の実践を振り返り、明日からの実践に生かす」 教職教育部専門主事	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				
		学習指導	生徒指導			現代的な諸課題への対応
	③ ④		⑬			
基礎形成		伸長	充実	深化・貢献/管理職	■持ち物 端末 (p. 6 参照)	

I 指定研修

6

幼稚園等  
小学校・中学校・義務教育学校  
特別支援学校

キャリアアップ研修 II

- 採用から10年目以上の教員を対象とした、悉皆の研修です。これまでの教員としての実践を振り返り、意識の改革、視野の拡大及び専門性の向上をめざし、中堅教員として必要とされる資質の向上を図ります。
- 校外研修6日、校内研修20日の研修内容を、原則として1年間で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」を参照してください。「研修の手引」「様式」は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>研修>指定研修>キャリアアップ研修II)
- 幼稚園等、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭の研修の詳細については、以下の担当課にお問い合わせください。
  - ・幼稚園 → 学びの改革支援課へ
  - ・幼稚園 → 幼保連携型認定こども園 → こども・家庭課へ
  - ・特別支援学校 → 特別支援教育課へ
  - ・養護教諭、栄養教諭 → 保健厚生課へ

1 幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
全県 セッション I	A (東信・中信)	5月14日(木)	1日	総合教育センター	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
	B (南信・北信)	5月15日(金)			
全県 セッション II	A (小学校)	6月15日(月)	1日	総合教育センター	
	B (中学校)	6月16日(火)			
「わたしが選ぶ」 総合教育センター研修		年間 (6月~12月)	1日	総合教育センター	

- 「全県セッション I・II」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。
  - 「「わたしが選ぶ」総合教育センター研修」は、総合教育センターの義務キャリアアップ研修II対象の研修講座(p.29~31)から自己課題に応じて1日を選択し、Plantを通じて総合教育センターへ申し込んでください(締切4月24日(金))。
- ※1つの講座に申込みが集中した場合、受講について調整する場合があります。

2 特別支援学校

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
全県 セッション I	A (東信・中信)	5月14日(木)	1日	総合教育センター	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
	B (南信・北信)	5月15日(金)			
全県 セッション II	A (幼稚部・小学部)	6月15日(月)	1日	総合教育センター	
	B (幼稚部・小学部以外)	6月16日(火)			
「わたしが選ぶ」校外研修		年間	1日	総合教育センター	
				各研修会会場 等	

- 「全県セッション I・II」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。

指定研修  
幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校  
キャリアアップ研修 II

□「わたしが選ぶ」校外研修は、総合教育センターの義務キャリアアップ研修Ⅱ対象の研修講座（p. 29～31）や、各地区で行われる教科等の研修会、県下の先進的な実践をしている学校の見学等、様々な研修を各自で選定して受講します。総合教育センターの研修講座を受講する場合は、Plant を通じて総合教育センターへ申し込んでください（締切4月24日（金））。

### 3 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修の全てを実施できない場合、校長は、教職教育部長(0263 - 53 - 8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDF ファイル（様式第40号）を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「R8 猶予予定」「R9 実施予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

（調査時と変更になった場合） 猶予願の申請期限：4月15日（水）

キャリアアップ研修Ⅱ  
幼・小・中・義務特支  
指定研修

キャリアアップ研修Ⅱ 幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 共通必修研修						
講座番号・講座名		実施日			内容、連絡等	
1-3-01-01 全県セッションⅠA 【東信・中信】		5月14日（木）			講義、グループ討議を通してキャリアアップ研修Ⅱの意義と内容や本県の教育課題を理解し、自己の研修課題を考えます。 講義・演習「非遵行為防止とリスクマネジメント」 講師 京都教育大学 教授 榊原 禎宏 講義「外国にルーツを持つ子どもたちへの教育における課題と展望」 講師 大阪大学 准教授 櫻井 千穂 演習「これまでの10年間、これからの10年間」 教職教育部  ■持ち物及び詳細は「研修の手引」を確認してください。	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				
		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④ ⑤ ⑥		⑩ ⑪	⑬		
基礎形成 伸長		充実 深化・貢献/管理職				
1-3-01-02 全県セッションⅠB 【南信・北信】		5月15日（金）			講義、グループ討議を通してキャリアアップ研修Ⅱの意義と内容や本県の教育課題を理解し、自己の研修課題を考えます。 講義・演習「非遵行為防止とリスクマネジメント」 講師 京都教育大学 教授 榊原 禎宏 講義「外国にルーツを持つ子どもたちへの教育における課題と展望」 講師 大阪大学 准教授 櫻井 千穂 演習「これまでの10年間、これからの10年間」 教職教育部  ■持ち物及び詳細は「研修の手引」を確認してください。	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				
		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④ ⑤ ⑥		⑩ ⑪	⑬		
基礎形成 伸長		充実 深化・貢献/管理職				
1-3-01-03 全県セッションⅡA 【小学校】		6月15日（月）			「生徒指導提要」を踏まえ、授業を中心とした日々の教育活動の中で、生徒指導力を充実させることの意義や必要性について理解を深めます。一人一人の子供たちの自己有用感を育む必要性や落ち着いた学習環境を維持している学校における教職員の具体的な行動について、各地の実践事例を踏まえて学びます。 講義・演習「多様な教育的ニーズに対応する学校 ～教育的予防の考えを踏まえて～」 講師 日本大学 教授 藤平 敦 ■持ち物 端末（p. 6 参照）	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				
		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	④ ⑤		⑩ ⑪	⑬		
基礎形成 伸長		充実 深化・貢献/管理職				
1-3-01-04 全県セッションⅡB 【中学校】		6月16日（火）			「生徒指導提要」を踏まえ、授業を中心とした日々の教育活動の中で、生徒指導力を充実させることの意義や必要性について理解を深めます。一人一人の子供たちの自己有用感を育む必要性や落ち着いた学習環境を維持している学校における教職員の具体的な行動について、各地の実践事例を踏まえて学びます。 講義・演習「多様な教育的ニーズに対応する学校 ～教育的予防の考えを踏まえて～」 講師 日本大学 教授 藤平 敦 ■持ち物 端末（p. 6 参照）	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能				
		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	④ ⑤		⑩ ⑪	⑬		
基礎形成 伸長		充実 深化・貢献/管理職				

キャリアアップ研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 「わたしが選ぶ」総合教育センター研修						
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ	
国語	3-1-01-21	資質・能力を育成する高校国語科の授業 ～生徒と考える、生徒が考える授業を基に～	- 中 義 特	6月11日(木)	42	
	3-1-01-22	国語科授業で育成された資質・能力をどう見るか ～評価問題づくりを通して単元を構想する～	小 中 義 特	8月 3日(月)	42	
	3-1-01-23	校種間の連携を大事にした古典指導 ～「古典の魅力」を感じ続けるために～	小 中 義 特	10月15日(木)	42	
社会	3-1-02-21	小学校社会科の授業づくり ～問いを追究する授業づくり～	小 - 義 特	6月 9日(火)	42	
	3-1-02-22	中学校社会科の授業づくり ～問いを追究する授業づくり～	- 中 義 特	6月23日(火)	42	
	3-1-02-24	中学校・高校公民の授業づくり ～主権者教育を意識した授業づくり～	- 中 義 特	9月15日(火)	43	
算数・数学	3-1-03-21	算数の授業づくり ～教材研究の仕方を学ぶ～	小 - 義 特	8月28日(金)	43	
	3-1-03-22	調査官と学ぶ算数の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から学びの系統性を考える～	小 - 義 特	10月 9日(金)	43	
	3-1-03-24	中学校数学 魅力ある授業づくり ～数学的な見方・考え方を働かせる授業づくり～	- 中 義 特	8月 5日(水)	43	
	3-1-03-25	中学校・高校数学 数学を楽しむ授業づくり ～統一的・発展的に考える力の育成を目指して～	- 中 義 特	9月 1日(火)	43	
	3-1-03-26	中学校・高校数学 統計分野の授業づくり ～統計で考えることの有用性を感じる授業づくり～	- 中 義 特	10月 6日(火)	44	
	3-1-03-27	視学官と学ぶ中高数学の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から中高連携を考える～	- 中 義 特	11月10日(火)	44	
理科	3-1-04-21	小学校・中学校理科実験 ～理科実験と指導を学ぶ～	小 中 義 特	6月11日(木)	44	
	3-1-04-23	小学校理科の授業づくり ～実践を語り、体験し、学び合う～	小 - 義 特	6月25日(木)	44	
	3-1-04-24	中学校理科の授業づくり ～実践を語り、体験し、学び合う～	- 中 義 特	6月30日(火)	44	
外国語活動	3-1-05-21	子供の力を伸ばす外国語の授業づくり ～子供の「やってみよう！」を引き出す言語活動～	小 中 義 特	6月 9日(火)	45	
	3-1-05-22	「できた！」を生み出す外国語の授業づくり ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～	小 - 義 特	7月16日(木)	46	
	3-1-05-23	生徒の学びから考える外国語の授業づくり ～言語活動で生徒が働かせている見方・考え方とは～	- 中 義 特	8月 5日(水)	46	
	3-1-05-24	つきたい力を明確にした外国語の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から考える～	- 中 義 特	10月15日(木)	46	
	3-1-05-25	中高英語の自己表現力を高める指導 ～領域を統合した言語活動を効果的に取り入れる～	- 中 義 特	11月10日(火)	46	
生活	3-1-06-21	生活科 子供の学びを捉える ～ただ一人を追い続け、児童理解の力を高める～	小 中 義 特	10月 2日(金)	46	
音楽	3-1-07-21	調査官と学ぶ音楽科の授業づくり ～学習指導要領の趣旨と指導と評価～	小 中 義 特	6月23日(火)	46	
	3-1-07-22	子供から音楽を引き出す授業づくり ～鑑賞や音楽づくりの授業を中心に～	小 中 義 特	8月20日(木)	46	
	3-1-07-23	音楽教育の現在から未来へ ～郷土の音楽やAIの授業への活用～	小 中 義 特	10月27日(火)	47	
	3-1-07-24	音楽科における個別最適な学びと協働的な学び ～ICTを活用した一体的な充実を目指して～	小 中 義 特	11月26日(木)	47	
美術工作	3-1-08-21	調査官と考える小学校図画工作と造形遊び ～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～	小 中 義 特	6月 5日(金)	47	
	3-1-08-22	調査官と考える中学校・高校美術 ～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～	小 中 義 特	9月 8日(火)	47	
	3-1-08-23	見方や感じ方を深める鑑賞の学習 ～@軽井沢ニューアートミュージアム～	小 中 義 特	11月 6日(金)	47	
	3-1-08-24	図工・美術でのICT活用 ～演習を通して有効性を学ぶ～	小 中 義 特	11月27日(金)	47	
家庭	3-1-09-21	初めての 小学校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～	小 - 義 特	6月 5日(金)	47	
	3-1-09-22	初めての 中学校・高校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～	- 中 義 特	6月18日(木)	47	
	3-1-09-23	資質・能力を育成する家庭科の授業づくり	小 中 義 特	8月 3日(月)	48	
	3-1-09-24	家庭科 消費生活・環境の授業づくり ～最新の情報を取り入れた授業づくり～	- 中 義 特	10月 8日(木)	48	
技術・プログラミング教育	3-1-10-21	デジタルものづくりで描く授業の未来 ～3DCADと3Dプリンターの活用～	小 中 義 特	6月 8日(月)	48	
	3-1-10-22	調査官と考える技術科の授業づくり ～生徒が自分の思いや願いを具現化する授業～	- 中 義 -	7月10日(金)	48	
	3-1-10-23	子供の願いが連続するプログラミング教育 ～AIを活用した問題解決～	小 中 義 特	8月 7日(金)	48	
	3-1-10-24	STEAM教育、はじめの一步 ～中学校技術科と総合的な学習の時間を窓口～	小 中 義 特	9月17日(木)	48	
	3-1-10-25	ICT端末で育む情報活用能力 ～NHK for Schoolを活用した授業づくり～	小 中 義 特	10月 8日(木)	48	
道徳	3-1-11-21	子供の「心」を育てる「特別の教科 道徳」 ～調査官と考える道徳科の指導と評価の一体化～	小 中 義 特	7月10日(金)	48	
図書館教育	3-1-14-22	図書館教育 ～学校図書館を利活用した探究的な学びの創造～	小 中 義 特	11月13日(金)	50	
幼年教育	3-1-15-21	幼年教育 子供の遊びと学びを支える ～実践を語り合い、支援を考える～	小 中 義 特	6月15日(月)	50	
学校体育	3-1-20-01	安全で、楽しい学校登山 ～学校登山の意義や留意点、安全対策～	小 中 義 特	5月29日(金)	51	
	3-1-20-02	プロセスに焦点!! グループワークトレーニング ～より良い人間関係の構築に向けて～	小 中 義 特	6月25日(木)	51	
	3-1-20-03	スポーツ場面のアンガーマネジメント ～子どもと大人を救うウェルビーイング～	小 中 義 特	6月30日(火)	51	
	3-1-20-04	運動の基本動作を身につけるプログラム ～ドイツ生まれのバルシューレ～	小 中 義 特	7月 2日(木)	51	
	3-1-20-05	仲間をつなぐ授業づくり ～体育の楽しさを学ぼう～	小 中 義 特	7月 9日(木)	51	
	3-1-20-06	誰もが楽しめるインクルーシブ体育 ～アダプテッド・スポーツから広がる体育授業～	小 中 義 特	8月 5日(水)	51	
	3-1-20-07	みんなが楽しいボール運動・球技 ～教材づくりの考え方と教材体験～	小 中 義 特	8月19日(水)	51	

指定研修  
幼・小・中・義務特支  
キャリアアップ研修Ⅱ

キャリアアップ研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 「わたしが選ぶ」総合教育センター研修					
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ
学校体育	3-1-20-08	子供と創る体育学習 ～子供が主体的に学ぶ体育学習の基本を学ぼう～	小中義特	9月4日(金)	52
	3-1-20-09	実践！障がいのある子どもの発達を育む運動遊び ～誰もが楽しめるムーブメント教育・療法～	小中義特	9月10日(木)	52
	3-1-20-10	子どものからだづくり 心づくり ～現代の子どもの育ちについて～	小中義特	9月11日(金)	52
	3-1-20-11	ロイノートを使った授業づくり ～体育・保健体育で活用してみよう～	小中義特	9月17日(木)	52
	3-1-20-12	だれでもできる マット・跳び箱・鉄棒運動 ～できた喜びを味わえる指導法～	小中義特	10月1日(木)	52
	3-1-20-13	遊びで育つ心と体！ 運動遊び実践講座 ～幼児・児童・生徒の笑顔を引き出そう～	小中義特	10月9日(金)	52
	3-1-20-14	武道のイメージを変える授業づくり ～楽しい剣道への動機づけ～	- 中義 -	10月15日(木)	52
	3-1-20-15	振付に頼らなくても大丈夫！リズム系ダンス指導 ～みんながって みんないい～	小中義特	10月23日(金)	52
	3-1-20-16	誰もがわくわくする運動遊び ～たのしい縄跳び・遊びの教材づくり～	小中義特	11月19日(木)	53
	3-1-20-17	ICT/AI活用で学ぶ未来の保健体育 ～人生に必要な不可欠「保健」と「体育」で学ぶ～	小中義特	11月26日(木)	53
	3-1-20-18	スポーツによるケガ予防と再発防止のテーピング ～基礎的な考え方と方法～	小中義特	12月4日(金)	53
	3-1-20-51	小学生のための体づくり運動 ～子どもの体力や身体能力の向上～	小中義特	6月5日(金)	53
	3-1-20-52	脳の発達と幼児期の運動支援 ～子どもの教育に必要なこと～	小 - 義特	10月6日(火)	53
	3-1-20-53	スポーツ活動が充実する体幹トレーニング ～運動パフォーマンスを向上させる理論と実践～	小中義特	10月20日(火)	53
3-1-20-54	最新の体育・保健体育の授業づくり(小・中) ～体育・保健体育指導力向上研修の伝達～	小中義 -	7月10日(金)	54	
学校力の向上	3-2-01-21	人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～	小中義特	10月1日(木)	38
	3-2-01-22	人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～	小中義特	10月16日(金)	38
	3-2-02-21	性に関する指導研修会	小中義特	8月3日(月)	38
	3-2-03-21	学校と社会がつながるキャリア教育 ～学習意欲の向上を目指す地域とのつながりの構築～	小中義特	8月6日(木)	38
	3-2-04-21	学校組織マネジメントⅠ ～ミドルリーダーのための学校組織マネジメント～	小中義特	7月6日(月)	38
	3-2-04-22	学校組織マネジメントⅡ ～教育法規と学校運営～	小中義特	12月4日(金)	38
	3-2-04-23	学校組織が駆動する校務ICT活用のデザイン ～チーム学校を支える戦略とマネジメント～	小中義特	7月3日(金)	38
	3-2-05-21	学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント	小中義特	6月26日(金)	39
情報教育	3-3-01-21	先生のための知的財産入門 ～ネット時代の著作権と学校のルール～	小中義特	6月19日(金)	63
	3-3-01-22	安全な情報セキュリティのための第一歩 ～先生も生徒も守るセキュリティ実践～	小中義特	10月6日(火)	63
生徒指導 特別支援	3-5-02-22	児童生徒理解と課題への対応Ⅱ ～子供に寄り添う理解と支援～	小中義特	6月26日(金)	56,59
生徒指導	3-5-01-21	教育相談 ～サインを見逃さない教育相談～	小中義特	7月9日(木)	56
	3-5-01-22	関係づくり ～カウンセリングを学んで教師力アップ～	小中義特	10月6日(火)	56
	3-5-02-21	児童生徒理解と課題への対応Ⅰ ～今、学校に求められるいじめ問題の理解と対応～	小中義特	6月8日(月)	56
	3-5-02-23	児童生徒理解と課題への対応Ⅲ(オンライン) ～トラブル回避のための情報モラル教育～	小中義特	9月8日(火)	56
	3-5-02-24	児童生徒理解と課題への対応Ⅳ ～学級の気になる児童生徒の理解と支援～	小中義特	9月17日(木)	56
	3-5-02-25	児童生徒理解と課題への対応Ⅴ ～不登校の児童生徒の理解と支援～	小中義特	10月1日(木)	56
	3-5-02-26	児童生徒理解と課題への対応Ⅵ ～福祉・医療の立場から考える連携・支援～	小中義特	11月13日(金)	56
特別支援教育	3-6-01-02	スタート！特別支援学校 ～特別支援学校で大切にしたいこと～	- - - 特	8月5日(水)	59
	3-6-02-21	通常の学級で学びにくさの壁を壊そう！ ～UDLの視点を生かして(小学校・中学校)～	小中義 -	7月6日(月)	59
	3-6-02-22	読み書きのプロセスの理解と支援(オンライン) ～苦しさの要因から支援を考える～	小中義特	7月10日(金)	59
	3-6-03-21	特別支援教育の授業づくりⅠ(オンライン) ～授業のUD化で わかった！できた！～	小中義 -	7月29日(水)	59
	3-6-03-23	特別支援教育の授業づくりⅢ ～構想してみよう！生活単元学習の授業～	小中義特	8月10日(月)	60
	3-6-04-23	発達と行動を踏まえた支援 ～事例から学ぼう！応用行動分析～	小中義特	7月2日(木)	60
	3-6-04-24	「自立」を育む特性に応じた支援 ～子供・保護者の困りを捉え 支援を考える～	小中義特	11月17日(火)	61
信州大学 連携講座	3-7-01-21	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントA【中南信会場】	小中義特	10月5日(月)	39,71
	3-7-01-22	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントB【東北信会場】	小中義特	10月8日(木)	39,71
	3-7-03-21	更新しつづける教師 ～多様な一人ひとりの学びを保障する教室づくり～	小中義特	6月8日(月)	49,73
	3-7-03-22	学級づくり・学校づくり ～近未来の学校と期待される教師像～	小中義特	8月6日(木)	49,73
	3-7-03-23	へき地・小規模校における教育実践 ～個別最適な学びを実現する授業づくり～	小中義特	7月27日(月)	49,73
長野大学 連携講座	3-7-11-21	総合的な学習・探究の時間(オンライン) ～地元をフィールドにした地域の学び～	小中義特	9月11日(金)	49,74

キャリアアップ研修Ⅱ 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 「わたしが選ぶ」総合教育センター研修					
教科・領域	講座番号	講座名	対象校種	実施日	掲載ページ
上 越 教 連 携 大 講 座	3-8-01-21	学級経営と生徒指導の基礎・基本 ～学級経営と生徒指導の一体的充実を目指して～	小 中 義 特	7月 7日(火)	49,57,75
	3-8-01-22	授業観察2.0が創り出す新しい校内研修の形 ～子どもの事実を起点とした対話による組織の構築～	小 中 義 特	8月 5日(水)	39,75
	3-8-01-23	学習指導要領改定に向けた論点と道徳科授業 ～道徳科授業や授業づくりの実際を通して～	小 中 義 特	9月 7日(月)	49,75
	3-8-01-24	インクルーシブな授業を支える校内体制づくり ～個別の指導計画と授業をつなぐ理論と実践～	小 中 義 特	10月 2日(金)	61,75
生涯学習	3-9-01-01	持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む？ ～まちづくりや探究学習が自分事になる講演会の作り方～	小 中 義 特	6月 4日(木)	76
	3-9-01-02	地域学校協働活動を核とした地域づくり ～信州の強みである公民館と学校の連携を生かす！～	小 中 義 特	7月23日(木)	76
生 涯 ス ポ ー ツ	3-9-02-01	スポーツ現場における緊急対応 ～指導者が身につけておきたい応急手当と心肺蘇生法～	小 中 義 特	6月 9日(火)	77
	3-9-02-02	スポーツのケガや故障予防とコンディショニング ～パフォーマンス向上のために～	小 中 義 特	6月12日(金)	77
	3-9-02-03	スポーツへ応用できる古武術的身体操法 ～様々なスポーツへつながる指導法～	小 中 義 特	8月27日(木)	77
	3-9-02-04	メンタルトレーニングの理論と実践 ～選手の力を引き出そう～	小 中 義 特	11月13日(金)	77
	3-9-02-05	現場で使える10代アスリートのスポーツ栄養 ～ベストコンディションの実現～	小 中 義 特	11月20日(金)	77

# I 指定研修

## 7 高等学校 キャリアアップ研修 II

- 採用から10年目以上の教員を対象とした、悉皆の研修です。これまでの教員としての実践を振り返り、意識の改革、視野の拡大及び専門性の向上をめざし、中堅教員として必要とされる資質の向上を図ります。
- 校外研修7日、校内研修20日の研修内容を、原則として1年間で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」を参照してください。「研修の手引」様式は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>研修>指定研修>キャリアアップ研修II)

### 1 研修講座の日程等

研修(講座)名		実施日	日数	場所	欠席の対応
教職研修 I	A	5月14日(木)	1日	総合教育センター	p.82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。 (代替講座受講)
	B	5月15日(金)			
生徒指導力充実研修		6月23日(火)	1日	総合教育センター	
教職研修 II		8月24日(月)	1日	総合教育センター	
教職研修 III		令和9年 1月21日(木)	1日	総合教育センター	
選択研修		年間 (6月~1月)	1日	総合教育センター	
		年間	1日	県教育委員会が指定する 公開授業等(手引参照)	主催機関等に連絡して 指示を受けてください。

- 「教職研修 I~III」「生徒指導力充実研修」は、期日が指定されるので、申込みは必要ありません。
  - 「選択研修」は、総合教育センターの高校キャリアアップ研修II対象の研修講座(p.33~35)から、1日分 Plant を通じて総合教育センターへ申し込んでください(締切 4月24日(金))。
- ※1つの講座に申込みが集中した場合、受講について調整する場合があります。

### 2 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修の全てを実施できない場合、校長は、教職教育部長(0263-53-8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「R8 猶予予定」「R9 実施予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

(調査時と変更になった場合) 猶予願の申請期限: 4月15日(水)

キャリアアップ研修Ⅱ 高等学校 共通必修研修				
講座番号・講座名			実施日	内容、連絡等
1-3-02-01 教職研修ⅠA			5月14日(木)	講義、グループ討議を通してキャリアアップ研修Ⅱの意義と内容や本県の教育課題を理解し、自己の研修課題を考えます。 講義・演習「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 京都教育大学 教授 榎原 慎宏 講義「外国にルーツを持つ子どもたちへの教育における課題と展望」 講師 大阪大学 准教授 櫻井 千穂 演習「これまでの10年間、これからの10年間」 教職教育部 ■A、Bのいずれかを指定します。 ■持ち物 研修の手引(センターHPからダウンロード)、 端末(p.6参照)
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代的な課題への対応 ③ ④ ⑤ ⑩ ⑪ ⑬ ⑭ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献/管理職		
1-3-02-02 教職研修ⅠB			5月15日(金)	講義、グループ討議を通してキャリアアップ研修Ⅱの意義と内容や本県の教育課題を理解し、自己の研修課題を考えます。 講義・演習「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 京都教育大学 教授 榎原 慎宏 講義「外国にルーツを持つ子どもたちへの教育における課題と展望」 講師 大阪大学 准教授 櫻井 千穂 演習「これまでの10年間、これからの10年間」 教職教育部 ■A、Bのいずれかを指定します。 ■持ち物 研修の手引(センターHPからダウンロード)、 端末(p.6参照)
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代的な課題への対応 ③ ④ ⑤ ⑩ ⑪ ⑬ ⑭ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献/管理職		
1-3-02-03 生徒指導力充実研修			6月23日(火)	「生徒指導提要」を踏まえ、授業を中心とした日々の教育活動の中で、生徒指導力を充実させることの意義や必要性について理解を深めます。一人一人の子供たちの自己有用感を育む必要性や落ち着いた学習環境を維持している学校における教職員の具体的な行動について、各地の実践事例を踏まえて学びます。 講義・演習「多様な教育的ニーズに対応する高校～教育的予防の考えを踏まえて～」 講師 日本大学 教授 藤平 敦 ■持ち物 端末(p.6参照)
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代的な課題への対応 ④ ⑤ ⑩ ⑪ ⑬ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献/管理職		
1-3-02-04 教職研修Ⅱ			8月24日(月)	現代の教育課題について理解を深めるとともに、コーチングの考え方を理解して、今後の教育活動に生かします。 実践発表・演習「探究型学習の実践について」 各高校担当教諭 講義・演習「学校教育に活かすコーチング」 講師 常葉大学大学院 教授 久米 昭洋 ■持ち物 端末(p.6参照)
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代的な課題への対応 ③ ④ ⑧ ⑩ ⑪ ⑭ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献/管理職		
1-3-02-05 教職研修Ⅲ			令和9年 1月21日(木)	教育法規について学ぶとともに、レポートの発表と協議を通し、今後の課題や方向性を明らかにします。 講義・演習「教育法規と学校組織マネジメント」 講師 立正大学 准教授 山田 知代 グループ協議「キャリアアップ研修Ⅱのまとめ」 ■レポート「校内研修報告書(原案)」の事前提出があります。様式を送付しますので、指定された日までに送付してください。 ■持ち物 端末(p.6参照)
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代的な課題への対応 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献/管理職		

キャリアアップ研修Ⅱ 高等学校 選択必修研修				
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ
国語	3-1-01-21	資質・能力を育成する高校国語科の授業 ～生徒と考える、生徒が考える授業を基に～	6月11日(木)	42
	3-1-01-23	校種間の連携を大事にした古典指導 ～「古典の魅力」を感じ続けるために～	10月15日(木)	42
地歴 公民	3-1-02-23	高校地理歴史科の授業づくり ～問いを追究する授業づくり～	6月29日(月)	42
	3-1-02-24	中学校・高校公民の授業づくり ～主権者教育を意識した授業づくり～	9月15日(火)	43
数学	3-1-03-23	高校数学 主体的・対話的な授業づくり ～魅力ある授業を一緒に考えよう～	6月30日(火)	43
	3-1-03-25	中学校・高校数学 数学を楽しむ授業づくり ～統合的・発展的に考える力の育成を目指して～	9月1日(火)	43
	3-1-03-26	中学校・高校数学 統計分野の授業づくり ～統計で考えることの有用性を感じる授業づくり～	10月6日(火)	44
	3-1-03-27	視学官と学ぶ中高数学の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から中高連携を考える～	11月10日(火)	44
理科	3-1-04-22	高校理科生物実験 ～生物の基礎実験と指導を学ぶ～	6月18日(木)	44
	3-1-04-25	高校理科物理・地学実験 ～物理・地学の基礎実験を学ぶ～	7月2日(木)	45
	3-1-04-26	高校理科化学実験 ～化学の基礎実験と指導を学ぶ～	7月16日(木)	45
	3-1-04-28	高校理科課題研究 ～課題研究の指導を学ぶ～	11月9日(月)	45
英語	3-1-05-25	中高英語の自己表現力を高める指導 ～領域を統合した言語活動を効果的に取り入れる～	11月10日(火)	46
	3-1-05-26	主体的・対話的な学びを深める英語の授業 ～英語の見方・考え方を働かせる授業づくり～	11月16日(月)	46

キャリアアップ研修Ⅱ 高等学校 選択必修研修				
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ
音楽	3-1-07-21	調査官と学ぶ音楽科の授業づくり ～学習指導要領の趣旨と指導と評価～	6月23日(火)	46
	3-1-07-22	子供から音楽を引き出す授業づくり ～鑑賞や音楽づくりの授業を中心に～	8月20日(木)	46
	3-1-07-23	音楽教育の現在から未来へ ～郷土の音楽やAIの授業への活用～	10月27日(火)	47
	3-1-07-24	音楽科における個別最適な学びと協働的な学び ～ICTを活用した一体的な充実を目指して～	11月26日(木)	47
美術	3-1-08-22	調査官と考える中学校・高校美術 ～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～	9月 8日(火)	47
	3-1-08-23	見方や感じ方を深める鑑賞の学習 ～@軽井沢ニューアートミュージアム～	11月 6日(金)	47
	3-1-08-24	図工・美術でのICT活用 ～演習を通して有効性を学ぶ～	11月27日(金)	47
家庭	3-1-09-22	初めての 中学校・高校家庭科 ～楽しい家庭科の授業づくり～	6月18日(木)	47
	3-1-09-24	家庭科 消費生活・環境の授業づくり ～最新の情報を取り入れた授業づくり～	10月 8日(木)	48
図書館教育	3-1-14-22	図書館教育 ～学校図書館を活用した探究的な学びの創造～	11月13日(金)	50
学校体育	3-1-20-02	プロセスに焦点!! グループワークトレーニング ～より良い人間関係の構築に向けて～	6月25日(木)	51
	3-1-20-03	スポーツ場面のアンガーマネジメント ～子どもと大人を救うウェルビーイング～	6月30日(火)	51
	3-1-20-04	運動の基本動作を身につけるプログラム ～ドイツ生まれのバルシューレ～	7月 2日(木)	51
	3-1-20-06	誰もが楽しめるインクルーシブ体育 ～アダプテッド・スポーツから広がる体育授業～	8月 5日(水)	51
	3-1-20-09	実践! 障がいのある子どもの発達を育む運動遊び ～誰もが楽しめるムーブメント教育・療法～	9月10日(木)	52
	3-1-20-10	子どもの からだづくり 心づくり ～現代の子どもの育ちについて～	9月11日(金)	52
	3-1-20-11	ロイロノートを使った授業づくり ～体育・保健体育で活用してみよう～	9月17日(木)	52
	3-1-20-13	遊びで育つ心と体! 運動遊び実践講座 ～幼児・児童・生徒の笑顔を引き出そう～	10月 9日(金)	52
	3-1-20-14	武道のイメージを変える授業づくり ～楽しい剣道への動機づけ～	10月15日(木)	52
	3-1-20-15	振付に頼らなくても大丈夫! リズム系ダンス指導 ～みんなちがって みんないい～	10月23日(金)	52
	3-1-20-17	ICT/AI活用で学ぶ未来の保健体育 ～人生に必要な不可欠な「保健」と「体育」で学ぶ～	11月26日(木)	53
	3-1-20-18	スポーツによるケガ予防と再発防止のテーピング ～基礎的な考え方と方法～	12月 4日(金)	53
	3-1-20-53	スポーツ活動が充実する体幹トレーニング ～運動パフォーマンスを向上させる理論と実践～	10月20日(火)	53
学校の向上	3-2-01-21	人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～	10月 1日(木)	38
	3-2-01-22	人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～	10月16日(金)	38
	3-2-02-21	性に関する指導研修会	8月 3日(月)	38
	3-2-03-21	学校と社会がつながるキャリア教育 ～学習意欲の向上を目指す地域とのつながりの構築～	8月 6日(木)	38
	3-2-04-22	学校組織マネジメントⅡ ～教育法規と学校運営～	12月 4日(金)	38
	3-2-04-23	学校組織が駆動する校務ICT活用のデザイン ～チーム学校を支える戦略とマネジメント～	7月 3日(金)	38
	3-2-05-21	学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント	6月26日(金)	39
情報教育	3-3-01-21	先生のための知的財産入門 ～ネット時代の著作権と学校のルール～	6月19日(金)	63
	3-3-01-22	安全な情報セキュリティのための第一歩 ～先生も生徒も守るセキュリティ実践～	10月 6日(火)	63
	3-3-03-21	高校教科「情報」プログラミング編 ～探究学習につながる授業を考える～	7月 7日(火)	63
	3-3-03-22	高校教科「情報」データ活用編 ～探究学習につながる授業を考える～	10月27日(火)	64
産業教育	3-4-10-21	先生向けのアントレプレナーシップ入門 ～予測不能な時代を生き抜く力～	6月30日(火)	66
	3-4-10-22	専門科の学びをつなぐ課題研究 ～産業教育における探究的な学びに向けて～	12月 3日(木)	66
	3-4-10-23	産業教育研修発表会 ～研究成果を生かした授業改善を考える～	1月15日(金)	66
	3-4-11-21	探究的な学びを実現するプロジェクト学習 ～ワクワクを引き出すプロジェクト学習～	7月 7日(火)	66
	3-4-11-22	環境に優しい持続可能な農業を目指した農業教育 ～環境と調和のとれた食料システムを目指して～	9月 1日(火)	66
	3-4-11-23	日本農業の未来を拓くスマート農業 ～スマート農業を取り入れた農業教育を考える～	10月27日(火)	66
	3-4-12-21	ロボット製作を通じたものづくり教育 ～設計・製作・改善の探究プロセスを考える～	7月28日(火)	66
	3-4-12-22	工業教育における地域連携と産業界の今 ～産業界の最新技術とこれからの工業教育～	9月 8日(火)	66
	3-4-12-23	CADで広がる製図の世界 ～これからの製図教育を考える～	11月 5日(木)	67
	3-4-13-21	ケースメソッドで変わる授業づくり ～未来のビジネスリーダーを育てる授業を目指して～	6月25日(木)	67
	3-4-13-22	統計の基礎とデータ活用法 ～オープンデータを活用したデータ分析～	9月 1日(火)	67
	3-4-13-23	原価計算の効果的指導法 ～思考力を高める授業のデザイン～	9月15日(火)	67
	3-4-14-21	介護技術(生活支援技術)の実践と指導法 ～実習を通じた指導力向上を目指して～	8月17日(月)	67
	3-4-14-22	福祉分野の授業づくり ～教科「福祉」の教材研究と指導法～	11月10日(火)	67

キャリアアップ研修Ⅱ 高等学校 選択必修研修				
教科・領域	講座番号	講座名	実施日	掲載ページ
生徒指導 特別支援	3-5-02-22	児童生徒理解と課題への対応Ⅱ ～子供に寄り添う理解と支援～	6月26日(金)	56,59
生徒指導	3-5-01-21	教育相談 ～サインを見逃さない教育相談～	7月9日(木)	56
	3-5-01-22	関係づくり ～カウンセリングを学んで教師力アップ～	10月6日(火)	56
	3-5-02-21	児童生徒理解と課題への対応Ⅰ ～今、学校に求められるいじめ問題の理解と対応～	6月8日(月)	56
	3-5-02-23	児童生徒理解と課題への対応Ⅲ(オンライン) ～トラブル回避のための情報モラル教育～	9月8日(火)	56
	3-5-02-25	児童生徒理解と課題への対応Ⅴ ～不登校の児童生徒の理解と支援～	10月1日(木)	56
	3-5-02-26	児童生徒理解と課題への対応Ⅵ ～福祉・医療の立場から考える連携・支援～	11月13日(金)	56
特別支援 教育	3-6-02-22	読み書きのプロセスの理解と支援(オンライン) ～苦手さの要因から支援を考える～	7月10日(金)	59
	3-6-03-21	特別支援教育の授業づくりⅠ(オンライン) ～授業のUD化で わかった! できた! ～	7月29日(水)	59
	3-6-03-24	特別支援教育の授業づくりⅣ ～自立と社会参加へ 進路・キャリア教育～	8月20日(木)	60
	3-6-04-24	「自立」を育む特性に応じた支援 ～子供・保護者の困りを捉え 支援を考える～	11月17日(火)	61
信連 州大講 座	3-7-01-21	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントA【中南信会場】	10月5日(月)	39,71
	3-7-01-22	授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントB【東北信会場】	10月8日(木)	39,71
	3-7-03-22	学級づくり・学校づくり ～近未来の学校と期待される教師像～	8月6日(木)	49,73
長野大学 連携講座	3-7-11-21	総合的な学習・探究の時間(オンライン) ～地元をフィールドにした地域の学び～	9月11日(金)	49,74
上越連 携教 育講 大座	3-8-01-21	学級経営と生徒指導の基礎・基本 ～学級経営と生徒指導の一体的充実を目指して～	7月7日(火)	49,57,75
	3-8-01-22	授業観察2.0が創り出す新しい校内研修の形 ～子どもの事実を起点とした対話による組織の構築～	8月5日(水)	39,75
	3-8-01-24	インクルーシブな授業を支える校内体制づくり ～個別の指導計画と授業をつなぐ理論と実践～	10月2日(金)	61,75
生涯 学習	3-9-01-01	持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む? ～まちづくりや探究学習が自分事になる講演会の作り方～	6月4日(木)	76
	3-9-01-03	災害から命を守るために ～地域の支え合いと福祉の力で災害に立ち向かう! ～	8月7日(金)	76
	3-9-01-05	自治の土壌を耕す社会教育の担い手論 ～公民館・地域づくりのコミュニティナビゲーター機能とは～	6月23日(火)	77
	3-9-01-06	若者と社会教育 ～信州の事例から見える課題と展望～	12月3日(木)	77
生涯 スポー ーツ	3-9-02-01	スポーツ現場における緊急対応 ～指導者が身につけておきたい応急手当と心肺蘇生法～	6月9日(火)	77
	3-9-02-02	スポーツのケガや故障予防とコンディショニング ～パフォーマンス向上のために～	6月12日(金)	77
	3-9-02-03	スポーツへ応用できる古武術的身体操法 ～様々なスポーツへつながる指導法～	8月27日(木)	77
	3-9-02-04	メンタルトレーニングの理論と実践 ～選手の力を引き出そう～	11月13日(金)	77
	3-9-02-05	現場で使える10代アスリートのスポーツ栄養 ～ベストコンディションの実現～	11月20日(金)	77

# 8 キャリアアップ研修Ⅲ

- 公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校において、採用から20年目の教員を対象とした、悉皆の研修です。これまでの自己実践を振り返り、今後の教員人生を展望することを通して、キャリアステージに応じた計画的なキャリアアップを考えるとともに、専門性や人間性を高め、ミドルリーダーに求められる実践力を向上させることを目的としています。
- 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校では合計2日間の研修を、高校では合計3日間の研修を、原則として1年で修了します。
- 研修の詳細については、「研修の手引」を参照してください。「研修の手引」様式は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。(トップページ>研修>指定研修>キャリアアップ研修Ⅲ)

## 1 小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校

研修(講座)名	実施日	日数	場所	欠席の対応
「わたしが選ぶ」校外研修	年間	1日	総合教育センター	p. 82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。
			各研修会会場 等	主催機関等に連絡して指示を受けてください。

□「わたしが選ぶ」校外研修は、総合教育センターの義務キャリアアップ研修Ⅱ対象の研修講座(p. 29~31)や、各地区で行われる教科等の研修会、県下の先進的な実践をしている学校の見学等、様々な研修を各自で選定して受講します。総合教育センターの研修講座を受講する場合は、Plant を通じて総合教育センターへ申し込んでください(締切4月24日(金))。

## 2 高等学校

研修(講座)名	実施日	日数	場所	欠席の対応
校外研修	年間	1日	総合教育センター	p. 82を参照し、指定研修用の申請方法を確認してください。
			各研修会会場 等	主催機関等に連絡して指示を受けてください。

□「校外研修」は、総合教育センターの高校キャリアアップ研修Ⅱ対象の研修講座(p. 33~35)や、各地区で行われる教科等の研修会、県下の先進的な実践をしている学校の見学等、様々な研修を各自で選定して受講します。総合教育センターの研修講座を受講する場合は、Plant を通じて総合教育センターへ申し込んでください(締切4月24日(金))。

## 3 猶予について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修の全てを実施できない場合、校長は、教職教育部長(0263-53-8804)に電話連絡をした上で、指定研修の猶予に係る電子申請を行ってください。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル(様式第40号)を出力し、所属校で保管してください。但し、前年度の対象予定者調査票に「猶予予定」と回答した場合は、申請の必要はありません。新年度、調査時と変更になった場合のみ申請してください。

(調査時と変更になった場合) 猶予願の申請期限：4月15日(水)

# Ⅱ 希望研修

希望研修では、各自のキャリアステージに合わせた研修講座を選択することができます。教科指導や生徒指導、学校運営に関わる知識・技能及び資質の向上又は課題の解決に向けて、指導の基礎・基本から専門性の深化まで、各自の研修プランにあわせて受講してください。

希望研修の中には、最新の情報や動向を文部科学省や国立教育政策研究所から招いた講師から直接聞くことができる講座があります。



## 文部科学省・国立教育政策研究所から講師を招いた講座

視学官、教科調査官、学力調査官から注目動向や最新情報を知る。

講座番号	講座名	講師	対象	実施日	掲載ページ
3-2-03-21	学校と社会がつながるキャリア教育 ～学習意欲の向上を目指す地域とのつながりの構築～	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 長田 徹	幼小中義高特専	8月 6日(木)	38
3-2-04-23	学校組織が駆動する校務ICT活用のデザイン ～チーム学校を支える戦略とマネジメント～	文部科学省初等中等教育局 校務改善専門官 遠藤 雅典	幼小中義高特専	7月 3日(金)	38
3-1-02-23	高校地理歴史科の授業づくり ～問いを追究する授業づくり～	国立教育政策研究所 教育課程調査官 小関 祐之	高特	6月29日(月)	42
3-1-03-22	調査官と学ぶ算数の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から学びの系統性を考える～	国立教育政策研究所 学力調査官 小山 雅史	小義特	10月 9日(金)	43
3-1-03-27	視学官と学ぶ中高数学の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から中高連携を考える～	文部科学省初等中等教育局 視学官 水谷 尚人	中義高特	11月10日(火)	44
3-1-05-22	「できた！」を生み出す外国語の授業づくり ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 早川 優子	小義特	7月16日(木)	46
3-1-05-23	生徒の学びから考える外国語の授業づくり ～言語活動で生徒が働かせている見方・考え方とは～	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 鹿嶋 成子	中義高特	8月 5日(水)	46
3-1-05-24	つけたい力を明確にした外国語の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から考える～	国立教育政策研究所 学力調査官 佐藤 大樹	中義特	10月15日(木)	46
3-1-07-21	調査官と学ぶ音楽科の授業づくり ～学習指導要領の趣旨と指導と評価～	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 河合 紳和	小中義高特	6月23日(火)	46
3-1-08-21	調査官と考える小学校図画工作と造形遊び ～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 小林 恭代	小中義特	6月 5日(金)	47
3-1-08-22	調査官と考える中学校・高校美術 ～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 平田 朝一	小中義高特	9月 8日(火)	47
3-1-09-23	資質・能力を育成する家庭科の授業づくり	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 熊谷 有紀子	小中義特	8月 3日(月)	48
3-1-10-22	調査官と考える技術科の授業づくり ～生徒が自分の思いや願いを具現化する授業～	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 渡邊 茂一	中義	7月10日(金)	48
3-1-11-21	子供の「心」を育てる「特別の教科 道徳」 ～調査官と考える道徳科の指導と評価の一体化～	文部科学省初等中等教育局 教科調査官 堀田 竜次	小中義特	7月10日(金)	48

文部科学省・国立教育政策研究所から招いた講座

# 学校力の向上を目指す研修講座

教員一人一人の資質能力を育み、「チームとしての学校」づくりを目指す。

学校力の向上を目指す研修				実施日				内容、連絡等							
講座番号・講座名															
3-2-01-21 人権教育Ⅰ ～人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり～				10月1日(木)				長野県における人権教育のこれまでの歩み、現状、課題について理解を深め、人権教育を基盤とした学校づくりについて考えます。 講義・演習「共に創る人権教育」 講師 高森町教育委員会 教育長職務代理者 湯澤 正農夫 講義・演習「人権教育で大切にしたいこと」 心の支援課主任指導主事 研究協議「人権教育の視点を生かした授業づくり・学級づくり」 教職教育部専門主事							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応		⑦	⑧	⑬					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義高特 -				義初	高初	義キ	高キ	○	○		
■持ち物 各校の人権教育の全体計画など各5部、 端末 (p. 6 参照)															
3-2-01-22 人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～				10月16日(金)				長野市 大豆島隣保館				長野市大豆島隣保館を会場に、講義や現地視察を通して、地域の素材を生かした人権教育のあり方について学びます。 講義「部落差別の解消に向けて」 現地視察研修(大豆島隣保館周辺) 体験学習「皮革加工の歴史を学ぶ」 講義・演習「地域の素材を生かした人権教育」			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応		②	⑦	⑧	⑩	⑪	⑬		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	○	○		
■体験費 300円程度 ■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。															
3-2-02-21 性に関する指導研修会				8月3日(月)								キャリアアップ研修Ⅱの 「わたしが選ぶ」総合教育センター研修(小・中・義) 「わたしが選ぶ」校外研修(特) 「選択必修研修」(高) としてのみ選択可能な講座です。 保健厚生課の研修会に参加し、性に関する指導について基本的な考え方や保健学習の効果的な進め方を学びます。 ■申込みは総合教育センターのみに行ってください。(保健厚生課にも申込みと2重申込みとなりますのでご注意ください。) ■実施方法等、詳細は別途Plantにて連絡します。			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応		⑩	⑪	⑬					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義高特 -				義初	高初	義キ	高キ	○	○		
■申込みは総合教育センターのみに行ってください。(保健厚生課にも申込みと2重申込みとなりますのでご注意ください。) ■実施方法等、詳細は別途Plantにて連絡します。															
3-2-03-21 学校と社会がつながるキャリア教育 ～学習意欲の向上を目指す地域とのつながりの構築～				8月6日(木)								学習意欲の向上につながるキャリア教育の本質を考えます。 講義・演習「教室と社会が繋がれば学習意欲は向上する」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 東北福祉大学 教授 長田 徹 実践発表・演習「各校の取り組み事例から、地域素材を生かしたキャリア教育を考える」 実践発表校、教職教育部専門主事 講義「長野県のキャリア教育の現状とこれからのキャリア教育」 学びの改革支援課指導主事			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応		①	⑥	⑦	⑨	⑩			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	○	○		
■持ち物 各校のキャリア教育全体計画、端末 (p. 6 参照)															
3-2-04-21 学校組織マネジメントⅠ ～ミドルリーダーのための学校組織マネジメント～				7月6日(月)								「チームとしての学校」におけるミドルリーダーとして、どのような役割を果たせばよいのか、また、より効果的に人や組織をつなぐために何ができるのかを考えます。 講義・演習「学校組織をマネジメントするコーチング」 講師 常葉大学大学院 教授 久米 昭洋			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応		③	④						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	○			
■持ち物 端末 (p. 6 参照)															
3-2-04-22 学校組織マネジメントⅡ ～教育法規と学校運営～				12月4日(金)								教育法規の視点から、学校組織マネジメントのあり方について理解を深め、事例をもとに危機を未然に防ぐための危機管理について考えます。 講義・演習「2026 - 教育法規と学校運営 ～スクール・コンプライアンスの視点から～」 講師 淑徳大学 教授 坂田 仰			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応		③	④	⑤	⑩	⑪			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	○	○		
■持ち物 端末 (p. 6 参照)															
3-2-04-23 学校組織が駆動する校務ICT活用のデザイン ～チーム学校を支える戦略とマネジメント～				7月3日(金)								学校づくりや組織づくりには、職員同士のつながりや対話が欠かせません。近年、校務ICTを活用しながら、情報共有の工夫を通して、学校全体の動き方を見直そうとする学校が増えています。本講座では、ICTを「どう使うか」だけでなく、学校の中でどう位置付け、組織として動かしていくかという視点から考えます。実践事例や対話を通し、自校に合う改善のヒントを探ってみませんか。 実践発表「校務ICTを学校組織に根づかせるマネジメント」 講義・演習「校務DXの最新動向と組織的浸透のポイント」 講師 文部科学省初等中等教育局 校務改善専門官 遠藤 雅典			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題課題への対応		④			⑫				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	○	○		
■持ち物 端末 (p. 6 参照)															

を学希  
目校望  
指力研  
すの修  
研向上

学校力の向上を目指す研修										実施日				内容、連絡等			
講座番号・講座名																	
3-2-05-21 学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント										6月26日(金)				カリキュラム・マネジメントの理論や実践について、講義・演習を通して学びます。 情報交換「カリキュラム・マネジメントにかかわる各校の取組」 講義「カリキュラム・マネジメントの理論と方法」 演習「自校のカリキュラム・マネジメントの把握と改善」 情報交換「リフレクション～自校の取組に生かすために～」			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代な課題への対応									
②		⑥														⑭	
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		幼 小 中 義 高 特 専		義初 高初 義キ 高キ		○ ○		■持ち物 学校要覧又はグランドデザイン4部、 端末 (p. 6 参照)			
信州大学連携 3-7-01-21 授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントA 【中南信会場】										10月5日(月) 信州大学 伊那キャンパス				教師の授業力向上を目指し、学習指導要領が目指す方向を理解するとともに、児童・生徒が能動的に学ぶ姿を醸成するための授業改善のあり方やカリキュラム・マネジメントについて学びます。また、大学で開講されている教職科目「教職実践演習」に参加し、学生とともに授業研究や分析の演習を行います。 午前：教員のみ講義を実施 午後：教員と学生の協働による教職実践演習 講師 信州大学教職支援センター 特任教授 小山 茂喜			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代な課題への対応									
②		④		⑥		⑨											
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- 小 中 義 高 特 -		義初 高初 義キ 高キ		○ ○		■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。			
信州大学連携 3-7-01-22 授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントB 【東北信会場】										10月8日(木) 信州大学 上田キャンパス				教師の授業力向上を目指し、学習指導要領が目指す方向を理解するとともに、児童・生徒が能動的に学ぶ姿を醸成するための授業改善のあり方やカリキュラム・マネジメントについて学びます。また、大学で開講されている教職科目「教職実践演習」に参加し、学生とともに授業研究や分析の演習を行います。 午前：教員のみ講義を実施 午後：教員と学生の協働による教職実践演習 講師 信州大学教職支援センター 特任教授 小山 茂喜			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代な課題への対応									
②		④		⑥		⑨											
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- 小 中 義 高 特 -		義初 高初 義キ 高キ		○ ○		■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。			
上越教育大学連携 3-8-01-22 授業観察2.0が創り出す新しい校内研修の形 ～子どもの事実を起点とした対話による組織の構築～										8月5日(水)				「子どもの姿から語る」を、建前からチームの熱量へ。 形式的な検討会やどこか予定調和な対話に、物足りなさを感じていませんか？本研修で、授業ビデオから「一人の子の学びの事実」を深掘りします。教師の「評価」や教師への「助言」を越え、子どもの姿を多角的に語り合う体験は、同僚との距離を縮め、チームの連帯感を生み出します。「授業観察 2.0」で、学校の授業研究をワクワクする対話の場へ。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 大島 崇行 上越教育大学教職大学院 教授 桐生 徹			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代な課題への対応									
③		④														⑭	
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		幼 小 中 義 高 特 専		義初 高初 義キ 高キ		○ ○		■持ち物 端末 (p. 6 参照)			
3-2-10-01 講師のための教職基礎講座 高校										5月22日(金)				高等学校の教員として教育に携わるにあたり、基本に据えるべきことを理解し使命感を養うとともに指導の視点と姿勢を学びます。 講義「長野県における喫緊の教育課題と教育公務員として求められること」 教職教育部長 講義・演習「生徒理解と支援」 生徒指導・特別支援教育部専門主事 講義・演習「授業づくり及び評価方法の基礎・基本」 研究協議「授業改善に向けた課題解決のための手だてを考える」 教職教育部専門主事			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能													
				学習指導		生徒指導		現代な課題への対応									
③		⑤		⑦		⑧		⑨ ⑩									
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- - - - 高 - -		義初 高初 義キ 高キ				■持ち物 端末 (p. 6 参照)			

を学希  
目校望  
指力研  
すの修  
研向  
修上

### 講師のための教職基礎講座 高校

#### 1 講座のねらい

- (1) 高等学校の教員として教育に携わるにあたり、基本に据えるべきことを理解して教員としての自覚と使命感を養います。
- (2) 生徒が身に付けてほしい資質・能力について理解を深めるとともに、授業力向上のための方法や手だてを専門主事とともに考えます。

#### 2 申込み対象者

高等学校の常勤講師として勤務している方に限ります（特に今年度はじめて講師になった先生方は是非ご参加ください）。

#### 3 申込方法

他の希望研修同様、Plant を通じて申し込んでください。

# 「探究の学び」と「教師の学び」をテーマにした「インターバル研修」

## 【昨年度の受講者の声から】

「探究は『させるもの』ではなく、子供の中にすでにあるものを支えることだと捉え直した」  
 「問い返されることで、自分でも気付いていなかった思いが言葉になっていった」  
 「教職員同士がもっと対話することで、学校全体の学びが変わっていくのではないかと感じた」



子供の探究を支えていくためには、授業づくりだけでなく、教師同士が学び合う場や文化を学校でどうつくるかが重要になります。本研修は、研究主任等、校内研修を構想・推進する立場にある先生方を対象に、教師自身が学び手として探究し、語り合い、省察しながら、自校の学び合いの在り方を見つめ直す研修です。「探究の学び」や学校改革に先進的に取り組む県内校から得られた理論や考え方を学び、自校で校内研修や実践を行うなど、理論と実践を往還させて学びを深めていきます。センター研修と自校の取組を行き来するインターバル研修に加え、講座参加者の学校への訪問等による伴走支援も予定しています。探究の学びを育てていきたい先生方の参加をお待ちしています。

## ■ 申込みにおける注意事項

- ① 本講座は以下の5講座で1セットの講座です。受講希望者は以下の5講座すべてに申し込んでください。  
 ※ 4月の申込みでは、本講座以外の希望研修は2講座まで申し込むことができます。
- ② やむを得ず欠席される場合は、できる限り校内で代理の出席をお願いします。

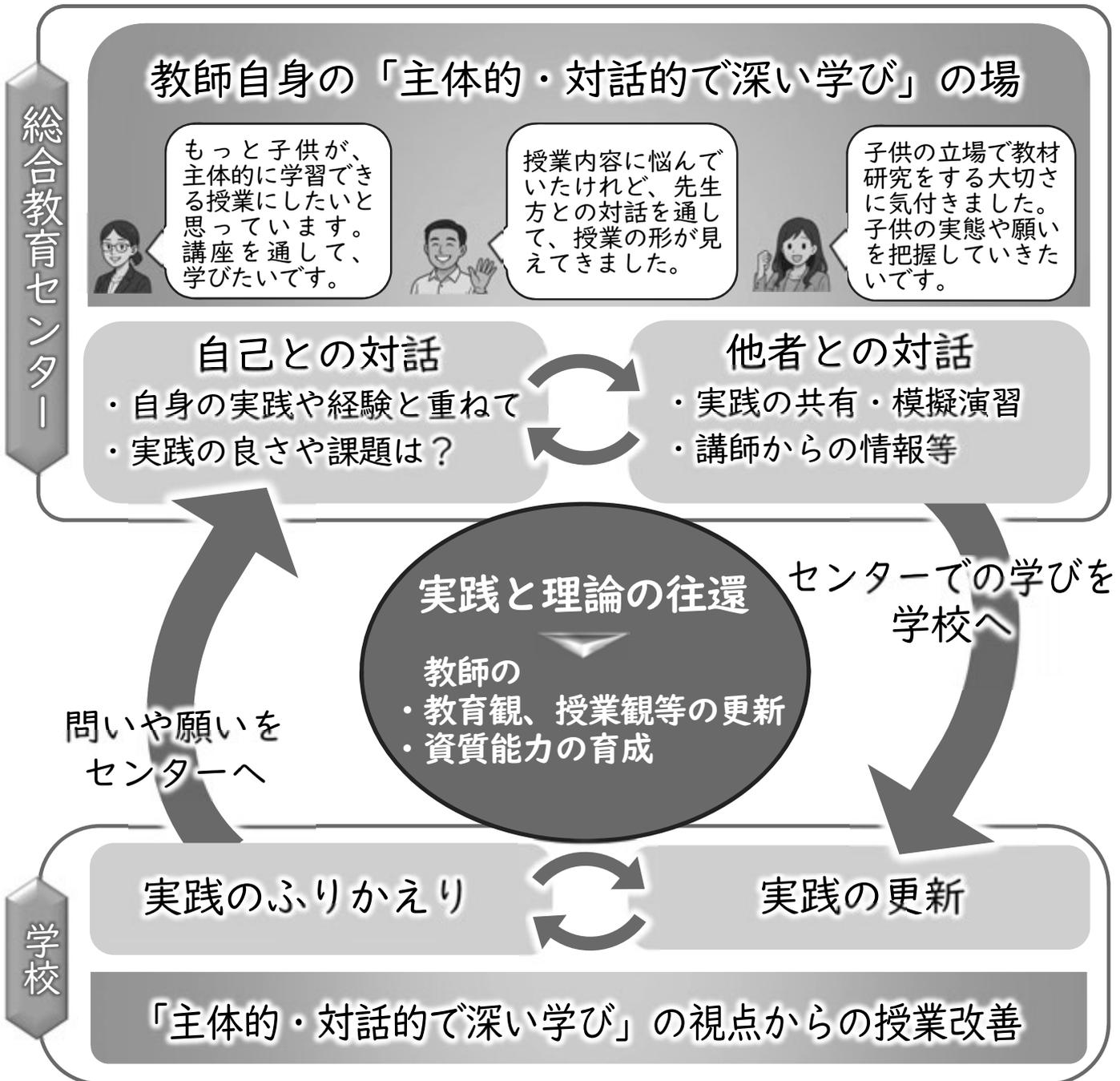
を学希  
目校望  
指力研  
すの修  
研向上

学校力の向上を目指す研修（インターバル研修）									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
3-2-15-21 「探究の学び」を探究する(第1回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					6月5日(金)				<b>【研修の構成】</b> 前半は、教師自身の実践の省察や探究の経験を手がかりとしながら、探究そのものについて学び手の立場から捉え直すとともに、対話の意味や価値について考え、子供の探究を支える上で大切にしたい視点や関わり方を見つめ直していきます。 後半は、「探究の学び」を学校全体で支えていくために、校内研修の構想や実践を行い、その記録を持ち寄ってアウトプットとフィードバックを重ねていきます。こうした協働的な学びを通して、「探究の学び」を核に、教師が学び合いながら変化し成長していく道筋を捉え直していきます。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	
3-2-15-22 「探究の学び」を探究する(第2回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					7月7日(火)				<b>【研修の内容】</b> ○「探究」って何だろう？を、学び手の立場から考える  ○探究そのものに触れてみる「ミニ探究」  ○写真や実践の様子をもとに語り合うグループ協議  ○探究の学びを支える対話の意味や価値について考える  ○リフレクションの考え方や方法にふれる理論  ○探究の出発点となる問いの立て方や問いの在り方  ○教師同士が学び合う場や校内研修のつくり方を考える  ○実践の記録を持ち寄って行う共同リフレクション  ○アウトプットとフィードバックを通して、実践の成果や課題を見つめ直す  ※上記内容は、受講者の学びの様子によって随時修正を加えながら進めていきます。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	
3-2-15-23 「探究の学び」を探究する(第3回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					9月14日(月)				<b>【オンライン研修】</b> (午後半日開催) 在勤校等  ○教師同士が学び合う場や校内研修のつくり方を考える  ○実践の記録を持ち寄って行う共同リフレクション  ○アウトプットとフィードバックを通して、実践の成果や課題を見つめ直す  ※上記内容は、受講者の学びの様子によって随時修正を加えながら進めていきます。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	
3-2-15-24 「探究の学び」を探究する(第4回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					11月16日(月)				<b>【オンライン研修】</b> (午後半日開催) 在勤校等  ○教師同士が学び合う場や校内研修のつくり方を考える  ○実践の記録を持ち寄って行う共同リフレクション  ○アウトプットとフィードバックを通して、実践の成果や課題を見つめ直す  ※上記内容は、受講者の学びの様子によって随時修正を加えながら進めていきます。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	
3-2-15-25 「探究の学び」を探究する(第5回) ～子供の探究を支えるための教師の学び合い～					2月16日(火)				■持ち物等、詳細は別途Plantにて連絡します。 ■上記の研修日以外に、オンラインで情報交換や相談ができる機会をつくる予定です。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④	⑦		⑭					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-	小	中	義	

# 1 教科等教育研修

教科等教育研修では、「授業づくりの基礎を学ぶ研修」「教科等のねらいに基づいた教材研究のあり方について学ぶ研修」等の講座を開設し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を目指しています。

また、教師自身が自らの問いや願いを起点に、他者との対話を通して学びを深め、実践と理論を行き来しながら、自身の教育観や授業観を見つめ直す探究的な研修を行っています。



希望研修  
教科等教育研修

講座テキストの活用、校内研修、実践化の相談など、希望に応じて研修後の実践もサポートします。

教科等教育研修										実施日				内容、連絡等							
<b>3-1-01-01</b> <b>小学校国語科の授業づくり 基礎</b> ～言語活動を通して育成する資質・能力～										6月25日(木)				学習指導要領や子供の姿を基に、国語科における教材研究や単元・授業づくりについて考えます。 講義・演習1「ねらいを明確にした『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』の指導について」 講義・演習2「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」 実践発表「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」(仮)							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応														
			⑦	⑧	⑨																
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献										義初	高初	義キ	高キ	○							
<b>3-1-01-02</b> <b>中学校国語科の授業づくり 基礎</b> ～言語活動を通して育成する資質・能力～										6月18日(木)				学習指導要領や子供の姿を基に、国語科における教材研究や単元・授業づくりについて考えます。 講義・演習1「ねらいを明確にした『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』の指導について」 講義・演習2「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」 実践発表「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」(仮)							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応														
			⑦	⑧	⑨																
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献										義初	高初	義キ	高キ	○							
<b>3-1-01-21</b> <b>資質・能力を育成する高校国語科の授業</b> ～生徒と考える、生徒が考える授業を基に～										6月11日(木)				学習指導要領の趣旨及び要点を基に、生徒が主体的・対話的に学ぶ単元・授業づくりやICTの活用について考えます。 講義「学習指導要領から考える国語科の主体的・対話的な学び」 演習「生徒が主体的・対話的に学ぶ国語科の単元・授業づくり」 講師 信州大学学術研究院教育学系 准教授 八木 雄一郎							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応														
			⑦	⑧	⑨			⑫													
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献										義初	高初	義キ	高キ		○	○	○				
<b>3-1-01-22</b> <b>国語科授業で育成された資質・能力をどう見るか</b> ～評価問題づくりを通して単元を構想する～										8月3日(月)				「評価の目的」・「育成を目指す資質・能力を意識した評価問題づくりと単元づくり」について考えます。 講義・演習「『評価の目的』・『育成を目指す資質・能力を意識した評価問題づくりと単元づくり』について」 演習「資質・能力を意識した評価問題づくり・単元づくり」							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応														
			⑦	⑧	⑨																
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献										義初	高初	義キ	高キ	○		○					
<b>3-1-01-23</b> <b>校種間の連携を大事にした古典指導</b> ～「古典の魅力」を感じ続けるために～										10月15日(木)				「我が国の言語文化に関する事項」について、校種間の連携を大切にしながら、古典を通して語彙を豊かにする指導はどうかあつたらよいか考えます。 講義「学習指導要領における『伝統的な言語文化』重複教材の教材研究と指導のポイント」 演習「『我が国の言語文化』を学ぶための教材研究」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 西 一夫							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応														
			⑦	⑧	⑨																
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献										義初	高初	義キ	高キ	○	○	○	○				
<b>3-1-02-21</b> <b>小学校社会科の授業づくり</b> ～問いを追究する授業づくり～										6月9日(火)				社会的な見方・考え方を働かせ、「問い」を追究したり解決したりする授業づくりについて学びます。ICTの活用についてもお互いの授業実践から学び合ひましょう。 講義・演習「小学校社会科で育む資質・能力と授業づくり」 協議「社会科の授業におけるICTの活用」 講義・演習「問題解決的な学習の単元を構想する」							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応														
			⑦	⑧	⑨			⑫													
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献										義初	高初	義キ	高キ	○		○					
<b>3-1-02-22</b> <b>中学校社会科の授業づくり</b> ～問いを追究する授業づくり～										6月23日(火)				社会的な見方・考え方を働かせ、「問い」を追究したり解決したりする授業づくりについて学びます。ICTの活用についてもお互いの授業実践から学び合ひましょう。 講義・演習「中学校社会科で育む資質・能力と授業づくり」 協議「社会科の授業におけるICTの活用」 講義・演習「課題解決的な学習の単元を構想する」							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応														
			⑦	⑧	⑨			⑫													
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献										義初	高初	義キ	高キ	○		○					
<b>3-1-02-23</b> <b>高校地理歴史科の授業づくり</b> ～問いを追究する授業づくり～										6月29日(月)				社会的な見方・考え方を働かせ、「問い」を追究したり解決したりする地理歴史科の授業づくりについて学びます。ICTの活用についてもお互いの授業実践から学び合ひましょう。 講義「高等学校地理歴史科の授業づくりのポイント」 講師 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小関 祐之 演習「課題解決的な学習の単元を構想する」							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応														
			⑦	⑧	⑨			⑫													
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献										義初	高初	義キ	高キ		○		○				

教科等教育研修												
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等			
<b>信州大学連携</b> <b>3-1-02-24</b> <b>中学校・高校公民の授業づくり</b> <b>～主権者教育を意識した授業づくり～</b>					9月15日(火)				公民の授業づくりのポイント、主権者教育を視点として具体的に学びます。 講義・演習「主権者教育とつながる租税教育」 講師 長野税務署、関東甲信越国税局国税広報広聴室 講義・演習「主権者教育の理論と実践」 講師 信州大学学術研究院総合人間科学系 教職支援センター 准教授 田村 徳至			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代な課題への対応								基礎形成	伸長	充実
基礎形成					義初				高初	義キ	高キ	■持ち物 公民の教科書、学習指導要領解説、端末 (p. 6 参照)
<b>3-1-02-25</b> <b>地域素材の教材化</b> <b>～県立歴史館を活用した教材研究～</b>					11月10日(火) 長野県立歴史館				県立歴史館の資料を用いて、調査したい県内の地域素材について文化財指導主事とともに研究し、教材化につなげます。 講義・見学「県立歴史館見学～授業実践に歴史館を生かす～」 演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」 講師 長野県立歴史館 文化財指導主事			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代な課題への対応								基礎形成	伸長	充実
基礎形成					義初				高初	義キ	高キ	■調査したい地域素材について、事前にアンケートをとりまします。 ■集会所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
<b>3-1-03-01</b> <b>小学校算数の授業づくり 基礎</b> <b>～指導主事と考え、学び合う授業づくり～</b>					6月25日(木)				算数科の目標や内容についての理解を深め、算数の教材研究の進め方や授業づくりの基礎・基本や実践を共有し合い、受講者同士の対話や指導主事との対話を通して学び合います。 研究協議「算数指導における工夫と課題」 講義・演習「算数指導の基礎・基本」 「算数の授業づくり」			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代な課題への対応								基礎形成	伸長	充実
基礎形成					義初				高初	義キ	高キ	■持ち物 担当学年の教科書、学習指導要領解説、端末 (p. 6 参照)
<b>3-1-03-21</b> <b>算数の授業づくり</b> <b>～教材研究の仕方を学ぶ～</b>					8月28日(金)				算数の具体的な学習内容を取り上げ、教材研究の仕方について知見を広げると共に、主体的・対話的で深い学びを体験的に学びながら授業づくりについて考えます。算数の学習内容の背景にある本質的な数学の理解につなげていきます。 講義・演習「算数の授業づくり」 講師 都留文科大学教養学部学校教育学科 教授 新井 仁			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代な課題への対応								基礎形成	伸長	充実
基礎形成					義初				高初	義キ	高キ	■持ち物 担当学年の教科書、学習指導要領解説、端末 (p. 6 参照)
<b>3-1-03-22</b> <b>調査官と学ぶ算数の授業づくり</b> <b>～全国学力・学習状況調査から学びの系統性を考える～</b>					10月9日(金)				算数指導のあり方を理解し、数学的に考える資質・能力を育成するための授業づくりや単元づくりの仕方を、全国学力・学習状況調査問題を見ながら学びます。講義や演習を通して、カリキュラム・マネジメントの推進についても学びます。 講義・演習「全国学調を活用した算数の授業づくり・単元づくり」 講師 国立教育政策研究所 学力調査官 小山 雅史			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代な課題への対応								基礎形成	伸長	充実
基礎形成					義初				高初	義キ	高キ	■持ち物 担当学年の教科書、学習指導要領解説、端末 (p. 6 参照)
<b>3-1-03-23</b> <b>高校数学 主体的・対話的な授業づくり</b> <b>～魅力ある授業を一緒に考えよう～</b>					6月30日(火)				自身の授業実践を振り返るとともに、高校数学における主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくりについて、実践発表やグループ協議を通して受講者みんなと一緒に考えましょう。 実践発表「主体的・対話的な授業を目指して」 演習「魅力ある授業を考えよう」			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代な課題への対応								基礎形成	伸長	充実
基礎形成					義初				高初	義キ	高キ	■持ち物 使用している教科書、自身の授業実践の資料等(可能な方)、端末 (p. 6 参照)
<b>3-1-03-24</b> <b>中学校数学 魅力ある授業づくり</b> <b>～数学的な見方・考え方を働かせる授業づくり～</b>					8月5日(水)				数学的な見方・考え方を働かせることのよさが伝わる授業づくりについて、講義を通して学んだり、演習を通して日頃の授業実践の情報を交換したりしながら考えます。 講義「数学的な見方・考え方を働かせることのよさを味わう授業づくりを考える」 講師 奈良教育大学数学教育講座 准教授 舟橋 友香 演習「数学的な見方・考え方を働かせる授業づくり」			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代な課題への対応								基礎形成	伸長	充実
基礎形成					義初				高初	義キ	高キ	■持ち物 使用している教科書、端末 (p. 6 参照)
<b>3-1-03-25</b> <b>中学校・高校数学 数学を楽しむ授業づくり</b> <b>～統合的・発展的に考える力の育成を目指して～</b>					9月1日(火)				全国学力・学習状況調査や大学入学共通テスト等の出題傾向を踏まえ、数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成する授業づくりについて考えます。 講義「数学の問題発見・解決の過程」 講師 筑波大学人間系 准教授 小松 孝太郎 演習「ワクワクする授業を考えよう」			
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 学習指導 生徒指導 現代な課題への対応								基礎形成	伸長	充実
基礎形成					義初				高初	義キ	高キ	■持ち物 使用している教科書、端末 (p. 6 参照)

教科等教育研修									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
3-1-03-26 中学校・高校数学 統計分野の授業づくり ～統計で考えることの有用性を感じる授業づくり～					10月6日(火)				統計分野で身に付けたい資質・能力について理解を深め、「統計で考える力」を身に付けることの大切さを学びます。また、統計で考えることの有用性を感じる授業づくりについて、実際にデータを処理・分析しながら考えます。 講義「統計的探究プロセスと批判的思考」 講師 都留文科大学教養学部 教授 新井 仁 演習「統計分野の授業づくりを考える」
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	-- 中義高特 --		義初	高初	義キ	
3-1-03-27 視学官と学ぶ中高数学の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から中高連携を考える～					11月10日(火)				全国学力・学習状況調査の問題に込められた意味や、調査結果を踏まえた授業づくりについて学びます。また、中学校・高等学校の双方の学びを共有し、それぞれの授業づくりについて考えます。 講義「全国学力・学習状況調査問題や調査結果を活用した授業づくり」 講師 文部科学省初等中等教育局 視学官 水谷 尚人 演習「数学の授業づくりから中高連携を考える」
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	-- 中義高特 --		義初	高初	義キ	
3-1-04-01 高校理科の授業づくり 基礎 ～授業づくりの基礎・基本～					6月8日(月)				授業づくりの基礎基本を学びたい方を対象とした講座です。高校理科の学習指導要領のポイントを確認し、授業づくりの基礎基本を学びましょう。 講義「学習指導要領にみる高校理科で求められていること」 情報交換「指導における工夫と課題」 演習「高校理科の授業づくり」
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	-- 高特 --		義初	高初	義キ	
3-1-04-02 中学校理科の授業づくり 基礎 ～実験を通して、授業づくりを考えよう～					6月9日(火)				教科書に載っている観察、実験を扱いながら、実験操作や教材研究の基礎を学び、科学的に探究する力の育成につながる理科の授業づくりと教材研究について考えます。 協議「授業づくりや教材研究で大切にしていること」 講義「生徒の探究を支える授業づくりと教材研究」 演習「教科書に載っている観察、実験の基礎」
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	-- 中義特 --		義初	高初	義キ	
3-1-04-21 小学校・中学校理科実験 ～理科実験と指導を学ぶ～					6月11日(木)				「実験の基本を学びたい」「実験指導で悩みがある」といった先生向けの講座です。実験についてきちんと学び、安全に実験を行うために、実験のコツを一緒に学びましょう。 講義「実験から何を学び、どんな力を養うのか」 実習「実験の成功率を高める工夫をやってみよう」
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義特 -		義初	高初	義キ	
3-1-04-22 高校理科生物実験 ～生物の基礎実験と指導を学ぶ～					6月18日(木)				初任者や実験の苦手な方を対象とした講座です。高校生物でよく行われる基礎的な実験について、実験のやり方、指導のポイントの基本を学びます。実験を上手くやるコツや実験から授業展開について考えましょう。 講義「よく行われる基礎的な生物実験」 講師 松本美須々ヶ丘高校 教諭 中島 瑞恵
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	-- 高特 --		義初	高初	義キ	
3-1-04-23 小学校理科の授業づくり ～実践を語り、体験し、学び合う～					6月25日(木)				持ち寄った実践を語り合ったり、児童の視点に立って教材に触れたりすることを通して、科学的に探究する力の育成につながる授業づくりについて考えます。 協議「授業づくりや教材研究で大切にしていること」 講義「児童の探究を支える授業づくりと教材研究」 演習「探究的な理科の授業を考える」
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小義特 -		義初	高初	義キ	
3-1-04-24 中学校理科の授業づくり ～実践を語り、体験し、学び合う～					6月30日(火)				持ち寄った実践を語り合ったり、生徒の視点に立って教材に触れたりすることを通して、科学的に探究する力の育成につながる授業づくりについて考えます。 協議「授業づくりや教材研究で大切にしていること」 講義「生徒の探究を支える授業づくりと教材研究」 演習「探究的な理科の授業を考える」
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	-- 中義特 --		義初	高初	義キ	

希望研修  
教科等教育研修

教科等教育研修										実施日				内容・連絡等					
講座番号・講座名																			
3-1-04-25 高校理科物理・地学実験 ～物理・地学の基礎実験を学ぶ～										7月2日(木)				物理・地学分野の基礎的な実験について、実験のコツや指導方法を学びます。実験をもとにした授業展開について、一緒に考えましょう。 講義「高校物理・地学の実践上の課題と工夫」 演習「物理・地学の授業で使える実験・教材づくり」					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応							
				⑦		⑧		⑨				⑭							
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献				---		高 特		義初		高初		義キ 高キ	
																○		○	
														■持ち物 端末 (p. 6 参照)					
3-1-04-26 高校理科化学実験 ～化学の基礎実験と指導を学ぶ～										7月16日(木)				初任者や実験の苦手な方を対象とした講座です。高校化学でよく行われる基礎的な実験について、実験のやり方、指導のポイントの基本を学びます。実験を上手にやるコツや実験から授業展開について考えましょう。 講義「よく行われる基礎的な化学実験」 講師 松本蟻ヶ崎高校 教諭 有賀 圭子					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応							
				⑦		⑧		⑨				⑭							
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献				---		高 特		義初		高初		義キ 高キ	
																○		○	
														■持ち物 白衣、端末 (p. 6 参照)					
3-1-04-27 薬品管理 ～化学実験の準備・運営・後片づけまで～										8月4日(火) (午前半日開催)				高校での薬品管理担当の方を対象とした講座です。薬品の管理方法、管理簿のつけ方、廃液の正しい処理方法について学びます。また、実習を通して事故防止のポイントについて学びます。 講義「薬品管理と廃液処理」 実習「事故をなくすための実験操作の基本」					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応							
				⑤															
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献				---		高 特		義初		高初		義キ 高キ	
														■持ち物 白衣、端末 (p. 6 参照)					
3-1-04-28 高校理科課題研究 ～課題研究の指導を学ぶ～										11月9日(月)				理科をはじめとする課題研究の指導法についての講座です。研究活動を行う上で、研究の進捗状況や各時期における生徒へのアプローチ方法を学び、課題研究のマネジメントについて考えます。 講義「高校の課題研究と学習指導要領」 実習「課題研究をどのように指導しますか？」					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応							
				⑦		⑧		⑨				⑭							
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献				---		高 特		義初		高初		義キ 高キ	
																○		○	
														■持ち物 端末 (p. 6 参照)					
3-1-04-29 授業に生かす天体観測 ～望遠鏡を組み立て、観測してみよう～										11月13日(金)				天体シミュレーターソフトを用いた授業実践紹介や天体モデルや教材の制作をします。実習では、屋上で天体望遠鏡の組立を行い、太陽黒点の観察や、大型望遠鏡で青空の中の1等星を観察します。					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応							
②				⑦		⑧													
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献				-		小 中 義 高 特		義初		高初		義キ 高キ	
														■持ち物 防寒着、端末 (p. 6 参照) ■動きやすい服装で参加してください。 ■講座終了後、希望者による観望会 (16:30～19:00) を実施します。土星や海王星などを観察する予定です。					
3-1-05-01 中学校・高校英語 基礎Ⅰ ～「できた!」「わかった!」を力に変える授業づくり～										6月23日(火)				中学校から高校への接続を意識した英語の授業づくりについて考えます。受講者同士の対話を通して教材の違いや生徒たちの学習経験について理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を育成する言語活動をどのように取り入れていけばよいのかを考えます。 講義「中高接続のあり方」 演習「様々な言語活動」 演習「学習経験を意識した授業づくり」					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応							
				⑦		⑧													
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献				-		中 義 高 特		義初		高初		義キ 高キ	
																○			
														■持ち物 使用している教科書、端末 (p. 6 参照)					
3-1-05-02 中学校・高校英語 基礎Ⅱ ～授業づくりから評価まで～										7月7日(火)				英語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための、よりよい授業づくりと評価のあり方について考えます。自校で実践するための授業案や評価方法について、受講者同士でアイデアを出し合い、一緒に考えましょう。 講義・演習「英語の授業づくりと評価」 実践発表「高校における授業の実践事例」 演習「明日につながる授業づくり」					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応							
				⑦		⑧		⑨				⑫							
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献				-		中 義 高 特		義初		高初		義キ 高キ	
																○			
														■持ち物 使用している教科書、自校のCAN-DOリスト (5部)、パフォーマンステストの資料又は考査問題 (5部)、端末 (p. 6 参照)					
3-1-05-21 子供の力を伸ばす外国語の授業づくり ～子供の「やってみたい!」を引き出す言語活動～										6月9日(火)				子供の「やってみたい!」を引き出す言語活動の工夫や、AI時代に求められる力を育てる授業づくりについて学びます。さらに、子供が主体的に取り組める活動のポイントや、学習意欲を高める指導のアイデアを具体的に考えます。 講義・演習「子供の主体的な学びを実現するための授業づくり」 講師 信州大学学術研究院 教授 酒井 英樹					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能				学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応							
				⑦		⑧		⑨				⑫							
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献				-		小 中 義 - 特		義初		高初		義キ 高キ	
																○		○	
														■持ち物 使用している教科書、学校で使用しているCAN-DOリスト、端末 (p. 6 参照)					

教科等教育研修										実施日				内容、連絡等					
講座番号・講座名																			
3-1-05-22 「できた！」を生み出す外国語の授業づくり ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～										7月16日(木)				個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための小学校における授業デザインや、ICTの活用方法等について学びます。 講義「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 早川 優子 実践発表「実践事例から学ぶ外国語の授業づくり」 演習「児童生徒が自走する授業づくり」					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
		⑦		⑧		⑨				⑫									
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- 小 - 義 - 特 -		義初		高初		義キ		高キ		■持ち物 使用している教科書、端末 (p. 6 参照)	
										○		○		○		○			
3-1-05-23 生徒の学びから考える外国語の授業づくり ～言語活動で生徒が働かせている見方・考え方は～										8月5日(水)				生徒の学びに焦点を当て、見方・考え方を働かせる授業づくりと、AI時代に必要な力を育てる言語活動を学びます。 講義「見方・考え方を働かせる授業づくり」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 鹿嶋 成子 実践発表「実践事例から学ぶ外国語の授業づくり」 演習「見方・考え方を働かせる言語活動を取り入れた単元づくり」					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
		⑦		⑧		⑨													
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- - 中 義 高 特 -		義初		高初		義キ		高キ		■持ち物 使用している教科書、端末 (p. 6 参照)	
										○		○		○		○			
3-1-05-24 つきたい力を明確にした外国語の授業づくり ～全国学力・学習状況調査から考える～										10月15日(木)				全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、育てたい力を明確にした授業設計と、生徒の主体的な学びを促す工夫を学びます。さらに、知識・技能を活用しながら思考力・判断力・表現力を総合的に育成するための指導のポイントを考えます。 講義・演習「生徒の課題から単元を考える」 講師 国立教育政策研究所 学力調査官 佐藤 大樹					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
		⑦		⑧		⑨													
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- - 中 義 - 特 -		義初		高初		義キ		高キ		■持ち物 使用している教科書、端末 (p. 6 参照)	
										○		○		○		○			
3-1-05-25 中高英語の自己表現力を高める指導 ～領域を統合した言語活動を効果的に取り入れる～										11月10日(火)				英語でのコミュニケーション能力を向上させるための言語活動について学びます。実際のコミュニケーションと同様に、複数の領域を統合した言語活動を考え、受講者同士の意見交換を通してブラッシュアップしたものを、自校での実践につなげていきましょう。 講義・演習「領域を統合した言語活動の指導」 講師 武庫川女子大学 教授 田中 真由美					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
		⑦		⑧		⑨													
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- - 中 義 高 特 -		義初		高初		義キ		高キ		■持ち物 使用している教科書、端末 (p. 6 参照)	
										○		○		○		○			
3-1-05-26 主体的・対話的な学びを深める英語の授業 ～英語の見方・考え方を働かせる授業づくり～										11月16日(月)				主体的・対話的な学びを深める授業、見方・考え方を働かせる授業について、一緒に学びましょう。 講義・演習「主体的・対話的な学びを深める授業」 講師 神戸学院大学 教授 平井 愛 実践発表「高校における授業の実践事例」 講義・演習「英語の見方・考え方を働かせる授業づくり」					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
		⑦		⑧		⑨				⑫									
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- - - - 高 特 -		義初		高初		義キ		高キ		■持ち物 使用している教科書、端末 (p. 6 参照)	
												○		○		○			
3-1-06-21 生活科 子供の学びを捉える ～ただ一人を追いつけ、児童理解の力を高める～										10月2日(金)				松本市立明善小学校で生活科の授業を参観します。1人の子供の活動を追い、その子供の学びを捉えます。自分がどのように子供の学びを捉えているか語り合い、学びを支える教師の支援を考えます。 授業参観「1人の子供を追い、学びを捉える」 協議「子供の事実から、子供の学びを考え合う」 講義「生活科における子供理解と教師の支援」 講師 福島大学人間発達文化学類附属学校臨床支援センター 教授 宗形 潤子					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
				⑧						⑭									
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		幼 小 中 義 - 特 -		義初		高初		義キ		高キ		■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
										○		○		○		○			
3-1-07-21 調査官と学ぶ音楽科の授業づくり ～学習指導要領の趣旨と指導と評価～										6月23日(火)				学習指導要領の趣旨を理解するとともに、育成する資質・能力を明確にした授業づくりや、指導と評価の一体化を実現するための評価の場面や方法の具体について、調査官からの講義や演習を通して学びます。 講義「資質・能力を育む音楽科の授業づくり(仮題)」 演習「指導と評価の一体化を実現する題材・授業づくり」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 河合 紳和					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
		⑦		⑧		⑨													
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		- 小 中 義 高 特 -		義初		高初		義キ		高キ		■持ち物 使用している教科書、学習指導要領解説、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料、文書編集が可能な端末	
										○		○		○		○			
3-1-07-22 子供から音楽を引き出す授業づくり ～鑑賞や音楽づくりの授業を中心に～										8月20日(木)				子供たちから音楽を引き出し、見方・考え方を働かせた学びを支えるために、どのように授業の中に体を動かす活動を取り入れればよいか、模擬授業形式で体験的に学びます。また、それらを取り入れた鑑賞や音楽づくり・創作の授業を構想し、今後の実践につなげていくことができますようにします。 講義・演習「子どもから音楽を引き出す授業づくり」 演習「体を動かす活動を取り入れた鑑賞や創作の授業づくり」 講師 国立音楽大学附属小学校 副校長 高倉 弘光					
地域社会と連携・協働		目標実現に向け、柔軟に対応する力		「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導		生徒指導		現代的な課題への対応									
		⑦		⑧		⑨				⑭									
基礎形成		伸長		充実		深化・貢献		幼 小 中 義 高 特 -		義初		高初		義キ		高キ		■持ち物 端末 (p. 6 参照) ■動きやすい服装で参加してください。	
										○		○		○		○			

教科等教育研修					実施日				内容、連絡等						
<b>3-1-07-23</b> <b>音楽教育の現在から未来へ</b> <b>～郷土の音楽やAIの授業への活用～</b>					10月27日(火)				郷土の音楽や諸外国の音楽等について学び、その教材化や授業への取り入れ方を考えます。また、音楽教育の未来として、生成AIについて体験的に学びます。そして、それらを生かして子供たちが興味・関心をもって取り組めるような題材を一緒に考えます。 講義・演習「郷土や諸外国の音楽の扱いについて」 講義・演習「音楽教育の未来～生成AIの活用など～」 演習「郷土や世界の音楽や、生成AIを教材にした授業づくり」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 齊藤 忠彦 ■持ち物 学習指導要領解説、使用している教科書、文書編集や2次元コード読取が可能な端末						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導									生徒指導	現代的な課題への対応	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	⑦									⑧	⑨	⑫
<b>3-1-07-24</b> <b>音楽科における個別最適な学びと協働的な学び</b> <b>～ICTを活用した一体的な充実を目指して～</b>					11月26日(木)				音楽科の授業における、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について考え、実践につなげていく講座です。実践発表から個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について理解を深めICTの活用を体験的に学びながら、授業構想を行います。実践発表「個別最適な学びを大切にした授業づくり(仮題)」演習「ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業構想」						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導									生徒指導	現代的な課題への対応	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	⑦									⑧	⑨	⑫
<b>3-1-08-21</b> <b>調査官と考える小学校図画工作と造形遊び</b> <b>～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～</b>					6月5日(金)				小学校図画工作を基礎から学びます。講義や造形遊びをする活動の実習、教科書題材の授業づくり演習を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて考えます。 講義「小学校図画工作の授業づくりのポイント(仮題)」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 小林 恭代 造形遊びをする活動の実習「子どもの気持ちになって体験」 実践発表「主体的に取り組む造形遊びをする活動(仮題)」 ■持ち物 学習指導要領解説、実践した題材の作品又は作品写真、外で汚れてもよい服装・帽子、端末(p.6参照) ■材料費 500円程度						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導									生徒指導	現代的な課題への対応	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	⑦									⑧	⑨	⑭
<b>3-1-08-22</b> <b>調査官と考える中学校・高校美術</b> <b>～主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり～</b>					9月8日(火)				中学校・高校美術を基礎から学びます。講義や実践発表、授業づくり演習を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて考えます。 講義「中学校・高校美術の授業づくりのポイント(仮題)」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 平田 朝一 実践発表「小中接続を踏まえた題材構想や授業づくりなど(仮題)」 授業づくり演習「実践題材についての授業改善を図る」 ■持ち物 学習指導要領解説、実践した題材の作品又は作品写真、年間指導計画24部、端末(p.6参照)						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導									生徒指導	現代的な課題への対応	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	⑦									⑧	⑨	⑭
<b>3-1-08-23</b> <b>見方や感じ方を深める鑑賞の学習</b> <b>～@軽井沢ニューアートミュージアム～</b>					11月6日(金) 軽井沢ニューアートミュージアム				軽井沢ニューアートミュージアムを会場に行きます。美術館や学芸員と連携した鑑賞の授業づくりについて学びます。 講義「鑑賞の授業づくり」 講師 武蔵野美術大学教職課程研究室 教授 三澤 一実 実践発表「美術作品の見方や感じ方を深める鑑賞の授業(仮題)」 実習「美術館の作品を使った対話による作品鑑賞の体験」 授業づくり演習「見方や感じ方を深める鑑賞の学習を構想する」 ■入館料 2,000円 ■受付 9:40～10:00、講座開始10:10、終了16:30の予定です。 詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導									生徒指導	現代的な課題への対応	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	⑦									⑧	⑨	⑭
<b>3-1-08-24</b> <b>図工・美術でのICT活用</b> <b>～演習を通して有効性を学ぶ～</b>					11月27日(金)				図画工作や美術の表現や鑑賞の学習において、ICT機器を活用するねらいや場面、基礎的な活用方法について学びます。 講義「図工・美術でのICT活用のねらいと場面、活用方法」 実践発表「ICTを活用した授業」 情報交換「ICTを活用した実践事例から学ぶ」 授業づくり演習「体験しながらICT活用場面や方法を考える」 ■持ち物 ICTを活用した実践の様子が分かる資料や写真等(可能な方)、端末(p.6参照)						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導									生徒指導	現代的な課題への対応	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	⑦									⑧	⑨	⑫
<b>3-1-09-21</b> <b>初めての 小学校家庭科</b> <b>～楽しい家庭科の授業づくり～</b>					6月5日(金)				初めて、又は久しぶりに小学校の家庭科を担当する先生を対象とした講座です。住生活の内容を切り口に、学習指導のポイントや学習評価について学びます。 講義・演習「児童がわくわくする住生活の授業づくり」 講師 元帝京大学教授 勝田 映子 ■持ち物 使用している教科書、カッター、ハサミ、ボンド、端末(p.6参照) ■材料費 200円程度						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導									生徒指導	現代的な課題への対応	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	⑦									⑧	⑨	⑭
<b>3-1-09-22</b> <b>初めての 中学校・高校家庭科</b> <b>～楽しい家庭科の授業づくり～</b>					6月18日(木)				初めて、又は久しぶりに中学校、高校の家庭科を担当する先生を対象とした講座です。食生活の調理実習や住生活の実践発表を切り口に授業づくりを考えます。 講義「学習指導要領と家庭科の授業づくり」 実習・演習「調理の基礎研究(蒸し調理)とワークシートづくり」 実践発表「中学校における住生活の授業の実践事例」「高校における住生活の授業の実践事例」 ■持ち物 調理実習着、使用している教科書、学習指導要領解説、年間指導計画25部、端末(p.6参照) ■材料費 250円程度						
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導									生徒指導	現代的な課題への対応	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	⑦									⑧	⑨	⑭

教科等教育研修									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
3-1-09-23 資質・能力を育成する家庭科の授業づくり					8月3日(月)				<p>学習指導要領の趣旨を理解するとともに、資質・能力を育成する家庭科、家庭分野の指導と、題材のまとまりを大切に授業づくりについて学びます。</p> <p>講義「家庭科における資質・能力の育成に向けた授業づくり」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 熊谷 有紀子 演習「題材のまとまりを大切に授業づくり」</p> <p>■持ち物 学習指導要領解説、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料、今年度実践予定の題材に関する資料(年間指導計画等)、端末(p.6参照)</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
			⑧	⑨				⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義 - 特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		
3-1-09-24 家庭科 消費生活・環境の授業づくり ～最新の情報を取り入れた授業づくり～					10月8日(木)				<p>成年年齢18歳引き下げを踏まえて、生徒が公正で持続可能な社会の担い手として責任ある行動がとれるように、最新の情報を取り入れた中学校・高校の授業づくりを考えます。</p> <p>講義「子どもをとりまく消費生活の現状と、自立した消費者の育成に向けた授業のヒント」 講師 長野県消費生活センター 教育アドバイザー 太田 真由美</p> <p>■持ち物 年間指導計画25部、端末(p.6参照)</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
			⑦	⑧				⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- - 中義高特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○	○	○	○	
3-1-10-21 デジタルものづくりで描く授業の未来 ～3DCADと3Dプリンターの活用～					6月8日(月) 信州大学 長野(教育)キャンパス				<p>信州大学教育学部ファブラボ長野を会場に、デジタルデータを用いたものづくりを体験し、教材化と授業づくりについて考えます。</p> <p>講義・実習「デジタルデータを用いたものづくり」 演習「体験を踏まえて考える教材化と授業づくり」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 村松 浩幸</p> <p>■実習費 500円程度 ■受講前の事前準備(Google Classroomの登録等)があります。 ■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
			⑦					⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義 - 特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		
3-1-10-22 調査官と考える技術科の授業づくり ～生徒が自分の思いや願いを具現化する授業～					7月10日(金)				<p>教科調査官から学習指導要領改訂に関わる情報を得るとともに、現行学習指導要領のよりよい実施に向けた授業づくりについて、自身の実践を振り返り、改善案について考えます。</p> <p>講義・演習「技術分野を取り巻く現状と、技術分野の授業づくり」 演習「生徒が自分の思いや願いを具現化する授業」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 渡邊 茂一</p> <p>■持ち物 端末(p.6参照)</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
			⑧	⑨				⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- - 中義 - - -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		
3-1-10-23 子供の願いが連続するプログラミング教育 ～AIを活用した問題解決～					8月7日(金)				<p>小中学校のプログラミング教育について、子供の願いや問いを生み、問題解決を促進する教材とAIの活用方法を学びます。教師と子供のそれぞれの立場で体験的に学ぶことを中心に、そこで得た気付きを基に授業づくりのアイデアを考えます。</p> <p>講義・演習「AI×フィジカルコンピューティングを活用した問題解決能力の育成(仮題)」 講師 株式会社ティーファワークス 代表取締役 高松 基広</p> <p>■持ち物 Wi-Fi接続可能なノートPC(iPadは不可) ■教材はTakoratch-miniを予定しています(変更の可能性あり)。</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
			⑦					⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義 - 特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		
3-1-10-24 STEAM教育、はじめの一步 ～中学校技術科と総合的な学習の時間を窓口～					9月17日(木)				<p>STEAM教育について講義と演習を通して体験的に学びます。また、中学校技術科や、小中学校における総合的な学習の時間からSTEAMを取り入れた課題解決のアプローチについて考えます。</p> <p>講義・演習「STEAM教育の基本と授業づくりのアプローチ」 演習「ニーズ探究とシーズ探究から考える授業づくり」 講師 信州大学学術研究院教育学系 助教 小倉 光明</p> <p>■持ち物 Wi-Fi接続可能なノートPC(iPadは不可) ■教材はTakoratchを予定しています(変更の可能性あり)。</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
			⑦	⑧				⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義 - 特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		
3-1-10-25 ICT端末で育む情報活用能力 ～NHK for Schoolを活用した授業づくり～					10月8日(木)				<p>学習の基盤となる資質・能力の一つである情報活用能力についてNHK for Schoolの番組を活用した実践事例と演習から学びます。教科等に応じた具体的な授業アイデアを考え、他者との対話を通して、実践力を高めます。</p> <p>実践発表・演習「NHK for Schoolの番組活用から(仮題)」 演習「番組を活用した授業づくりのアイデア」</p> <p>■持ち物 端末(p.6参照)</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
			⑦	⑧				⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義 - 特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		
3-1-11-21 子供の「心」を育てる「特別の教科 道徳」 ～調査官と考える道徳科の指導と評価の一体化～					7月10日(金)				<p>子供の「心」を育てるための道徳科の授業で大切にしたいことや子供の学びを見取るときに大切にしたいことについて、講師と一緒に考えます。また、演習を通して、年間指導計画に基づいた道徳科の授業づくりや、授業で扱う資料の本質に迫る資料分析について学びます。</p> <p>講義「道徳科における指導と評価の一体化」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 堀田 竜次 演習「年間指導計画に基づいた道徳科の授業づくり」</p> <p>■持ち物 担当年度の教科書、学習指導要領解説、年間指導計画、端末(p.6参照)</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
			⑦	⑧				⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義 - 特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		

教科等教育研修					実施日				内容、連絡等					
講座番号・講座名														
<b>上越教育大学連携</b> <b>3-8-01-23</b> <b>学習指導要領改定に向けた論点と道徳科授業</b> <b>～道徳科授業や授業づくりの実際を通して～</b>					9月7日(月)				道徳教育では、次期学習指導要領に向けて、「『考え、議論する道徳』の実装」のフェーズへの移行に向けた、質の向上の在り方の検討が求められています。演習を交えた道徳科授業や授業づくりの実際を通して、「主体的・対話的で深い学びの実装」や「多様性の包摂」を実感しましょう。 講師 上廣道徳教育アカデミー					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑥	⑦	⑧	⑨		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ						
<b>3-1-12-01</b> <b>小学校学級づくり 基礎</b> <b>～学級活動の授業づくり～</b>					6月4日(木)				学級活動の内容と育成する資質・能力について理解し、人間関係形成を中心として、個と集団の両面から、小学校における学級づくりの基礎を学びます。 研究協議「小学校学級づくりにおける工夫と課題」 講義「小学校学級づくりの基礎」 演習「小学校学級づくりにつながる学級活動」					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑦	⑧	⑩			
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ	○					
<b>3-1-12-02</b> <b>中学校学級づくり 基礎</b> <b>～学級活動の授業づくり～</b>					6月5日(金)				学級活動の内容と育成する資質・能力について理解し、人間関係形成を中心として、個と集団の両面から、中学校における学級づくりの基礎を学びます。 研究協議「中学校学級づくりにおける工夫と課題」 講義「中学校学級づくりの基礎」 演習「中学校学級づくりにつながる学級活動」					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑦	⑧	⑩			
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ	○					
<b>信州大学連携</b> <b>3-7-03-21</b> <b>更新しつづける教師</b> <b>～多様な一人ひとりの学びを保障する教室づくり～</b>					6月8日(月)				子どもの多様性への対応が求められます。自分が慣れている教え方を見直し、子どもそれぞれが何をどう学んでいるのかを見つめてみませんか？「こうでなければならない」という思い込みをほぐし合い、外国にルーツのある子や特別な配慮を必要とする子にも目を向け、誰一人排除しない教室の在り方を考えてみましょう。 講義・演習「教育観と授業」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 谷内 祐樹 講義・演習「教室の中の異文化理解」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 徳井 厚子					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		③	⑧	⑨	⑬		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ						
<b>信州大学連携</b> <b>3-7-03-22</b> <b>学級づくり・学校づくり</b> <b>～近未来の学校と期待される教師像～</b>					8月6日(木)				チームビルディングの在り方を考える学校組織マネジメントの具体的な手立てや、学級内で特別に支援が必要な子どものために脇役になってしまったその他大勢の「バイ・プレイヤー」症候群を打破する支援型学級経営について学びます。本講座は信州大学教職大学院の授業の一部を集中講義として受講することになります。 講義・演習「チーム学校の在り方を考える学級組織マネジメント」 講義・演習「支援が必要な子どもをつつむ学級集団づくり」 講師 元信州大学大学院特任教授 青木 一					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		③	④	⑥	⑩		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ						
<b>信州大学連携</b> <b>3-7-03-23</b> <b>へき地・小規模校における教育実践</b> <b>～個別最適な学びを実現する授業づくり～</b>					7月27日(月)				少人数学級における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を目指す実践を考え合います。午前は県内先進校の実践報告を含めた講義、午後は授業づくり等の演習を行います。子どもも教師も魅力を感じる小規模校・少人数学級の教育活動を構想します。 講義・演習「少人数の良さを生かす授業づくり」 実践発表「自分に合った学び方で主体的に学ぶ子ども」 県内学校教諭 講義・演習「個の学びと協働の学びの一体的な指導を考える」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 伏木 久始					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑥	⑦	⑧	⑨		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ						
<b>上越教育大学連携</b> <b>3-8-01-21</b> <b>学級経営と生徒指導の基礎・基本</b> <b>～学級経営と生徒指導の一体的充実を目指して～</b>					7月7日(火)				学級経営は、学校生活の基盤としてその重要性は広く認識されています。しかし、多岐にわたる営みの内容やそもそもの定義がはっきりせず、経験則や手探りで日々なんとなく実践しているということはないですか？学級経営にも基礎・基本があります。本研修では、学級経営とは何か、その意味と理論、方法について皆さんとじっくり考えます。また、学級経営の充実を図るため、生徒指導とどのように関連付け、実践すればよいか、その視点と手だてを学びます。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 赤坂 真二 いじめ・生徒指導研究研修センター 講師 生方 直					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		④	⑩	⑪			
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ						
<b>長野大学連携</b> <b>3-7-11-21</b> <b>総合的な学習・探究の時間(オンライン)</b> <b>～地元をフィールドにした地域の学び～</b>					9月11日(金)				地域を舞台にした総合的な学習・探究の時間の教材化のあり方について、フィールドワークを通じた体験から学びます。 講義・演習「地元をフィールドにした地域の学び」 講師 長野大学企業情報学部 非常勤講師 前川 道博 長野大学社会福祉学部 教授 早坂 淳					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		②	⑦	⑫	⑭		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ	○	○	○	○		

教科等教育研修

教科等教育研修									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
3-1-14-22 <b>図書館教育</b> ～学校図書館を利活用した探究的な学びの創造～					11月13日(金) 県立長野図書館				県立長野図書館を会場に、学校図書館を利活用した探究的な学びについて考えます。 講義・演習「探究的な学びにおける調べ学習の意義と進め方」 県立長野図書館の利用案内 講義・演習「学校図書館を利活用した探究的な学びの創造」 講師 放送大学 客員准教授 塩谷 京子
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧						⑭
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		幼	小	中	義	高
					初	初	義	高	
					○	○	○	○	
■集会所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。									
3-1-15-21 <b>幼年教育 子供の遊びと学びを支える</b> ～実践を語り合い、支援を考える～					6月15日(月)				校種を越えて語り合い、自身の実践を省察し、学び合います。実践資料から、幼年期の子供の遊びと学びを支える支援について考え、今後の実践の方向を見たいと思います。 協議「実践を振り返り、自身が大切にしていることを捉える」 演習「実践資料から、幼年期に大切にしたいことを考える」 講師 福井大学大学院 福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学 連合教職開発研究科(連合教職大学院) 教授 岸野 麻衣
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑥	⑧						⑭
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		幼	小	中	義	高
					初	初	義	高	
					○		○		
■持ち物 子供の遊びや学びの様子分かる資料(1部)、端末(p.6参照)									

# 2 学校体育研修

学校体育研修									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
<b>3-1-20-01</b> <b>安全で、楽しい学校登山</b> ～学校登山の意義や留意点、安全対策～					5月29日(金) 大町市 長野県山岳総合センター				遠足登山や学校登山を行う小中学校の先生や、初めて登山部の顧問になった高校の先生が、机上講習及び鷹狩山登山(1,164m)を通して、学校登山の魅力と意義を知るとともに、登山や野外活動における基礎知識や技術、危機管理等について学ぶ講座です。 講義「学校登山の魅力や意義、安全な取り組みへの工夫」 登山「鷹狩山登山」 講師 長野県山岳総合センター 職員
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
②	⑤ ⑥						⑪		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義高特専					
				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
				○		○			
<b>3-1-20-02</b> <b>プロセスに焦点!! グループワークトレーニング</b> ～より良い人間関係の構築に向けて～					6月25日(木) 塩尻市 ユメックスアリーナ				グループワークの体験をふりかえり、そこでの自分の姿に気づくことを通して、人間関係構築のための指導者として必要な視点や支援方法を磨くことができます。また、講座で行われる豊富なワークは、学級経営、授業づくり、また、スポーツ活動の場面で活用することができます。学校の先生、地域のスポーツ指導者の方にお勧めの講座です。 講師 松本大学名誉教授 日本GWT協会上級アドバイザー 犬飼 己紀子
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
③				⑧ ⑨			⑬		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専					
				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
				○	○	○	○		
<b>3-1-20-03</b> <b>スポーツ場面のアンガーマネジメント</b> ～子どもと大人を救うウェルビーイング～					6月30日(火) 総合教育センター				怒りの感情と適切に付き合いコントロールすることは、スポーツ場面でのハラスメント防止のみならず、個人のストレス低減や職場での人間関係改善などにもつながります。怒りの基本的な知識を学び、怒りのタイプを自己分析することにより、怒りを建設的に抑えるスキルを習得します。部活動や地域のスポーツ指導者に限らず、学校の先生や管理職にも役立つ初開催の講座です。 講師 メンタルトレーナー 加藤 史子
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
②	③ ④ ⑤								
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専					
				義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末(p.6参照)、筆記用具	
				○	○	○	○		
<b>3-1-20-04</b> <b>運動の基本動作を身につけるプログラム</b> ～ドイツ生まれのバルシューレ～					7月2日(木) 塩尻市 ユメックスアリーナ				ボールを使った様々な運動を通じて子供の成長を促し、自然と笑顔があふれる活動について学ぶ講座です。幼少期の子供から高校生期まで幅広く指導するスポーツ指導者や、子供の発達段階の特性に応じた運動への動機づけを学びたい指導者にお勧めの講座です。 講義「バルシューレの背景と指導理念」 実習「バルシューレ&ミニバルシューレ実技体験」 講師 株式会社クラスティブスポーツ 執行役員 福士 唯男
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
				⑦ ⑧			⑬		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専					
				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
				○	○	○	○		
<b>3-1-20-05</b> <b>仲間をつなぐ授業づくり</b> ～体育の楽しさを学ぼう～					7月9日(木) 塩尻市 ユメックスアリーナ				子供たち一人一人がお互いを認め合いながら、共に体を動かす楽しさを味わうことのできる運動を紹介します。運動を通して繋がりを深める学級づくりにも活用できます。また、自ら「やってみよう!」と思える授業づくりについて学ぶことができます。体育授業や運動指導に悩みや不安、課題を抱えている方、体育学習に自信を持ちたい方にお勧めの講座です。
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
				⑦ ⑧ ⑨			⑭		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義 - 特 -					
				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
				○		○			
<b>3-1-20-06</b> <b>誰もが楽しめるインクルーシブ体育</b> ～アダプテッド・スポーツから広がる体育授業～					8月5日(水) 塩尻市 ユメックスアリーナ				児童生徒一人ひとりの発達状況や身体条件に合わせて行う「アダプテッド・スポーツ」の考え方や、運動やスポーツの楽しみ方を広げる指導の視点を学ぶことができます。誰もが安心して学ぶことのできる合理的配慮に基づいた体育授業について考えます。 講義「アダプテッド・スポーツと学校教育の接点」 実習「アダプテッド・スポーツの体験と理論及び実践」 講師 東海大学 教授 内田 匡輔
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
				⑦ ⑧ ⑨			⑬		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専					
				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
				○	○	○	○		
<b>3-1-20-07</b> <b>みんなが楽しいボール運動・球技</b> ～教材づくりの考え方や教材体験～					8月19日(水) 塩尻市 ユメックスアリーナ				ボール運動や球技における児童生徒の意欲的な学習活動につながる教材づくりの視点や理論を学び、用具・ルールを工夫した教材の楽しさを体験しながら学ぶ講座です。実際に体験することで、授業づくりや指導のアイデアを広げるワクワク感も味わえます。 講義「ボール運動・球技の教材づくりのポイント」 実習「ボール運動・球技の楽しい教材の体験」 講師 信州大学 特任教授 岩田 靖
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
				⑦ ⑧ ⑨			⑭		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義 - 特 -					
				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
				○		○			

学校体育研修					実施日				内容、連絡等					
講座番号・講座名														
3-1-20-08 子供と創る体育学習 ～子供が主体的に学ぶ体育学習の基本を学ぼう～					9月4日(金)				子供が楽しさを味わいながら主体的に取り組むことのできる授業づくりを学ぶことのできる講座です。また、各領域の大事にしたいポイントについても扱います。講座の後半では、ボール運動、球技を中心にテニピンやソフトスライドサッカーなど様々な教材、運動を体験できます。子供が「やってみたい」と思える授業づくりの大切な要素がたくさん詰まった講座です。小学校、中学校の体育の授業に自信をつけたい方、学び直しをしたい方にお勧めの講座です。					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応							
			⑦	⑧	⑨			⑭						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義 - 特 -				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
									○		○			
3-1-20-09 実践！障がいのある子どもの発達を育む運動遊び ～誰もが楽しめるムーブメント教育・療法～					9月10日(木)				障がいに応じた運動や遊びと指導の工夫について、講義と実習を通して学ぶことができます。子どもたちの「楽しい」「やりたい」を引き出し、運動を通して調和のとれた発達を促すヒントがたくさん詰まった講座です。特に、特別支援学級や特別支援学校の先生方の受講をお勧めします。 講師 上田短期大学 准教授 大塚 美奈子 長野県障がい者福祉センター スポーツ課 課長 太田 澄人					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応							
			⑦	⑧	⑨			⑬						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		幼小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
									○	○	○	○		
3-1-20-10 子どものからだづくり 心づくり ～現代の子どもの育ちについて～					9月11日(金)				先生方が日ごろ感じている「実感」や「事実」から「子どものからだづくり 心づくり」や「育ち」について考える講座です。子どもたちの健やかな成長を促すためのヒント（「光・暗闇・外遊び」や「環境」）について学びます。幼保・小・中・高の保健体育・養護教諭の先生方には、ぜひ受講していただきたい講座です。 講師 日本体育大学 教授 子どものからだ研究所 所長 野井 真吾					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応							
			③	④				⑩						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		幼小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 筆記用具、端末 (p. 6参照)	
									○	○	○	○		
3-1-20-11 ロイロノートを使った授業づくり ～体育・保健体育で活用してみよう～					9月17日(木)				ロイロノートを活用した体育・保健の授業づくりの初歩を学べる講座です。授業実践の紹介や実際の操作体験を行い、学びの可視化や児童生徒の考えの共有場面を想定した授業づくり体験を行います。講義「ロイロノートを活用した体育・保健の授業」 実習「ロイロノートを活用した体育・保健の授業づくり」 講師 株式会社LoiLo 教育ICTコンサルタント 守谷 真一					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応							
			⑦	⑧	⑨			⑫						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	■持ち物等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
									○	○	○	○		
3-1-20-12 だれでもできる マット・跳び箱・鉄棒運動 ～できた喜びを味わえる指導法～					10月1日(木)				器械運動の得意・苦手にかかわらず、器械運動の体験を通して子どもたちのできる喜びを引き出すことや、すべての子どもに寄り添った実践的な指導法や各運動の練習・補助の工夫を学ぶ講座です。講義「器械運動の学習指導の考え方」 実習「マット・跳び箱・鉄棒運動の指導のポイント」 講師 信州大学 教授 渡辺 敏明					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応							
			⑦	⑧	⑨			⑭						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義 - 特 -				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
									○		○			
3-1-20-13 遊びで育つ心と体！ 運動遊び実践講座 ～幼児・児童・生徒の笑顔を引き出そう～					10月9日(金)				幼児・児童期の子どもの遊びの要素を取り入れた楽しい運動と運動遊びのアイデアを学べる講座です。運動好きの子どもを育て、心身の豊かな成長を促す運動遊びのアイデアを、実習からたくさん学ぶことができます。小中高の体づくり運動のヒントを得たい方、体育を専門としない方や運動指導に自信をつけたい方にお勧めの講座です。 講師 長野短期大学 教授 白金 俊二					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応							
			⑦	⑧				⑬						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		幼小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
									○	○	○	○		
3-1-20-14 武道のイメージを変える授業づくり ～楽しい剣道への動機づけ～					10月15日(木)				剣道の「痛い」「厳しい」というイメージを払拭し、生徒が夢中になる授業づくりの工夫を学ぶ講座です。「〇〇を切る」「剣道ゲームを楽しむ」など生徒の意欲を引き出す竹刀の操作法や剣道の「動き」「技」を楽しみながら自然に身につける授業づくりと基礎的な剣道の技能を体験できます。 講義「生徒が夢中になる剣道の授業づくりの考え方」 実習「生徒が夢中になる剣道の授業づくり」 講師 長野県剣道連盟					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応							
			⑤	⑦	⑧	⑨								
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 中義高 - 専				義初	高初	義キ	高キ	■竹刀、つば付きの木刀、防具一式は持参してください。 ■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
									○	○	○	○		
3-1-20-15 振付に頼らなくても大丈夫！リズム系ダンス指導 ～みんなちがって みんないい～					10月23日(金)				ダンス領域の指導に悩んでいませんか？この講座では、特にリズム系ダンスを取り上げ、ダンス指導経験の浅い先生方も自信を持って指導するための指導法を学びます。学習指導要領に示された動きを用い、子どもたちの個性を最大限に活かす方法や授業の作り方を学ぶことができます。ダンス領域の指導に苦手意識のある先生方にぜひ受講していただき、その中からたくさんヒントを見つけて欲しいと思います。 講師 東海大学 准教授 田巻 以津香					
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応							
			⑦	⑧	⑨			⑭						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小中義高特専				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	
									○	○	○	○		

学校体育研修									
講座番号・講座名					実施日		内容、連絡等		
<b>3-1-20-16</b> <b>誰もがわくわくする運動遊び</b> <b>～たのしい縄跳び・遊びの教材づくり～</b>					11月19日(木)		朝日村 農業者トレーニングセンター		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧	⑨					⑭
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		幼 小 中 義 - 特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		
					■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。				
<b>3-1-20-17</b> <b>ICT/AI活用で学ぶ未来の保健体育</b> <b>～人生に必要な不可欠な「保健」と「体育」で学ぶ～</b>					11月26日(木)		総合教育センター		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧	⑨					⑫
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小 中 義 高 特 専				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○	○	○	○	
					■持ち物等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。				
<b>3-1-20-18</b> <b>スポーツによるケガ予防と再発防止のテーピング</b> <b>～基礎的な考え方と方法～</b>					12月4日(金)		塩尻市 ユメックスアリーナ		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		②	③	④	⑤				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小 中 義 高 特 専				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○	○	○	○	
					■スポーツ活動時の足首の捻挫や膝の不調をはじめとしたケガや故障を予防するためのテーピングについて、その基礎的な考え方と方法について学びます。保健体育科の先生、部活動や地域のスポーツ指導者のみならず、児童生徒の健康管理に関わる先生にお勧めです。6月12日の生涯スポーツ研修「スポーツのケガや故障予防とコンディショニング」も受講することで、より学びが深まります。 講師 日本福祉大学 教授 小林 寛和 ■テーピング代 2,700円程度 ■テーピング用はさみ 2,400円程度(希望者のみ、注文とります) ■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。				

## ＜長野県教育委員会保健厚生課との連携講座＞

以下の5講座は、第3次長野県スポーツ推進計画にもとづき、保健厚生課との連携により設定されている研修講座です。他の希望研修と同様の手続きで申し込んでください。

### 1 長野県版運動プログラム

第3次長野県スポーツ推進計画に基づく研修講座

保健厚生課との連携講座 長野県版運動プログラム									
講座番号・講座名					実施日		内容、連絡等		
<b>3-1-20-51</b> <b>小学生のための体づくり運動</b> <b>～子どもの体力や身体能力の向上～</b>					6月5日(金)		安曇野市 三郷文化公園体育館		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧	⑨					⑭
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		幼 小 中 義 - 特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		
					■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。				
<b>3-1-20-52</b> <b>脳の発達と幼児期の運動支援</b> <b>～子どもの教育に必要なこと～</b>					10月6日(火)		千曲市 ことぶきアリーナ千曲		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧	⑨					⑭
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		幼 小 - 義 - 特 -				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○		○		
					■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。				
<b>3-1-20-53</b> <b>スポーツ活動が充実する体幹トレーニング</b> <b>～運動パフォーマンスを向上させる理論と実践～</b>					10月20日(火)		千曲市 ことぶきアリーナ千曲		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		②	④	⑦	⑧				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		- 小 中 義 高 特 専				
					義初	高初	義キ	高キ	
					○	○	○	○	
					■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。				

## 2 長野県小学校・中学校体育実技指導者講習会

令和8年度スポーツ庁主催 体育・保健体育指導力向上研修の伝達講座

保健厚生課との連携講座 長野県小学校・中学校体育実技指導者講習会									
講座番号・講座名					実施日			内容、連絡等	
3-1-20-54 最新の体育・保健体育の授業づくり(小・中) ～体育・保健体育指導力向上研修の伝達～					7月10日(金)			この講座は、小学校・中学校の各領域における授業づくりや評価などのポイントについて、全国研修会での伝達に基づいた最新の指導法や実践を学ぶことのできる講座です。領域は、小学校が【低学年の運動遊び・器械運動系・ボール運動系】、中学校が【陸上競技・水泳・武道(剣道)】を扱い、校種に分かれた研修になります。(本講座は「長野県小中学校体育実技指導者講習会」として受講する参加者もいます。)	
地域社会と連携・協働 目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能					塩尻市 ユメックスアリーナ				
学習指導 生徒指導 現代な課題課題への対応					⑦ ⑧ ⑨ ⑭			講師 スポーツ庁主催 体育・保健体育指導力向上研修受講者	
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼 小 中 義 ---			義初 高初 義キ 高キ	
					<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	

## 3 武道段位認定講習会

令和の日本型教育に係る研修講座

保健厚生課との連携講座 武道段位認定講習会									
講座番号・講座名					実施日			内容、連絡等	
3-1-20-55 剣道段位認定(2日間) ～初段・弐段の取得～					10月15日(木)～10月16日(金)			この講座は、2日間の講座と段位認定を目指す講座です。保健体育科教員や剣道指導者を対象に、技能を磨きながら段位取得(初段・弐段)を目指す講座です。二人組の技や竹刀操作の実践力を高め、段位取得に挑戦できます。	
地域社会と連携・協働 目標実現に向け、柔軟に対応する力 「教育のプロ」としての高度な知識や技能					安曇野市 三郷文化公園体育館				
学習指導 生徒指導 現代な課題課題への対応					③ ⑤ ⑧			講義「礼法・基本動作・基本的動作」 実習「試合・稽古」「段位認定審査」 講師 長野県剣道連盟	
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼 小 中 義 高 特 専			義初 高初 義キ 高キ	
					<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>			■段位審査料 約24,000円 ■剣道着、竹刀、つば付きの木刀、防具一式は持参してください。 ■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。	

# 3 生徒指導研修

## 研修講座の紹介

子供たちの笑顔が見たい。

そんな思いで日々生徒指導に当たっていても、時にはうまくいかずに悩んでしまうケースもありますよね。

専門性に富んだ講師から新たな知見を学び、校種や経験年数を越えて、多くの先生方とともに考えてみませんか。明日からの実践のヒントが見つかるはずです。

生徒指導研修は、生徒指導提要にある生徒指導の構造「**発達支持的生徒指導**」「**課題予防的生徒指導(未然防止・早期発見対応)**」「**困難課題対応的生徒指導**」を踏まえ、あらゆるキャリアステージに対応できるように構成しました。

生徒指導に関する資質能力の向上を目指し、講義や演習を通して、生徒指導上の課題に適切に対応するための実践力を高めましょう。

「**発達支持的生徒指導**」…全ての児童生徒を対象に、全ての教育活動において進める生徒指導

「**課題予防的生徒指導**」…全ての又は一部の児童生徒を対象に、生徒指導上の諸課題の未然防止や早期発見・対応を図る生徒指導

「**困難課題対応的生徒指導**」…特定の児童生徒を対象に、校内外で連携・協働による課題対応を図る生徒指導

教育相談・  
関係づくり



サインを見逃さない教育相談

カウンセリングを学んで教師力アップ!

児童生徒理解と  
課題への対応



生徒指導・  
特別支援教育 共催

今、学校に求められるいじめ問題の理解と対応

子供に寄り添う理解と支援

トラブル回避のための情報モラル教育

学級の気になる児童生徒の理解と支援

不登校の児童生徒の理解と支援

福祉・医療の立場から考える連携・支援

学級経営と  
生徒指導の  
基礎・基本

上越教育大学  
連携講座

学級経営と生徒指導の一体的充実を目指して

生徒指導研修									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
3-5-01-21 教育相談 ～サインを見逃さない教育相談～					7月9日(木)				いつも子供たちのそばにいる教師だからこそ些細な変化や表情の違いに気付くことが大切です。子供たちが日常生活の中で見せる様々なサインに気づき、その背景を読み取り、理解し、適切な対応を考えます。また、カウンセリングの基本理念を学び、児童生徒や保護者に寄り添う支援はどうあったらよいかを事例や演習を通して学びます。 講義・演習「サインを見逃さない教育相談」 講師 信州大学学術研究院教育学系 准教授 茅野 理恵
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応		
	⑤		⑩	⑪					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
					○	○	○	○	
3-5-01-22 関係づくり ～カウンセリングを学んで教師力アップ～					10月6日(火)				子供や保護者との関係づくりの基本はスマイル・フットワーク・声かけ。教師は誰とでも瞬時に心のつながり(リレーション)をつくることが求められます。人間関係づくりや学級・ホームルームづくりにつながり、教師力がアップする実践的かつ具体的な方法を演習を通して学びます。 講義・演習「カウンセリングを学んで教師力アップ！」 講師 明治大学 教授 諸富 祥彦
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応		
	③ ④		⑩	⑪					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
					○	○	○	○	
3-5-02-21 児童生徒理解と課題への対応 I ～今、学校に求められるいじめ問題の理解と対応～					6月8日(月)				いじめ対応は一人で抱えるのではなく、チーム学校で取り組むことが大切です。本研修では、「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議」副座長の新井先生から演習やいじめの重大事態の事例を通して、法に基づきいじめの理解や、危機に気づき支える視点、対応の基本、組織としての生徒指導体制づくりを学びます。さらに、いじめが起りにくい学級・集団づくりについても考えていきます。 講義・演習「今、学校に求められるいじめ問題の理解と対応」 講師 関西外国語大学 教授 新井 肇
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応		
	④ ⑤		⑩	⑪					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
					○	○	○	○	
3-5-02-22 児童生徒理解と課題への対応 II ～子供に寄り添う理解と支援～					6月26日(金)				発達障がいなど支援が必要な児童生徒が自己理解を深め、自己決定する力を育むための個に応じた支援を考えます。また、医療と福祉の現場から見た学校の課題や連携のあり方について学びます。 講義「医療面から見た気になる児童生徒の理解」 講師 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 特任助教 新美 妙美 講義・演習「『自分の歩き方』のために学校で大切にしたいこと」 講師 長野県発達障がい情報・支援センター 副センター長 宮内 かつら
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応		
			⑩	⑪	⑬				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
					○	○	○	○	
3-5-02-23 児童生徒理解と課題への対応 III(オンライン) ～トラブル回避のための情報モラル教育～					9月8日(火)				【オンライン研修】 在勤校等 SNSでの対人トラブルの原因の1つに認知のズレがあります。この研修では、ズレに気付くための具体的な手法を体験し、子供たちが自律してトラブルを回避していくための指導法を学びます。また、他のネットトラブルについても起こる背景を理解し、問題を自分事として捉えるにはどうするかを学びます。 講義・演習「トラブル回避のための情報モラル教育」 講師 静岡大学 准教授 塩田 真吾
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応		
	⑤		⑩	⑪	⑫				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■実施方法等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
					○	○	○	○	
3-5-02-24 児童生徒理解と課題への対応 IV ～学級の気になる児童生徒の理解と支援～					9月17日(木)				愛着や発達特性などについて気になる児童生徒の理解を深め、言葉がけや対応を考えます。また、対人関係の躰きを性格や特性と捉えず、新しく学んで身に付けていく力と考え、学級全体で取り組むソーシャルスキルトレーニングを演習を通して学びます。 講義「学級の気になる児童生徒の理解と支援」 講師 シーズ発達研究所 理事 胡桃 薫 講義「人と関わる力を育むソーシャルスキルトレーニング」 講師 松本市立岡田小学校女鳥羽中学校あさひ分校 教諭 丸山 直子
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応		
			⑩	⑪	⑬				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
					○		○		
3-5-02-25 児童生徒理解と課題への対応 V ～不登校の児童生徒の理解と支援～					10月1日(木)				不登校という言葉は初めて提唱した花輪先生による講義です。子供の発達の課題を踏まえ、不登校の子供や保護者の気持ちへの理解を深め、言葉がけや関わり方など具体的な対応を実際の場面を想定して学びます。 講義「不登校の児童生徒への理解と支援」 講師 FR教育臨床研究所 所長 花輪 敏男
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応		
	④		⑩	⑪	⑬				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
					○	○	○	○	
3-5-02-26 児童生徒理解と課題への対応 VI ～福祉・医療の立場から考える連携・支援～					11月13日(金)				経済的な困窮や虐待等の福祉的な支援には児童相談所や市町村との連携が求められます。また、特性の理解や合理的配慮など適切な指導や支援を計画実施していく上で、医療機関との連携は不可欠です。福祉、医療に関わる専門家から困難を抱えた児童生徒への理解と支援、関係機関との連携のあり方を学びます。 講義「困難を抱える子供への対応」 講師 長野県松本児童相談所家庭支援課 課長 山田 淳一 講義・演習「敏感な子をどのように理解し、支援するか」 講師 城西病院小児科 医師 石田 修一
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な諸課題への対応		
	④ ⑤		⑩	⑪					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
					○	○	○	○	

生徒指導研修									
講座番号・講座名					実施日		内容、連絡等		
上越教育大学連携 3-8-01-21 <b>学級経営と生徒指導の基礎・基本</b> ～学級経営と生徒指導の一体的充実を目指して～					7月7日(火)		学級経営は、学校生活の基盤としてその重要性は広く認識されています。しかし、多岐にわたる営みの内容やそもそもの定義がはっきりせず、経験則や手探りで日々なんとなく実践しているということはないですか？学級経営にも基礎・基本があります。本研修では、学級経営とは何か、その意味と理論、方法について皆さんとじっくり考えます。また、学級経営の充実を図るため、生徒指導とどのように関連付け、実践すればよいか、その視点と手だてを学びます。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 赤坂 真二 いじめ・生徒指導研究研修センター 講師 生方 直		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専	義初	高初	義キ	高キ	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="checkbox"/>
持ち物 端末 (p. 6参照)									

# 4 特別支援教育研修

特別支援教育研修では、特別支援学校や特別支援学級の先生方はもちろん、通常の学級に関わる先生方向けの講座も開設し、インクルーシブな教育の実現を目指しています。

すべての子どもが持てる力を最大限に発揮し、共に学び合う環境づくりに向けて、日々の実践や課題を持ち寄り、専門性に富んだ講師の知見やお互いの実践から学び合いませんか。

## 基礎・基本を学ぶ講座

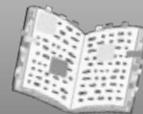


- ・スタート！特別支援学級  
～特別支援学級で大切にしたいこと～
- ・スタート！特別支援学校  
～特別支援学校で大切にしたいこと
- ・特別支援学級での自立活動の指導  
～困りを支え 主体的に取り組む自立活動～

## 特性を理解し、支援につなげる講座

- ・クラスの中の気になる生徒の支援  
～見方を変えれば支援が始まる！（高校）～
- ・通常の学級で学びにくさの壁を壊そう！  
～UDLの視点を生かして（小・中学校）～
- ・読み書きのプロセスの理解と支援  
～苦手さの要因から支援を考える～

生徒指導・特別支援教育 共催



- ・児童生徒理解と課題への対応Ⅱ  
～子供に寄り添う理解と支援～

## 授業づくりを学び合う講座

【特別支援教育の授業づくりⅠ～Ⅵ】

- Ⅰ 授業のUD化で わかった！できた！
- Ⅱ 「自分で学べる」につながる支援
- Ⅲ 構想してみよう！生活単元学習の授業
- Ⅳ 自立と社会参加へ 進路・キャリア教育
- Ⅴ 小学校自閉症・情緒障害学級の国語・算数
- Ⅵ 一緒に楽しもう！障がいのある子の音楽



## 専門性の向上を目指す講座

- ・発達と行動を踏まえた支援  
～事例から学ぼう！応用行動分析～
- ・認知特性のアセスメントと支援  
～WISC-V 検査を支援に生かす～
- ・特別支援教育におけるICT活用  
～その子のための活用法を考えよう～
- ・「自立」を育む特性に応じた支援  
～子供・保護者の困りを捉え 支援を考える～



特別支援教育に関わる経験年数、キャリアステージに応じて身につけたい専門性、目の前の児童生徒への支援を充実させるために高めたい力などから、今学びたい内容を選択してください。

特別支援教育研修								
講座番号・講座名					実施日			
					内容、連絡等			
<b>3-6-01-01</b> <b>スタート！特別支援学級</b> ～特別支援学級で大切にしたいこと～					6月18日(木)			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	
			⑧	⑩				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ
					初めて特別支援学級の担任になった先生や経験の浅い先生を対象とした講座です。 特別支援学級の教育課程、学級運営の方法、授業づくり、児童生徒理解と支援など基本的な事項について学びます。 講義「特別支援学級担任の基礎知識」 グループ協議「教材・教具の紹介」 演習「体験してみよう！15分でできる事例検討会」 講義・演習「自立活動・生活単元学習の授業づくり」 ■持ち物 紹介したい教材・教具1点、端末 (p.6参照)			
<b>3-6-01-02</b> <b>スタート！特別支援学校</b> ～特別支援学校で大切にしたいこと～					8月5日(水)			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	
			④	⑧	⑩			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ
					特別支援学校の経験が少ない先生を対象とした講座です。 特別支援学校の児童生徒理解、教師に求められる専門性、チーム支援、保護者理解、授業づくりなどの基本的な事項について学びます。 講義・演習「特別支援学校で大切にしたいこと」 講師 松本大学 専門員 浦野 憲一郎 実践発表「特別支援学校 私の実践から」 ■持ち物 端末 (p.6参照)			
<b>3-6-01-21</b> <b>特別支援学級での自立活動の指導</b> ～困りを支え 主体的に取り組む自立活動～					9月10日(木)			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	
			⑧	⑩				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ
					特別支援学級の先生を対象とした講座です。 自立活動について理解を深め、実態把握から指導目標及び指導内容を導き出す流れや、自立活動の授業づくりのポイントについて、演習を通して学びます。 講義「自立活動の基礎知識」 グループ協議「教材・教具の紹介」 実践発表「自立活動 私の実践から」 演習「目標設定と指導内容の決めだし」「自立活動の授業づくり」 ■持ち物 個別の指導計画A表及びB表(1人分を4部)、紹介したい教材・教具1点、端末 (p.6参照)			
<b>3-6-02-01</b> <b>クラスの中の気になる生徒の支援</b> ～見方を変えれば支援が始まる！(高校)～					9月1日(火)			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	
				⑬				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ
					高校の先生を対象とした講座です。 学習面、行動面、対人関係面で支援を必要とする生徒の理解と支援について、疑似体験や事例検討、グループ協議を通して学びます。 講義「クラスの中の気になる生徒の支援」 実践発表「私の実践から」(高校での支援事例) グループ協議「各校における支援体制や支援の工夫について」 講義・演習「疑似体験による特性の理解と授業の工夫」 講師 信州大学医学部附属病院精神科 心理師 西川 晃子 ■持ち物 タブレット型端末 (p.6参照、貸し出し可能)			
<b>3-6-02-21</b> <b>通常の学級で学びにくさの壁を壊そう！</b> ～UDLの視点を生かして(小学校・中学校)～					7月6日(月)			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	
				⑬				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ
					小学校及び中学校の通常学級の先生方を対象とした講座です。 学びにくさを抱える児童生徒はどのクラスにもいると考え、児童生徒が自分に合った学び方を選択できるようにし、「個別最適な学び」を進めていく授業改善について、UDLの視点で考えます。 ※UDL: Universal Design for Learning 講義「UDLの考え方と実践例」 演習「バリエーションを学ぼう」 演習「具体的な支援・授業の検討」 講師 早稲田大学 教授 高橋 あつ子 ■持ち物 検討したい授業の教科書等の資料、端末 (p.6参照)			
<b>3-6-02-22</b> <b>読み書きのプロセスの理解と支援(オンライン)</b> ～苦手さの要因から支援を考える～					7月10日(金)			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	
			⑩	⑬				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ
					学びにくさを抱える子供たちの困りへの理解を深め、さらに個別支援のスキルアップを目指す先生方に向けた講座です。 読み書きの苦手さの要因について、読み書きの基礎となる様々な見方やその他の認知能力について学び、子どもの特性に応じた指導・支援方法や合理的配慮について考えます。 講義・演習「読み書きのプロセスの理解と支援」 講師 大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所 特務講師 奥村 智人 ■実施方法等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。			
<b>3-5-02-22</b> <b>児童生徒理解と課題への対応Ⅱ</b> ～子供に寄り添う理解と支援～					6月26日(金)			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	
			⑩	⑪	⑬			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ
					発達障がいなど支援が必要な児童生徒が自己理解を深め、自己決定する力を育むための個に応じた支援を考えます。また、医療と福祉の現場から見た学校の課題や連携のあり方について学びます。 講義「医療面から見た気になる児童生徒の理解」 講師 信州大学医学部子どもこころの発達医学教室 特任助教 新美 妙美 講義・演習「『自分の歩き方』のために学校で大切にしたいこと」 講師 長野県発達障がい情報・支援センター 副センター長 宮内 かつら ■持ち物 端末 (p.6参照)			
<b>3-6-03-21</b> <b>特別支援教育の授業づくりⅠ(オンライン)</b> ～授業のUD化で わかった！できた！～					7月29日(水)			
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	
			⑧	⑬				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ
					授業実践の幅をさらに広げたい先生方に向けた講座です。 普段の授業をどの子にとっても「わかった！」「できた！」につながる授業に改善しちゃいましょう！授業のユニバーサルデザイン化の基本的な理論を学び、授業案作りや、ブレイクアウトルームでの対話を通して、具体的な手立てや授業展開について考えます。 講義・演習「授業のユニバーサルデザイン化の理論・方法」 講師 明星大学 教授 小貫 悟 ■実施方法等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。			

希望研修  
特別支援教育研修

特別支援教育研修										実施日				内容、連絡等							
講座番号・講座名																					
3-6-03-22 特別支援教育の授業づくりⅡ ～「自分で学べる」につながる支援～										8月7日(金)				学びにくさを抱える子供たちの困りを捉え「自分で学ぶ」ための支援について、事例や様々な教材・教具の工夫例から学び、一人一人の「できた」につながる指導改善の方法を考えましょう。アプリの操作体験を行いますので、タブレット型端末をご持参ください。講義「『自分で学べる』につながる支援 ～今、目の前にいる子の『分かった』を目指して～」 演習「子供が自分で学ぶためのICT教材」 講師 島根県松江市立島根小学校 教諭 井上 貴子							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑦	⑧	⑩	⑫	基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義 - 特 -	義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 タブレット型端末 (p. 6参照、貸し出し可能)
3-6-03-23 特別支援教育の授業づくりⅢ ～構想してみよう！生活単元学習の授業～										8月10日(月)				生活単元学習の基本的な考え方や実践発表を通して、授業づくりのポイントと指導・支援の実際について学びます。夏休みに生活単元学習の授業構想のための引き出しを増やしてみませんか。講義「主体的・対話的で深い学びにつながる生活単元学習」 講師 植草学園大学 名誉教授 名古屋 恒彦 実践発表「生活単元学習 私の実践から」 演習・情報交換「生活単元学習の授業づくり」							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑦	⑧			基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義 - 特 -	義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 紹介したい単元の教材・教具や指導案等、端末 (p. 6参照)
3-6-03-24 特別支援教育の授業づくりⅣ ～自立と社会参加へ 進路・キャリア教育～										8月20日(木)				長野県の特別支援教育の進路支援の現状を知り、一人一人の子供が自分の役割を果たしながら「自分らしく」生きていくために、学校段階でどのような力を身に付けていくことが重要か理解を深め、キャリア教育の視点から授業・生活づくりについて考えます。講義「自立と社会参加へ向けて～卒業後の現状と今後の課題～」 講師 長野県発達障がい情報・支援センター 副センター長 宮内 かつら 情報提供「進路支援の現状」 特別支援教育課指導主事 実践発表「本校の実践から」 (高校での支援事例) ■持ち物 端末 (p. 6参照)							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑧	⑩			基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義高 -	義初	高初	義キ	高キ	
3-6-03-25 特別支援教育の授業づくりⅤ ～小学校 自閉症・情緒障害学級の国語・算数～										8月31日(月)				小学校の自閉症・情緒障害学級の先生を対象とした講座です。発達障がいのある子の認知特性に配慮した国語・算数の指導方法、授業づくりについて、講義、演習等を通して一緒に学びましょう。講義「自・情障学級の国語・算数の指導」 グループ協議「教材・教具の紹介」 実践発表「自・情障学級の国語・算数 私の実践から」 演習「自・情障学級の国語・算数の授業づくり」 ■持ち物 紹介したい教材・教具等1点、授業づくりの演習で参照したい教科書等の資料、キーボード付き端末 (p. 6参照、貸し出し可能)							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑦	⑧	⑩		基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小 -	義初	高初	義キ	高キ	
3-6-03-26 特別支援教育の授業づくりⅥ ～一緒に楽しもう！障がいのある子の音楽～										9月4日(金)				障がいのある児童生徒との音楽を生かした授業について、明日から使える引き出しを増やせる講座です。実際に楽器に触れたり、音を奏でたりしてワークショップを楽しみながら、音楽を通して発達を促していく理論や支援方法を学びましょう。講義・演習「障がいのある子の音楽」 講師 長野医療衛生専門学校 音楽療法士 高橋 和奈枝 ■持ち物 飲み物、汗拭き用タオル、端末 (p. 6参照) ■動きやすい服装で参加してください。							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑦	⑧			基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義 - 特 -	義初	高初	義キ	高キ	
3-6-04-21 認知特性のアセスメントと支援 ～WISC-V 検査を支援に生かす～										7月7日(火)				講義や演習を通して、WISC-Vに関する基本的な事項を学びます。WISC検査報告書と照らし合わせながら、日常での現れや支援方法等について、理解を深めましょう。WISC-VまたはIVの検査報告書を持参できる方が対象です。講義・演習「認知特性のアセスメントと支援～WISC-Vへの移行～」 講師 日本臨床発達心理学会茨城支部 支部長 大六 一志 ■持ち物 児童生徒のWISC-V検査の報告書 (WISC-IVの物でも可)の個人名を伏せたもの1部、端末 (p. 6参照)							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑩	⑬			基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義高特専	義初	高初	義キ	高キ	
3-6-04-22 特別支援教育におけるICT活用 ～その子のための活用法を考えよう～										8月27日(木)				特別支援教育でのICT活用の幅をさらに広げたい先生方に向けた講座です。特別支援教育におけるICT活用の意義や要点について、講義や演習を通して学び、一人一人の読みや書きなどの学びにくさに対応した様々なICTの活用方法を考えます。今、目の前にいるその子にとって必要な支援のアイデアを見つけてみませんか。オンライン教材等の体験を行いますので端末をご用意ください。講義・演習「読みや書きに困難を示す子へのICT活用」 講師 金沢星稜大学 教授 新谷 洋介 ■持ち物 タブレット型端末 (p. 6参照、貸し出し可能)							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑦	⑩	⑫		基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義 - 特 -	義初	高初	義キ	高キ	
3-6-04-23 発達と行動を踏まえた支援 ～事例から学ぼう！応用行動分析～										7月2日(木)				「行動問題」を「行動の原因を人の側に求めず、環境との相互作用の中に求める」応用行動分析の視点で捉え、周囲の対応を含め、支援の方法について学びます。子供たちの「できた！」を目指し、私たち自身の子供を見る目と支援を一緒に磨きましょう。講義・演習「行動問題の捉え方と支援～応用行動分析の基礎～」 講師 群馬大学 教授 霜田 浩信 ■持ち物 端末 (p. 6参照)							
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		⑩				基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義 - 特 -	義初	高初	義キ	高キ	

特別支援教育研修									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
<b>3-6-04-24</b> <b>「自立」を育む特性に応じた支援</b> <b>～子供・保護者の困りを捉え 支援を考える～</b>					11月17日(火)				困りの背景にある認知特性を理解し、特性に応じた支援の工夫や、保護者理解に基づく支援、ライフステージを通じた見通しのある支援について、講義・演習を通して学びます。 講義・演習「『自律』を育む特性に応じた支援」 講師 相模女子大学 教授 日戸 由刈
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能							
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専	義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
上越教育大学連携 <b>3-8-01-24</b> <b>インクルーシブな授業を支える校内体制づくり</b> <b>～個別の指導計画と授業をつなぐ理論と実践～</b>					10月2日(金)				教育的支援を要する児童生徒が主体的、協働的に学ぶ力を育成するには、各教科等と自立活動を関連付けたカリキュラム展開が重要です。どのように実態把握をし、個別の指導計画を作成・活用すると子どもの学びが豊かになっていくのか、皆さんで考えていきましょう。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 藤井 和子 上越教育大学教職大学院 准教授 関原 真紀
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能							
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	幼小中義高特専	義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)

# 5 情報教育研修

## 情報セキュリティ・モラル

- 情報資産の管理や取扱いの観点から、基礎的な知識や実践的な対処法を学び、教育活動において配慮すべき著作権について理解を深めます。

### 先生のための知的財産入門

ネット時代の著作権と学校のルール  
6月19日（金）

### 安全な情報セキュリティのための第一歩

先生も生徒も守るセキュリティ実践  
10月6日（火）

## ICTの活用

- ICT環境の整備が進む中、授業でいかに活用するかが課題となっています。授業における効果的なICTの活用について学びます。

### はじめてのCanva A・B

初心者のためのCanvaの使い方講座  
A：7月23日（木） B：8月6日（木）

### はじめてのGoogleアプリ

Google for Education入門  
8月17日（月）

### はじめてのロイロノート

授業を変える第一歩を踏み出そう  
8月4日（火）

### ロイロノートで広がる授業の可能性

アイデアをカタチにする実践講座  
8月7日（金）

## 高校情報

- 高校教科「情報」に関するプログラミングとデータ活用の内容について演習を通して理解を深め、指導法を考えます。

### 高校教科「情報」(プログラミング編)

探究学習につながる授業を考える  
7月7日（火）

### 高校教科「情報」(データ活用編)

探究学習につながる授業を考える  
10月27日（火）

## 教育DX

- 情報の収集・集計・分析に、ICTを有効に活用して校務の効率化を図り、よりよい教育の実現を目指した教育DXを推進します。

### クラウドを活用した校務の効率化

実践事例から校務の情報化を考える  
10月1日（木）

情報教育研修										
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等	
3-3-01-21 先生のための知的財産入門 ～ネット時代の著作権と学校のルール～					6月19日(金)				知的財産権(著作権、特許、実用新案、商標、意匠)について理解を深めながら、学校における著作権教育について学びます。また授業における著作物の利用方法等について扱い、役立てます。 講義「知的財産権の概要」 講義「授業目的公衆送信補償金制度」 実習「著作物を適正に利用した著作権実習」 講義「教育現場における著作権法の運用」 講師 広島大学 教授 隅谷 孝洋 研究協議「学校において著作物の適正な利用とは何か」 ■持ち物 端末 (p. 6参照)	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
基礎形成	③	⑤	⑦	⑧	⑩	⑫	義初	高初		義キ
3-3-01-22 安全な情報セキュリティのための第一歩 ～先生も生徒も守るセキュリティ実践～					10月6日(火)				情報セキュリティポリシーについて理解を深め、リスクマネジメントの意識向上とインシデントへの対処方法について学びます。また、児童生徒の情報社会に参画する態度を育むための情報セキュリティに関する教育について体系的に学びます。 講義「情報セキュリティに関する知識と情報セキュリティ教育」 演習「情報セキュリティと危機管理」 演習「情報セキュリティ教育」 講義「学校現場で守るべき情報セキュリティの基本」 教育政策課主任指導主事 ■持ち物 端末 (p. 6参照)	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
基礎形成	③	⑤	⑦	⑧	⑩	⑫	義初	高初		義キ
3-3-02-21 はじめてのCanva A ～初心者のためのCanvaの使い方講座～					7月23日(木)				Canva for Education の基礎的な使い方から学びたい方向けの講座です。Canva の機能や活用方法について基礎から学び、テンプレートを活用したクラウドベースでの効率的な教材づくりを目指します。 講義・実習「はじめてのCanva」 研究協議「Canvaを活用した授業づくり」 ■持ち物 端末 (p. 6参照) ■講座「はじめてのCanva B」と同様の内容です。	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
基礎形成	⑦	⑧	⑩	⑫	義初	高初	義キ	高キ		
3-3-02-22 はじめてのCanva B ～初心者のためのCanvaの使い方講座～					8月6日(木)				Canva for Education の基礎的な使い方から学びたい方向けの講座です。Canva の機能や活用方法について基礎から学び、テンプレートを活用したクラウドベースでの効率的な教材づくりを目指します。 講義・実習「はじめてのCanva」 研究協議「Canvaを活用した授業づくり」 ■持ち物 端末 (p. 6参照) ■講座「はじめてのCanva A」と同様の内容です。	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
基礎形成	⑦	⑧	⑩	⑫	義初	高初	義キ	高キ		
3-3-02-23 はじめてのロイロノート ～授業を変える第一歩を踏み出そう～					8月4日(火)				「ロイロノートを使ってみたいけど、どうしたらいいかわからない」、「基本的な使い方をはじめから学んでみたい」先生方を対象とした講座です。時間をかけてじっくり学びます。 講義「ロイロノートの基本」 実習「使ってみようロイロノート～ゼロから学ぶロイロノート～」 研究協議「ロイロノートの活用法を考える」 ■持ち物 端末 (p. 6参照)	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
基礎形成	⑦	⑧	⑩	⑫	義初	高初	義キ	高キ		
3-3-02-24 ロイロノートで広がる授業の可能性 ～アイデアをカタチにする実践講座～					8月7日(金)				ロイロノートを活用した授業づくりに挑戦します。 ロイロノートの活用事例について紹介するとともに、受講者同士でアイデアを共有しながら、オリジナルの授業案を考えます。 講義「ロイロノートの活用法」 実習「ロイロノートを活用した授業案を考える」 研究協議「私の考えた授業案」 ■持ち物 授業案の作成で使用する科目の教科書等、 端末 (p. 6参照)	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
基礎形成	⑦	⑧	⑩	⑫	義初	高初	義キ	高キ		
3-3-02-25 はじめてのGoogleアプリ ～Google for Education入門～					8月17日(月)				Google for Educationで利用できるアプリケーションの特徴や活用方法について、初心者の方に向けて基礎から詳しく学びます。主に取り扱うアプリはドライブ、クラスルーム、スライド、フォーム、サイト等とし、日頃の授業や校務への活用を目指します。 講義・実習「はじめてのGoogle for Education」 研究協議「クラウドアプリを活用した授業づくり」 ■持ち物 端末 (p. 6参照)	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
基礎形成	⑦	⑧	⑩	⑫	義初	高初	義キ	高キ		
3-3-03-21 高校教科「情報」プログラミング編 ～探究学習につながる授業を考える～					7月7日(火)				情報Ⅰの「コンピュータとプログラミング」について、演習や授業実践、研究協議を通して、育成する資質・能力について理解を深め、究学習につながる指導法を考えます。 講義「学習指導要領を踏まえた情報教育」 講義・演習「コンピュータとプログラミング」 実践発表・実践研究 研究協議「探究学習につながる授業や教材について考える」 ■持ち物 使用している教材	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
基礎形成	⑦	⑧	⑩	⑫	⑭	義初	高初	義キ		高キ

情報教育研修												
講座番号・講座名					実施日			内容、連絡等				
3-3-03-22 高校教科「情報」データ活用編 ～探究学習につながる授業を考える～					10月27日(火)			情報Ⅰの「情報通信ネットワークとデータの活用」について、演習や授業実践、研究協議を通して、育成する資質・能力について理解を深め、探究学習につながる指導法を考えます。 講義「学習指導要領を踏まえた情報教育」 講義・演習「情報通信ネットワークとデータの活用」 実践発表・実践研究 研究協議「探究学習につながる授業や教材について考える」				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	⑦	⑧	⑫	⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	-----高-----			義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 使用している教材	
								○			○	
3-3-04-21 クラウドを活用した校務の効率化 ～実践事例から校務の情報化を考える～					10月1日(木)			校内のICT活用を推進していくための要点を理解するとともに各校の課題を共有します。また、実践発表による校務DXに関する実践事例を参考にし、校務の情報化による効果的な校務処理と教育活動の質の改善について考えます。 講義「校務の効率化とICT活用について」 実践発表「授業づくりを支援する生成AIの校務利用・教育利用」 研究協議「校務DXの進め方について」				
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応	④		⑫		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	-小中義高特-			義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末(p.6参照)	

# 6 産業教育研修

- 産業教育研修では、現代的な教育課題を踏まえ、産業界の技術革新や学習指導要領の動向、教育活動のニーズに対応した講座を開講しています。
- 産業社会の進展に対応した専門的な知識・技術の習得や、実践的な指導力の向上を目指します。

## 共 通

先生向けの  
アントレプレナーシップ入門  
6月30日(火)

専門科の学びをつなぐ課題研究  
12月3日(木)

産業教育研修発表会  
1月15日(金)

## 農 業

探究的な学びを実現する  
プロジェクト学習  
7月7日(火)

環境に優しい持続可能な農業を  
目指した農業教育  
9月1日(火)

日本農業の未来を拓く  
スマート農業  
10月27日(火)

## 工 業

ロボット製作を通じた  
ものづくり教育  
7月28日(火)

工業教育における地域連携と  
産業界の今  
9月8日(火)

CADで広がる製図の世界  
11月5日(木)

## 商 業

ケースメソッドで変わる  
授業づくり  
6月25日(木)

統計の基礎とデータ活用法  
9月1日(火)

原価計算の効率的指導法  
9月15日(火)

## 福 祉

介護技術(生活支援技術)の  
実践と指導法  
8月17日(月)

福祉分野の授業づくり  
11月10日(火)

産業教育研修											
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等		
3-4-10-21 先生向けのアントレプレナーシップ入門 ～予測不能な時代を生き抜く力～					6月30日(火)				様々な社会変革が起きる中で、社会環境の変化に対応して新たな価値を生み出すアントレプレナーシップ精神について互いに学び、学校教育ですべきことを考えます。あわせて、自ら課題解決を行う能力を育む方法を考えます。 講義「産業界の求める資質・能力と今後の人材育成」 講義演習「アントレプレナーシップ入門」 講師 山形大学 アントレプレナーシップ教育研究センター 特任教授 小野寺 忠司		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
		⑦	⑧					⑭			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献				義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
3-4-10-22 専門科の学びをつなぐ課題研究 ～産業界における探究的な学びに向けて～					12月3日(木)				探究的な取組を進めている専門学校の実践発表を通じて、教科の枠を超えた「課題研究」の可能性を考えます。また、対話を通じて、本校での実践につながるヒントを見つけます。 講義「産業界における科目『課題研究』の可能性」 実践発表「本校での取組(仮題)」 研究協議「教科の枠を超えた『課題研究』の可能性を考える」		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
		⑦	⑧					⑭			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献				義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
3-4-10-23 産業界教育研修発表会 ～研究成果を生かした授業改善を考える～					令和9年 1月15日(金)				産業界教育実践研修及び教材探究の研究成果等から、産業界の現状と課題を理解し、教科横断的な視点や探究の学びへ導く授業改善について研究協議を通じて考えます。 発表「実践研修講座・教材探究講座の研究成果」 研究協議「研究成果を生かした授業改善を考える」		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
		⑦	⑧					⑭			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献				義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
3-4-11-21 探究的な学びを実現するプロジェクト学習 ～ワクワクを引き出すプロジェクト学習～					7月7日(火)				基礎的な農業実験を通して実験の基本操作を習得するとともに、栽培・飼育や環境等のプロジェクト学習の意義やプロセスを学び、農業の各科目に関する基礎的な資質・能力を育成する探究的な授業づくりについて考えます。 講義「農業教育とプロジェクト学習」 実験「プロジェクト学習のプロセスを組み込んだ農業実験基礎」 研究協議「農業教育における探究的な授業づくり」		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
		⑦	⑧					⑭			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献				義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 白衣、端末 (p. 6 参照)
3-4-11-22 環境に優しい持続可能な農業を目指した農業教育 ～環境と調和のとれた食料システムを目指して～					9月1日(火)				農業生産による環境負荷の軽減を目指し、持続可能な農業へ貢献するため、環境に配慮した農業教育のあり方について考えます。 講義「持続可能で創造的な農業教育に向けて」 講義「長野県における持続可能な農業の展開」 講師 長野県農政部農業技術課 技師 雲崎 凌 実践発表「生徒が主体的に取り組む下水汚泥肥料化への挑戦」		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
		⑦	⑧					⑭			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献				義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
3-4-11-23 日本農業の未来を拓くスマート農業 ～スマート農業を取り入れた農業教育を考える～					10月27日(火) 長野市 株式会社Raposha 本社				スマート農業を生産現場で実践している株式会社Raposha (長野市)での研修を通して、日本の農業の現状や課題を体験的に学びます。また、スマート農業の効果や導入のための考え方などを学び、幅広い視点でスマート農業の必要性や意義について理解します。 講義「日本農業の現状とスマート農業の必要性」 見学「株式会社Raposha (長野市)」		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
		⑦	⑧					⑭			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
3-4-12-21 ロボット製作を通じたものづくり教育 ～設計・製作・改善の探究プロセスを考える～					7月28日(火)				ロボット製作を通じたものづくり教育についての理解を深めるとともに、ものづくり人材育成のための取り組みについて考えます。実践事例から工業の見方・考え方を働かせた授業づくりについて日々の実践を振り返りながら考えます。 講義「学習指導要領を踏まえた工業教育」 講義・演習「ロボット製作・競技体験演習」 研究協議「ロボット製作からものづくり教育を考える」		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
		⑦	⑧					⑭			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献				義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 作業着、端末 (p. 6 参照)
3-4-12-22 工業教育における地域連携と産業界の今 ～産業界の最新技術とこれからの工業教育～					9月8日(火) 松本市 マクセルイズミ株式会社 他				産業界の最新技術の見学をととして、産学連携例をつかみ、生きた未来の工業教育のヒントを考えます。また、学校におけるキャリア教育や授業改善に向けた「今」をつかみます。 講義「学校と地域の連携・協働について」 見学「マクセルイズミ株式会社松本工場 (松本市)」 見学「セイコーエプソン株式会社豊科事業所 (安曇野市)」 研究協議「先端技術の指導法について考える」		
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応				
②		⑦	⑧					⑭			
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献				義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。

希望研修  
産業教育研修

産業教育研修									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
<b>3-4-12-23</b> <b>CADで広がる製図の世界</b> <b>～これからの製図教育を考える～</b>					11月5日(木)				3D-CADによる設計・モデリングを中心に学びます。その後加工機を使って、「ものづくり」を体験的に学びます。テクニカルイラストレーション(TI)の取組について学び、今後の工業教育を考察します。 講義「ものづくりにおける設計から生産までの概要」 実習「いろいろな製図」 実践発表「製図教育とTI」 研究協議「授業やものづくり(実習)における指導法について」 <b>■持ち物 端末(p.6参照)</b>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧				⑫		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-- 中 義 高 --				
					義初	高初	義キ	高キ	
						○		○	
<b>3-4-13-21</b> <b>ケースメソッドで変わる授業づくり</b> <b>～未来のビジネスリーダーを育てる授業を目指して～</b>					6月25日(木)				現代の社会では、「自ら課題を発見し、解決に導く力」が求められています。実践発表からケースメソッドを取り入れた授業について学び、生徒の主体性を引き出す授業について考えます。 講義「なぜ、今、ケースメソッドが求められるのか」 実践発表「生成AIを用いたケースの作成方法と実践」 研究協議「ケースを用いた授業を考える」 <b>■持ち物 ケースを考える上で使用する教材等、端末(p.6参照)</b>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧					⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-- --- 高 --				
					義初	高初	義キ	高キ	
						○		○	
<b>3-4-13-22</b> <b>統計の基礎とデータ活用法</b> <b>～オープンデータを活用したデータ分析～</b>					9月1日(火)				情報収集・分析の基本から、統計の基礎、Excelを用いた相関係数の計算の仕方など、データ活用方法を学びます。 講義「ビジネスにおける情報の重要性」 演習「情報の収集・分析の基本と統計の基礎」 演習「オープンデータを活用したデータ分析」 研究協議「統計データを活用した授業(教材)を考える」 <b>■持ち物 端末(p.6参照)</b>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧					⑫	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-- --- 高 --				
					義初	高初	義キ	高キ	
						○		○	
<b>3-4-13-23</b> <b>原価計算の効果的指導法</b> <b>～思考力を高める授業のデザイン～</b>					9月15日(火)				専門学校講師から、生徒のやる気を引き出す原価計算の指導法について基礎から学びます。生徒の「なぜ?」「分かった!」を引き出す会計分野の授業づくりを探ります。 講義「主体的・対話的で深い学びへつなげる会計分野の指導法」 講義・演習「目的から視える原価計算の構造」 講師 東京CPA会計学院 講師 松葉崇史 研究協議「会計分野の授業づくりを考える」 <b>■持ち物 電卓、端末(p.6参照)</b>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧					⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-- --- 高 --				
					義初	高初	義キ	高キ	
						○		○	
<b>3-4-14-21</b> <b>介護技術(生活支援技術)の実践と指導法</b> <b>～実習を通じた指導力向上を目指して～</b>					8月17日(月) 長野県福祉大学校				専門教科「福祉」の科目「生活支援技術」について、実習を中心に基礎的かつ実践的な技術を習得します。あわせて、利用者主体の視点から生活支援を考える資質・能力の育成や、授業改善の在り方について学ぶことで、指導力の向上を図ります。 講義・演習「生活支援技術の基礎と実践」 研究協議「生活支援技術の指導法について考える」 <b>■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。</b>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-- --- 高 --				
					義初	高初	義キ	高キ	
						○		○	
<b>3-4-14-22</b> <b>福祉分野の授業づくり</b> <b>～教科「福祉」の教材研究と指導法～</b>					11月10日(火) 上田千曲高等学校				授業見学や授業研究を通して、教材研究の工夫や効果的な指導法について学び、教科指導力向上を図ります。また、研究協議により主体的・対話的で深い学びを実現するための手立てを探ります。 授業参観・研究「教材研究と指導法」 研究協議「福祉科目における主体的・対話的で深い学び」 <b>■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。</b> <b>■長野県福祉教育研究会連携講座</b>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑦	⑧						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		-- --- 高 --				
					義初	高初	義キ	高キ	
						○		○	

# 7 産業教育実践研修

## 研修講座の紹介

公立高等学校において、産業に関する専門科目を担当する教員を対象とした研修です。20～30 日間にわたり専門分野について系統的に学ぶことで専門性を高め、指導力の一層の向上を図ります。受講者自らが研修計画を立て主体的に研修を行います。

- 1 目的 産業に関わる教科・科目に関する指導内容について、総合教育センターのICT・産業用機器等を使用し、受講者自らが教育課題をもって主体的に取り組み、計画的・系統的に研修を行うことで専門性を高め、当該教科・科目の指導において中心的な役割を担う教員としての資質・能力を養うことを目的とする。さらに、研修成果を広く発表することで、県内の該当教科・科目を担当する教員の授業改善につなげ、産業教育を通して生徒の「主体的・対話的で深い学び」を目指す。
- 2 定員 各教科1名とする。
- 3 申込み 他の希望研修と同様の方法で申込みを行う。
- 4 決定 5月20日(水)までにPlantで公表される。
- 5 研修計画 (1) 下表の日程で第1回を実施し、研修テーマと第2回以降の日程を計画する。  
(2) 6月5日(金)～1月15日(金)までの期間中に20～30日間行う。  
(3) 研修はセンターでの個別自主研修を主とし、研修テーマに関連する情報教育研修・産業教育研修(3講座以内)、先端技術研修(1講座以内)を受講することができる。  
(4) 研修日課は9:40～16:10とし、長期休業中も計画することができる。
- 6 持ち物 第1回実施日に年間行事予定表を持参する。
- 7 報告 10月2日(金)に中間発表を実施する。また、1月15日(金)の研修講座「産業教育研修発表会～研究成果を生かした授業改善を考える～」で成果を発表する。
- 8 講座一覧

講座コード・講座名・選択可能研修種別・定員	第1回	最終回	研修の概要・連絡等
5-1-01-21 産業教育実践研修(農業)	6月5日(金)	1月15日(金)	農業教育に関する研修テーマを設定し、20～30日間の研修計画を立て、主体的・実践的に研修を行い、専門性を高め、指導力の一層の向上を図ります。
高(農)   1名			
5-1-02-21 産業教育実践研修(工業)	6月5日(金)	1月15日(金)	工業教育に関する研修テーマを設定し、20～30日間の研修計画を立て、主体的・実践的に研修を行い、専門性を高め、指導力の一層の向上を図ります。
高(工)   1名			
5-1-03-21 産業教育実践研修(商業)	6月5日(金)	1月15日(金)	商業教育に関する研修テーマを設定し、20～30日間の研修計画を立て、主体的・実践的に研修を行い、専門性を高め、指導力の一層の向上を図ります。
高(商)   1名			
5-1-04-21 産業教育実践研修(家庭)	6月5日(金)	1月15日(金)	家庭教育に関する研修テーマを設定し、20～30日間の研修計画を立て、主体的・実践的に研修を行い、専門性を高め、指導力の一層の向上を図ります。
高(家)   1名			

### 【昨年度の各教科のテーマ】

【農業科】

【工業科】

【商業科】

# 8 産業教育教材探究

## 研修講座の紹介

専門教科の教育課題に基づく教材の開発・活用・指導法に関する研究を行います。研究テーマに沿った探究的、協働的なグループ研究を通して、専門科教員としての専門性や指導力を高めます。

- 1 目的 専門教材の開発・活用・指導法について、グループ研究を行う。
- 2 定員 各教科4名とする。
- 3 申込み 他の希望研修と同様の方法で申込みを行う。(希望研修申込数の制限対象外)
- 4 決定 5月20日(水)までにPlantで公表される。
- 5 研究計画 (1) 下表の日程で第1回を実施し、研究テーマと第2回以降の日程を計画する。  
(2) 6月4日(木)～1月15日(金)までの期間中に7回行う。  
(3) 研修日課は9:40～16:10とし、長期休業中も計画することができる。
- 6 持ち物 第1回実施日に年間行事予定表を持参する。
- 7 報告 1月15日(金)の研修講座「産業教育研修発表会～研究成果を生かした授業改善を考える～」で成果を発表する。
- 8 講座一覧

講座コード・講座名・選択可能研修種別・回数・定員	第1回	最終回	研修の概要・連絡等
5-2-01-21 産業教育教材探究(農業)	6月4日(木)	1月15日(金)	農業教育に関する先端技術に対応した先導的教材や教育課題に基づく教材の開発・活用を通して、指導内容や指導方法について実践的な研究を行い、専門性や指導力を高めます。
高(農)   7回   4名			
5-2-02-21 産業教育教材探究(工業)	6月4日(木)	1月15日(金)	工業教育に関する先端技術に対応した先導的教材や教育課題に基づく教材の開発・活用を通して、指導内容や指導方法について実践的な研究を行い、専門性や指導力を高めます。
高(工)   7回   4名			
5-2-03-21 産業教育教材探究(商業)	6月4日(木)	1月15日(金)	商業教育に関する先端技術に対応した先導的教材や教育課題に基づく教材の開発・活用を通して、指導内容や指導方法について実践的な研究を行い、専門性や指導力を高めます。
高(商)   7回   4名			
5-2-04-21 産業教育教材探究(家庭)	6月4日(木)	1月15日(金)	家庭教育に関する先端技術に対応した先導的教材や教育課題に基づく教材の開発・活用を通して、指導内容や指導方法について実践的な研究を行い、専門性や指導力を高めます。 また、専門学科の他、総合学科や普通科でも活用できる教材の開発と研究を行います。
高(家)   7回   4名			

### 【昨年度の各教科のテーマ】

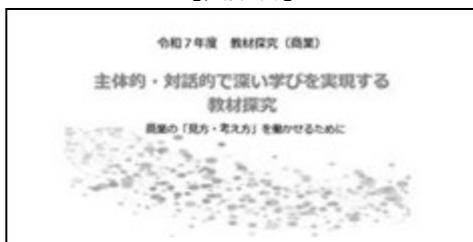
#### 【農業科】



#### 【工業科】



#### 【商業科】



#### 【家庭科】



# 9 先端技術研修

## 研修講座の紹介

公立高等学校において、産業に関する専門科目を担当する教職員を対象とした研修です。企業や高等教育機関などにおいて研修を行い、産業界における近年の著しい技術革新に対応した知識や技術、最新の理論や研究について学びます。研修日数は5～10日間程度です。

- 1 目的 公立高等学校の、専門科目を担当する教職員を企業や高等教育機関、県関係機関に派遣し、近年の著しい技術革新に対応した知識や技術について研修することを目的とする。
- 2 講座設定 (1) 設定講座は、総合教育センター所長があらかじめ設定する講座（「センター設定講座」）及び学校長からの申請に基づいて所長が設定する講座（「学校設定講座」）とする。  
(2) 「センター設定講座」は、研修機関により「センター設定講座A」（企業・高等教育機関等）と「センター設定講座B」（県関係機関）とする。
- 3 申込み 詳細は本研修講座案内とは別に該当校に案内する。
- 4 決定 「センター設定講座」及び「学校設定講座」の受講者は、所長が決定し、「先端技術研修講座受講者決定通知書」を所属長あてに発送する。
- 5 報告 (1) 受講者は、研修終了次第「先端技術研修 研修者報告書」（様式第9号）を作成し、研修終了後一ヶ月以内に学校長を経て提出する。  
(2) 学校長は、各受講者から提出され次第速やかに「先端技術研修派遣報告書」（様式第8号）に、各受講者の「先端技術研修 研修者報告書」（様式第9号）を添え、所長あてに、情報・産業教育部代表メールアドレスを通じて、メールにて提出する。

### 先端技術研修講座の主な研修内容（実績）

#### 【センター設定講座】

農業人材育成、食品衛生実験、旋盤作業技術、土木・建築系施工技術、マイコン制御技術、セラミックス技術・設備電気、美専修学ラインで学ぶクリエイティブ演習、会計理論と実践から学ぶ複式簿記会計、観光ビジネス、企業と学ぶ次世代流通、果樹試験場、環境保全研究所、工業技術総合センター食品技術部門、調理技術と実習指導法

#### 【学校設定講座】

スマート農業に繋がるIoT、GAP実践セミナー、ブドウの栽培技術及びワイン醸造技術の習得、日本庭園の実践技術、観光振興、情報スキルを伸ばす講義と実習、基礎・基本技術と先端技術に関する研修

### 【研修の様子】

【農業人材育成】



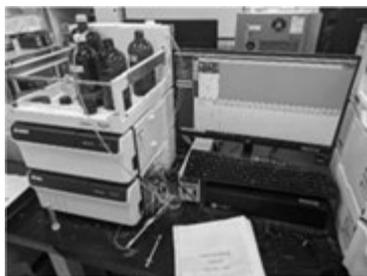
【旋盤作業技術】



【「なぜ？」という気付きから始まる指導法】



【食品技術部門】



【森林資源の活用】



【長野県の水産資源】





### 研修講座の紹介

これらの講座は、信州大学教職支援センターと総合教育センターの連携により設定されている講座です。総合教育センターの希望研修として受講申込みができます。

「信州大学各キャンパスで行われる連携講座」と「夏季集中講義」は、教職を目指す信州大学の学生と共に学びます。

### 1 総合教育センターで行われる連携講座

講座番号	講座名	講師	掲載ページ
3-1-02-24	中学校・高校公民の授業づくり	准教授 田村 徳至	43

### 2 信州大学各キャンパスで行われる連携講座

- 日程は当センターの研修講座と同じです。p. 6 又は講座案内裏表紙をご覧ください。
- 会場は、信州大学の伊那キャンパス又は上田キャンパスとなります。受付場所などは、別途、Plant 及び当センターのホームページを通じて受講決定者にお知らせします。

信州大学教職支援センター連携講座									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
3-7-01-21 授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントA 【中南信会場】					10月5日(月) 信州大学 伊那キャンパス				教師の授業力向上を目指し、学習指導要領が目指す方向を理解するとともに、児童・生徒が能動的に学ぶ姿を醸成するための授業改善のあり方やカリキュラム・マネジメントについて学びます。また、大学で開講されている教職科目「教職実践演習」に参加し、学生とともに授業研究や分析の演習を行います。 午前：教員のみにも講義を実施 午後：教員と学生の協働による教職実践演習 講師 信州大学教職支援センター 特任教授 小山 茂喜
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応		
②	④	⑥	⑨						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
3-7-01-22 授業力向上のためのカリキュラム・マネジメントB 【東北信会場】					10月8日(木) 信州大学 上田キャンパス				教師の授業力向上を目指し、学習指導要領が目指す方向を理解するとともに、児童・生徒が能動的に学ぶ姿を醸成するための授業改善のあり方やカリキュラム・マネジメントについて学びます。また、大学で開講されている教職科目「教職実践演習」に参加し、学生とともに授業研究や分析の演習を行います。 午前：教員のみにも講義を実施 午後：教員と学生の協働による教職実践演習 講師 信州大学教職支援センター 特任教授 小山 茂喜
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な課題への対応		
②	④	⑥	⑨						
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。

### 3 夏季集中講義

- 日程は右表のとおりです。他の研修講座とは異なりますのでご注意ください。
- 会場は、信州大学松本キャンパスとなります。受付場所などは、別途、Plant 及び当センターのホームページを通じて受講決定者にお知らせします。
- 信州大学松本キャンパスの駐車場は利用できません。公共交通機関等をご利用ください。
- 講義当日は、大学職員の指示に従ってください。

日程	時間
受付時間	8:45 ~ 8:55
午前研修	9:00 ~ 12:10
昼食	12:10 ~ 13:00
午後研修	13:00 ~ 16:10

信州大学教職支援センター夏期集中講義									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
3-7-02-01 進路指導・キャリア教育の理論と実践					8月18日(火) ～ 8月19日(水) 信州大学 松本キャンパス				キャリア教育の歴史的・社会的背景、キャリア教育の意義、内容と基本方針などについて概説します。ゲストティーチャーの方から大学生に焦点を当てて就職に関わること、学生のうちにおいてほしいこと、さらに生活設計に関わることなどを学ぶ予定です。適時ペア学習を行うことで、理解を深めていきます。  講師 信州大学 准教授 田村 徳至
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		⑧	⑨	⑩	⑪				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献						■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
3-7-02-02 教育相談の理論と実践〔学校心理学〕					8月25日(火)  信州大学 松本キャンパス				本講義では、教育相談の基礎となる理念や心理教育的援助サービスの理論、教育相談の歴史的変遷などの学校心理学の基礎的知識を学ぶとともに、児童生徒の心理的問題の根幹にあるストレスのメカニズムや非認知能力(自己肯定感、対人関係、やる気)の概念や教育について概説します。  講師 信州大学 助教 横嶋 敬行
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
				⑩	⑪		⑬		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献						■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
3-7-02-03 教育相談の理論と実践〔教育相談〕					8月26日(水)  信州大学 松本キャンパス				本講義では、教育相談の実践における基礎となる児童生徒の問題に関する精神医学的な知見や、来談者中心療法、精神力動論、認知行動論などのカウンセリングの理論と技法について、学校現場での活用・応用を考慮しながら概説します。  講師 信州大学 助教 横嶋 敬行
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
				⑩	⑪		⑬		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献						■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
3-7-02-04 発達心理学概論〔生涯発達〕					9月3日(木)  信州大学 松本キャンパス				本講座では、幼児期、児童期、青年期、成人期の各発達段階の特徴について学ぶとともに、児童期から青年期にかけての発達を考慮した非認知能力(自己肯定感、対人関係、やる気)の教育のポイントについて概説します。  講師 信州大学 助教 横嶋 敬行
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
				⑩	⑪				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献						■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
3-7-02-05 発達心理学概論〔発達心理学〕					9月4日(金)  信州大学 松本キャンパス				本講義では、知能・認知、感情・人格、言語、対人関係・社会性といった、各領域の基本的な発達について学びます。 ※学校教育の関連についても補足的に触れていくが、発達心理学の学術的基礎知識が講義内容の中心となります。  講師 信州大学 助教 横嶋 敬行
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
				⑩	⑪				
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献						■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
3-7-02-06 学校教育と情報					9月8日(火) ～ 9月9日(水) 信州大学 松本キャンパス				GIGAスクール構想の展開に合わせて、教育実践におけるICTの教育における活用を考察するとともに、演習を通じて教材研究や授業展開のあり方を学びます。  講師 信州大学 教授 藤井 善章
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
				⑦	⑧		⑫		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献						■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。
3-7-02-07 教育課程の編成法					9月24日(木) ～ 9月25日(金) 信州大学 松本キャンパス				これまでに提案されてきた教育理論を概観しながら教育課程の意義と役割を理解し、新しくなる学習指導要領の柱について理解します。また、事例を通して特色ある教育課程編成のあり方について考え、さらに、カリキュラム・マネジメントの考え方、評価観点等について学びます。  講師 信州大学 特任教授 小山 茂喜
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
		④	⑥	⑨					
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献						■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。

# 信州大学教職大学院 連携講座

(大学院教育学研究科高度教職実践専攻)



## 研修講座の紹介

信州大学教職大学院と総合教育センターが連携して実施する研修講座です。どの講座でも、子供一人ひとりの学びや育ちの姿に向き合いながら、自身の実践や在り方を振り返り、対話を通して教師としての見方や考え方を更新していくことを大切にしています。信州大学教職大学院（大学院教育学研究科高度教職実践専攻）の院生と共に学び、立場や経験の異なる参加者同士で対話を重ねていきましょう。

### 1 受講申込みについて

他の希望研修と同様の手続で申し込んでください。

### 2 講座の日程・会場などについて

当センターを会場とする講座の他、所外会場として信州大学長野キャンパスや南信州サテライトキャンパス（飯田市立飯田東中学校内）で行う講座があります。当センターを会場とする場合は、他の研修講座と同様の日程となります。所外会場の講座の受付時間などの詳細は、別途、Plant 及び当センターのホームページを通じて受講決定者にお知らせします。

信州大学教職大学院連携講座									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
<b>3-7-03-21</b> <b>更新しつづける教師</b> ～多様な一人ひとりの学びを保障する教室づくり～					6月8日(月) 総合教育センター				子どもの多様性への対応が求められます。自分が慣れている教え方を見直し、子どもそれぞれが何をどう学んでいるのかを見つめてみませんか？「こうでなければならない」という思い込みをほぐし合い、外国にルーツのある子や特別な配慮を必要とする子にも目を向け、誰一人排除しない教室の在り方を考えてみましょう。 講義・演習「教育観と授業」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 谷内 祐樹 講義・演習「教室の中の異文化理解」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 徳井 厚子
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		現代な課題への対応	義初	高初	義キ	高キ	
③		⑧	⑨	⑬			○		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義 - 特 -					
<b>3-7-03-22</b> <b>学級づくり・学校づくり</b> ～近未来の学校と期待される教師像～					8月6日(木) 信州大学 長野(教育)キャンパス				チームビルディングの在り方を考える学校組織マネジメントの具体的な手立てや、学級内で特別に支援が必要な子どものために脇役になってしまったその他大勢の「バイ・プレイヤー」症候群を打破する支援型学級経営について学びます。本講座は信州大学教職大学院の授業の一部を集中講義として受講することになります。 講義・演習「チーム学校の在り方を考える学級組織マネジメント」 講義・演習「支援が必要な子どもをつつむ学級集団づくり」 講師 元信州大学大学院特任教授 青木 一
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		現代な課題への対応	義初	高初	義キ	高キ	
③	④	⑥	⑪				○	○	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義 高 特 -					
<b>3-7-03-23</b> <b>へき地・小規模校における教育実践</b> ～個別最適な学びを実現する授業づくり～					7月27日(月) 南信州サテライト キャンパス (飯田市立飯田東中学校内)				少人数学級における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を目指す実践を考え合います。午前は県内先進校の実践報告を含めた講義、午後は授業づくり等の演習を行います。子どもも教師も魅力を感じる小規模校・少人数学級の教育活動を構想します。 講義・演習「少人数の良さを生かす授業づくり」 実践発表「自分に合った学び方で主体的に学べる子ども」 県内学校教諭 講義・演習「個の学びと協働の学びの一体的な指導を考える」 講師 信州大学学術研究院教育学系 教授 伏木 久始
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能		現代な課題への対応	義初	高初	義キ	高キ	
	⑥	⑦	⑧	⑨			○		
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	- 小中義 - 特 -					

信州大学  
教職大学院  
連携講座

# 長野大学 連携講座

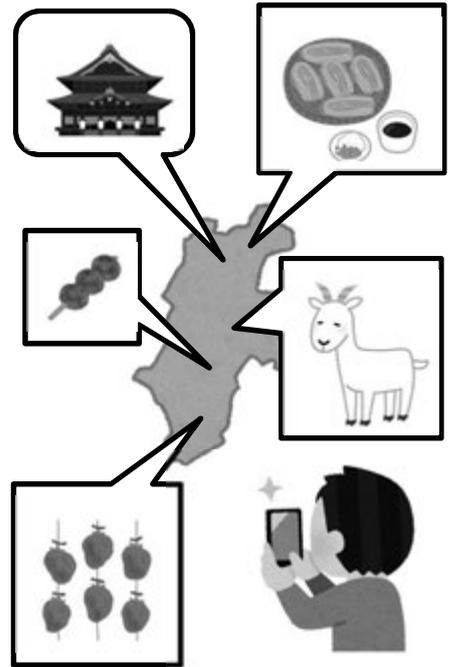


## 研修講座の紹介

総合的な学習の時間や総合的な探究の時間は、学校の地元地域をフィールドにした学びに踏み出せる、またとないチャンスです。本講座では、「初めての地域学習フィールドワーク」にチャレンジします。

自分が児童生徒になったつもりで、まずは教員が地域の発見を楽しむ。地域を知らないから地域学習を計画することができないのではなく、地域を発見する面白さが自らわかるから、児童生徒にも地域の面白さを実感できる学びが計画できるようになります。教員と児童生徒が共に学びを楽しめる授業計画のヒントにお役立てください。

また、オンラインによる県内の先生方の情報共有を通じて、長野県全体の地域の特色や面白さにふれる機会にもなります。多くの地域の先生方の受講をお待ちしています。



## 1 受講申込みの方法及び注意事項

- (1) 希望研修の申込み手順に準じて申し込んでください。
- (2) オンラインの講座です。事前課題があります。



## 2 講座の日程

- (1) 日程は当センターの研修講座と同じです。p. 6 又は講座案内裏表紙をご覧ください。
- (2) オンラインの接続方法などは、別途、Plant 又は当センターのホームページを通じて受講決定者にお知らせします。

長野大学連携講座					実施日				内容、連絡等													
講座番号・講座名					9月11日(金)				地域を舞台にした総合的な学習・探究の時間の教材化のあり方について、フィールドワークを通じた体験から学びます。													
3-7-11-21 総合的な学習・探究の時間(オンライン) ～地元をフィールドにした地域の学び～					【オンライン研修】 在勤校等				講義・演習「地元をフィールドにした地域の学び」 講師 長野大学企業情報学部 非常勤講師 前川 道博 長野大学社会福祉学部 教授 早坂 淳													
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代な諸課題への対応		②	⑦	⑫	⑭	基礎形成	伸長	充実	深化・貢献	－ 小 中 義 高 特 －	義初	高初	義キ	高キ	■事前課題があります。
									○	○	○	○						○	○	○	○	■実施方法等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。

# 上越教育大学教職大学院 連携講座

(教科教育・学級経営実践コース)



イメージキャラクター  
マナーブ・デ・ジョーキー先生

上越教育大学教職大学院・長野県教育委員会の  
連携講座

社会の変化と共に、学校教育も大きな変革の季節を迎えています。

これからの未来を創る子どもたちの学びを支える学校づくりのため、理論と実践を架橋させた講座を通し、共に学びましょう！

上越教育大学教職大学院連携講座									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
3-8-01-21 学級経営と生徒指導の基礎・基本 ～学級経営と生徒指導の一体的充実を目指して～					7月7日(火)				学級経営は、学校生活の基盤としてその重要性は広く認識されています。しかし、多岐にわたる営みの内容やそもそもの定義がはっきりせず、経験則や手探りで日々なんとなく実践しているということはないですか？学級経営にも基礎・基本があります。本研修では、学級経営とは何か、その意味と理論、方法について皆さんとじっくり考えます。また、学級経営の充実を図るため、生徒指導とどのように関連付け、実践すればよいか、その視点と手だてを学びます。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 赤坂 真二 いじめ・生徒指導研究研修センター 講師 生方 直
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	④				⑩	⑪			
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
3-8-01-22 授業観察2.0が創り出す新しい校内研修の形 ～子どもの事実を起点とした対話による組織の構築～					8月5日(水)				「子どもの姿から語る」を、建前からチームの熱量へ。形式的な検討会やどこか予定調和な対話に、物足りなさを感じていませんか？本研修で、授業ビデオから「一人の子の学びの事実」を深掘りします。教師の「評価」や教師への「助言」を越え、子どもの姿を多角的に語り合う体験は、同僚との距離を縮め、チームの連帯感を生み出します。「授業観察 2.0」で、学校の授業研究をワクワクする対話の場へ。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 大島 崇行 上越教育大学教職大学院 教授 桐生 徹
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	③ ④						⑭		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
3-8-01-23 学習指導要領改定に向けた論点と道徳科授業 ～道徳科授業や授業づくりの実際を通して～					9月7日(月)				道徳教育では、次期学習指導要領に向けて、「『考え、議論する道徳』の実装」のフェーズへの移行に向けた、質の向上の在り方の検討が求められています。演習を交えた道徳科授業や授業づくりの実際を通して、「主体的・対話的で深い学びの実装」や「多様性の包摂」を実感しましょう。 講師 上廣道徳教育アカデミー
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
					⑥	⑦	⑧	⑨	
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)
3-8-01-24 インクルーシブな授業を支える校内体制づくり ～個別の指導計画と授業をつなぐ理論と実践～					10月2日(金)				教育的支援を要する児童生徒が主体的、協働的に学ぶ力を育成するには、各教科等と自立活動を関連付けたカリキュラム展開が重要です。どのように実態把握をし、個別の指導計画を作成・活用すると子どもの学びが豊かになっていくのか、皆さんで考えていきましょう。 講師 上越教育大学教職大学院 教授 藤井 和子 上越教育大学教職大学院 准教授 関原 真紀
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
	④				⑥			⑬	
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					義初	高初	義キ	高キ	■持ち物 端末 (p. 6 参照)

※ 表中の上廣道徳教育アカデミー、いじめ・生徒指導研究研修センターは上越教育大学の附属施設です。

# IV 生涯学習推進センター 研修講座

## ■■■ 総合教育センターとの連携講座 ■■■

教員の皆様が、地域の皆様とともに学び、視野を広げ、さらに充実した学校教育活動ができるよう、総合教育センターとの連携講座を 11 講座開設しました。



申込み方法は、以下の表のとおりです。

<p>【公立学校の教員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込先 <b>総合教育センター</b></li> <li>・申込方法 p.4 2希望研修(3)「申込みについて」参照</li> <li>・問合せ先 総合教育センター 企画調査部 (0263 - 53 - 8802)</li> </ul>
<p>【私立学校の教員】</p>	<p>概ね1か月前に生涯学習推進センターのホームページに掲載する講座案内(チラシ)をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込先 <b>生涯学習推進センター</b></li> <li>・申込方法 生涯学習推進センターのホームページから「ながの電子申請サービス」にアクセスして手続きしてください。なお、FAX、E-mail、郵送で申込み場合は、生涯学習推進センターのホームページに掲載されている申込書をご利用ください。</li> <li>・問合せ先 生涯学習推進センター (0263 - 53 - 8822)</li> </ul>

なお、開始時間は9時45分となります。

生涯学習推進センター連携講座 地域づくり推進研修									
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等
<p>3-9-01-01 持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む？ ～まちづくりや探究学習が自分事になる講演会の作り方～</p>					6月4日(木)				<p>NPO法人上田市民エネルギーがまちづくり活動として開催している「上田リバース会議」を体験します。持続可能なまちづくりをゼロカーボンの視点から捉え、単なる調べ学習、調べたことの報告会に終わらず、児童・生徒の考えが地域に変化を起し、持続可能なまちづくりへとつながる授業づくりについて学びます。 講義「持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む？」 ～上田リバース会議～</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
②		⑦						⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	
				幼小中義高特専			○	○	
<p>3-9-01-02 地域学校協働活動を核とした地域づくり ～信州の強みである公民館と学校の連携を生かす！～</p>					7月23日(木)				<p>長野県は公民館数が日本一であり、公民館が地域と学校のつながりをコーディネートするケースが多いです。県内の先進的な地域学校協働活動の実践から、公民館と学校の連携を強みとして地域づくり学校づくりを推進している事例から、学校と公民館の具体的な関わり方を学び、様々な立場の方との熟識により更に理解を深めます。 講義「信州の強みである公民館と学校の連携を生かす！」 事例研究「国CS及び信州型CSにおける公民館の役割」 熟識「公民館と学校の連携」 講師 筑波大学人間系教育学域 准教授 丹間 康仁</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
①	②							⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	
				幼小中義高特一			○		
<p>3-9-01-03 災害から命を守るために ～地域の支え合いと福祉の力で災害に立ち向かう！～</p>					8月7日(金)				<p>災害が頻発するわが国において、防ぎきれない天災もありますが、的確に避難することができれば犠牲者が出なかったり、人がつながることで復興支援が進んだりする場合があります。能登半島の大規模災害へのボランティア支援を通じた具体的なお話をお聞きし、防災・減災・いざという時の人のつながりについて考えます。 講義「災害から命を守るために～地域の支え合いと福祉の力～」 演習「ハザードマップから災害時に役立つ社会資源を考える」 講師 日本防災士会長野県支部 支部長 大久保 隆志</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
②		⑤						⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	
				幼小中義高特専				○	
<p>3-9-01-04 子どもと大人の対話による地域学校協働活動の推進</p>					11月19日(木)				<p>協働活動「いきはたトーク」を学校現場で参観することを通して、直接的な親や教師との関係とは違う「ナナメの関係」による対話の成果を実際の姿から学んだり、この取組を支える「塩尻市共創共学プラットフォーム」と学校の連携を知り、受講者それぞれの立場で自身の地域や学校で生かせることを持ち帰って活用したりして、地域学校協働活動の充実が図れるようにします。 参観「いきはたトーク」(当日までの準備説明を含む) 講義「いきはたトーク」の狙いと実践成果について 講師 NPO法人MEGURU 代表理事 横山 暁一</p>
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応		
②		⑥						⑭	
基礎形成	伸長	充実	深化・貢献		義初	高初	義キ	高キ	
				幼小中義高特専					■持ち物 上履き

生涯学習推進センター連携講座 社会教育推進者育成研修										
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等	
3-9-01-05 <b>自治の土壌を耕す社会教育の担い手論</b> ～公民館・地域づくりのコミュニティナビゲーター機能とは～					6月23日(火)				各地で自治体の行政基盤に社会教育を据えることや、行政の領域融合、公民館等の多機能化といった新たな動きがみられます。本講座では中央教育審議会等の議論も踏まえ、総合的な地域づくりを支え自治の土壌を耕す「新たな社会教育の担い手」のあり方や、その役割について現場の職員を交え深く考察していきます。 講義「自治の土壌を耕す社会教育の担い手とは」 事例研究(事例発表・全体討議) 「公民館や地域づくりの現場におけるしごとと職員の専門性」 講師 大正大学地域創生学部教授・東京大学名誉教授 牧野 篤	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑩
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 なし										
3-9-01-06 <b>若者と社会教育</b> ～信州の事例から見える課題と展望～					12月3日(木)				地域、学校への若者参画が求められています。県内で実践されている若者参画支援の事例、直面する課題を共有します。そして、地域と若者をつなぐ新たな可能性について、学校、公民館をはじめとした、若者と関わりの深い立場の方たちとともに考えます。 講義「若者と社会教育」 講師 文教大学人間科学部 准教授 青山 鉄兵 事例発表(若者の居場所づくり・若者参画サポート) パネルディスカッション「若者の地域参画をどう育む？」 パネリスト 松本市こども若者部若者参画課・CHUKOらんどチノチノ	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑩
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					一	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 なし										

生涯学習推進センター連携講座 生涯スポーツ研修										
講座番号・講座名					実施日				内容、連絡等	
3-9-02-01 <b>スポーツ現場における緊急対応</b> ～指導者が身につけておきたい応急手当と心肺蘇生法～					6月9日(火)				スポーツ現場では不測の事態に備えた危機管理が重要です。目の前で選手が突然倒れた時、すぐに適切な対応ができるでしょうか。本講座では、そうした緊急場面を想定し、応急手当や救急救命法の知識と技術を学び、立場を問わず「いざ」という時に行動できる力を養います。 講義「指導者が身につけておきたい応急手当」 実習「AEDを含む心肺蘇生法(普通救命講習)」 講師 理学療法士「カラダのメンテ」 山本 葵 松本広域消防局 広丘消防署 職員	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		⑩
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 運動着、タオル、飲み物										
3-9-02-02 <b>スポーツのケガや故障予防とコンディショニング</b> ～パフォーマンス向上のために～					6月12日(金)				スポーツ活動のパフォーマンスの低下につながるスポーツ外傷発生に関係する姿勢、柔軟性、筋力、フォームなどの確認や対応策を学ぶことで、現場でのスポーツ選手への対応力が豊かになります。保健体育科の先生、部活動や地域のスポーツ指導者のみならず、児童生徒の健康管理に関わる先生にお勧めです。12月4日の学校体育研修「スポーツによるケガ予防と再発防止のテーピング」も受講することで、さらに学びが深まります。 講師 日本福祉大学 教授 小林 寛和	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					一	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。										
3-9-02-03 <b>スポーツへ応用できる古武術の身体操法</b> ～様々なスポーツへつながる指導法～					8月27日(木)				古武術をもとにした身体操法から、走る、跳ぶ、投げるなどのパフォーマンス向上のための効果的な動作、理論を学ぶことができます。肩甲骨、仙骨、股関節などの様々な身体の動きについて、体験を通して知ることができ、その効果を実感することができます。 講義・実習「古武術の身体操法についての基礎理解」 「スポーツ活動等での応用」 講師 びわこ成蹊スポーツ大学 教授 高橋 佳三	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■集合場所等、詳細は別途Plant及びホームページにて連絡します。										
3-9-02-04 <b>メンタルトレーニングの理論と実践</b> ～選手の力を引き出そう～					11月13日(金)				選手や児童生徒が最大限に力を発揮できるよう、メンタルトレーニングの方法を学びます。講義や数多くのワークを通じて、自身の心の状態を考えてみることで、身体に変化が現れ、行動も変わることを実感できます。この研修で得られるスキルは、授業、進路指導、家庭、学級、職場などの場面で活用できますので、部活動や地域のスポーツ指導者に限らず、広く先生方に受講していただきたい講座です。 講師 メンタルトレーナー 加藤 史子	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					幼	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 Google Formsへの入力可能な端末、筆記用具										
3-9-02-05 <b>現場で使える10代アスリートのスポーツ栄養</b> ～ベストコンディションの実現～					11月20日(金)				10代アスリートに必要な基礎生活や基礎コンディショニングについて理解を深め、正しい食事の基礎知識やリカバリー、試合前後の食事の摂り方などを学びます。現場へ戻って使える、選手が自らの意志で取り組めるコンディショニングの方法を学びましょう。部活動や地域のスポーツ指導者のみならず、児童生徒の健康管理に関わる先生にお勧めの講座です。 講師 Eコンディショニング 管理栄養士 村越 智行	
地域社会と連携・協働	目標実現に向け、柔軟に対応する力	「教育のプロ」としての高度な知識や技能			学習指導	生徒指導	現代的な課題への対応			
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
基礎形成 伸長 充実 深化・貢献					一	小	中	義	高	特
					義初	高初	義キ	高キ	○	
■持ち物 Google Formsへの入力可能な端末、筆記用具										

■■■ 総合教育センターとの連携講座以外の生涯学習推進センターの講座 ■■■

p. 76～77 の連携講座以外の講座にも参加できます。学校や地域・保護者と連携した幅広い研修ができますので、より多くの教職員の皆様の参加をお待ちしています。各講座の詳しい内容は、概ね1ヶ月前にホームページに掲載する講座案内（チラシ）をご覧ください。

- 申込み・問合せ先 生涯学習推進センター 電話 0263 - 53 - 8822 FAX 0263 - 53 - 8825
- 申込方法 生涯学習推進センターのホームページから「ながの電子申請サービス」にアクセスして手続きしてください。なお、FAX、E-mail、郵送で申込む場合は、生涯学習推進センターのホームページに掲載されている申込書をご利用ください。
- 会場 会場の記載のない講座は、生涯学習推進センター（総合教育センター内）
- 開催時間 講座案内（チラシ）をご覧ください。
- 持ち物 特に記載のない場合はありません。

HPは「チラシ」



生涯学習推進センター講座		実施日	研修の概要・連絡等
地域づくり推進研修 センター講座	<b>持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む？</b> ～まちづくりや探究学習が自分事になる 講演会の作り方～	6月4日(木) 後日アーカイブ 配信あり	NPO法人上田市民エネルギーがまちづくり活動として開催している「上田リバース会議」を体験します。持続可能なまちづくりをゼロカーボンの視点から捉え、講演会を単なる情報提供で終わらせず地域に変化を起こす企画・運営のポイントを学びます。参加者は、講演会後に地域で実践できる具体的な手法を習得します。 講義「持続可能なまちづくりでゼロカーボンが進む？」 ～上田リバース会議～ 演習「ワーク～できないメソッド～」 講師 NPO法人上田市民エネルギー 理事長 藤川 まゆみ
	募集定員 30名		
	<b>地域学校協働活動を核とした地域づくり</b> ～信州の強みである 公民館と学校の連携を生かす！～	7月23日(木) ハイブリッド研修	長野県は公民館数が日本一であり、公民館が地域と学校のつながりをコーディネートするケースが多いです。県内の先進的な地域学校協働活動の実践から、公民館と学校の連携を強みとして地域づくり学校づくりを推進している事例から、学校と公民館の具体的な関わり方を学び、様々な立場の方との熟議により更に理解を深めます。 講義「信州の強みである公民館と学校の連携を生かす！」 事例研究①「コミュニティ・スクールにおける公民館の役割」 ②「公民館がコーディネーターとなる強みを生かす」 熟議「公民館と学校の連携」 講師 筑波大学人間系教育学域 准教授 丹間 康仁
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
	<b>障がいの有無に関わらず共に学び、楽しむ日常を</b> ～社会的障壁体験を通して 『わかる』から『かわる』～	8月4日(火)	この講座では社会的障壁体験を通して、障がいにより制限を受けたときの当事者の思い、どんな手助けを求めたくなるかなどを理解して、必要な支援のもとに同じ社会に生きる仲間として関わり合う楽しさを学びます。そして、公民館や学校等の活動における具体的な支援のヒントを持ち帰り、実践につなげます。 講義・演習「わかる ことは かわる こと～社会的障壁体験～」 聴覚・視覚障壁体験・肢体不自由・発達障がい体験等 講師 長野メディアエーション研究所 代表 依田 哲郎
	募集定員 20名		
<b>災害から命を守るために</b> ～地域の支え合いと福祉の力で災害に立ち向かう～	8月7日(金)	災害が頻発するわが国において、防ぎきれない天災もありますが、的確に避難することができれば犠牲者が出なかったり、人がつながることで復興支援が進んだりする場合があります。能登半島の大規模災害へのボランティア支援を通じた具体的なお話をお聞きし、防災・減災・いざという時の人のつながりについて考えます。 講義「災害から命を守るために～地域の支え合いと福祉の力～」 演習「ハザードマップから災害時に役立つ社会資源を考える」 講師 日本防災士会長野県支部 支部長 大久保 隆志	
募集定員 30名			
<b>地域コミュニティをどうつくっていくか</b> ～まちづくり・都市計画と 社会教育・公民館を重ねて考えるために～	8月28日(金) ハイブリッド研修	過去2年に開催した講座「地域社会のつくり方」、「地域社会を変えるには」を踏まえ、住民主体の地域づくりをさらに深掘りしていきます。3年目となる今年は、新たに都市計画・まちづくりの視点を導入し、計画的なハード整備を含めて暮らしや自治について捉え直し、ソフトとハードが融合した地域づくりを考えます。 講義「都市計画と住民主体のまちづくり」 講師 東京理科大学経営学部 講師 似内 遼一 対談 似内 遼一 × 荻野 亮吾 (日本女子大学准教授)	
募集定員 会場30名 オンライン30名			

生涯学習  
推進センター

生涯学習推進センター講座			
講座名	実施日	研修の概要・連絡等	
センター研修	地域福祉と社会教育・公民館 ～信州での具体的な連携事例をもとに考える～	9月16日(水) ハイブリッド研修	人口減少や高齢化が進むなか、地域コミュニティの持続可能性が問われています。本講座では社会教育をベースに「地域共生社会」の構築を目指すため、福祉現場の現状と課題を整理し、公民館と社会福祉協議会が連携した先進事例を学び、住民自治と暮らしを支えるこれからの地域づくりのあり方を共に考えていきます。 講義「地域共生社会の現状と課題」 講師 松本大学総合経営学部 教授 尻無浜 博幸 事例研究「地域福祉と社会教育・公民館との連携について」 事例発表① 長野県社会福祉協議会 高橋 つぐみ 事例発表② 塩尻市地域共生推進課 安藤 寿秀
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
センター研修	自閉スペクトラム症のある方の ライフステージにわたる支援を考える ～さまざまな自立の形をイメージして～	9月28日(月) (午後半日開催) 後日アーカイブ 配信あり	発達障がいのある人に対し、成人期までの様々なライフステージでどのような育てかたや支援をしていくことが望ましいのか、自閉スペクトラム症のある人に焦点をあててお話しいただきます。そして、一人一人の個性を大切にすることについて考えます。 講義「自閉スペクトラム症のある方の、ライフステージにわたる支援を考える～さまざまな自立の形をイメージして～」 講師 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 特任助教 新美 妙美
	募集定員 50名		
地域づくり推進研修	まちづくり講座 飯綱町の未来をつなぐ場所 ～廃校活用と地域交流～	10月16日(金) いづなコネクト WEST・EAST	全国各地で廃校が増えるなか、飯綱町では、廃校した小学校を活用し、「いづなコネクトWEST・EAST」をつくり、人や未来をつないでいます。いづなコネクトの取り組みを通して、廃校がどのように地域の交流拠点として活用されているのか、また、そこから生まれる人のつながりや新しい活動について楽しく学びます。 講義「いづなコネクトに込めた住民と町(公民館)の思い」 講師 飯綱町役場企画課地域振興係 係長 原田 大 いづなコネクトWEST・EASTの見学 ワークショップ「わたしたちの地域でできること～いづなコネクトをヒントに～」
	募集定員 20名		
県内各地の移動講座	子どもと大人の対話による 地域学校協働活動の推進	11月19日(木) 塩尻市立丘中学校 (午後半日開催)	協働活動「いきはたトーク」を学校現場で参観することを通して、直接的な親や教師との関係とは違う「ナナメの関係」による対話の成果を実際の姿から学んだり、この取組を支える「塩尻市共創共学プラットフォーム」と学校の連携を知り、受講者それぞれの立場で自身の地域や学校で生かせることを持ち帰って活用したりして、地域学校協働活動の充実が図れるようにします。 参観「いきはたトーク」(当日までの準備説明を含む) 講義「いきはたトーク」の狙いと実践成果について 講師 NPO法人MEGURU 代表理事 横山 暁一 塩尻市立丘中学校「いきはたトーク」前年度担当者
	募集定員 30名		
県内各地の移動講座	男女共同参画による地域づくり ～多様性に満ちた社会の可能性と未来～	2月開催予定 後日アーカイブ 配信あり	地域において、地区役員のなり手不足が課題となっています。これは氷山の一角であり、地区の役員をはじめ、地域づくりをリードする立場に、昔から変わらぬ顔ぶれが並んでいることに驚きます。新しい発想、母親視点の工夫、若者視点による定住したくなるまち等、多様な視点、多様な価値観でつくる地域に未来はあると思います。多様な人の活躍により推進する地域づくりについて、考えましょう。 講義「多様性に満ちた社会の可能性と未来(仮題)」 講師 長野県男女共同参画センター職員 県下各地で活躍する様々なお立場の方による対談
	募集定員 30名		
県内各地の移動講座	「地域づくり」及び「子育て支援」に関する講座 各地域で地域づくりを推進する生涯学習実践者を対象とした講座や、子どもや若者、家庭に対して地域ができる子育て支援について考える講座です。	各会場の内容・参加対象についての詳細を、開催1カ月前までにホームページに掲載します。	安曇野市(安曇野市公民館大会) 5月24日(日) 講師 長野大学 教授 早坂 淳 木祖村 5月28日(木) 講師 松本大学 教授 白戸 洋 小諸市 (小諸市人権同和教育研究講座) 6月13日(土) 講師 長野大学 教授 早坂 淳 松本市 8月27日(木) 講師 日本女子大学 准教授 荻野亮吾 南信教育事務所(地域連携協働フォーラム) 8月27日(木) 講師 文科省CSマイスター 猿渡 智衛 佐久徳町(人権同和教育講座) 10月25日(日) 講師 長野大学 教授 早坂 淳
	募集定員 会場による		
センター研修	自治の土壌を耕す社会教育の担い手論 ～公民館・地域づくりの コミュニティナビゲーター機能とは～	6月23日(火) ハイブリッド研修	各地で自治体の行政基盤に社会教育を据えることや、行政の領域融合、公民館等の多機能化といった新たな動きがみられます。本講座では中央教育審議会等の議論も踏まえ、総合的な地域づくりを支え自治の土壌を耕す「新たな社会教育の担い手」のあり方や、その役割について現場の職員を交え深く考察していきます。 講義「自治の土壌を耕す社会教育の担い手とは」 事例研究(事例発表・全体討議) 「公民館や地域づくりの現場におけるしごとと職員の専門性」 講師 大正大学地域創生学部教授・東京大学名誉教授 牧野 篤
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
センター研修	公民館的な手法で進める まちづくり・地域づくり2 ～学校との連携と地域人教育～	10月26日(月) ハイブリッド研修	飯田市と松本大学、飯田OIDE長姫高校が2012年から取り組む「地域人教育」は、高校生が地域への理解を深め、将来の生き方や地域貢献を考えるもので、これには市の公民館が深く関わっているのが特徴です。本講座は、10年以上の取り組みから見えてきた教育的意義や成果、高校生と地域との関わり、公民館の役割等について学んでいきます。 講義「高大連携、地域人教育とは何か」 講師 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授 白戸 洋 事例研究「飯田市における地域人教育」
	募集定員 会場30名 オンライン30名		

生涯学習推進センター講座			
講座名	実施日	研修の概要・連絡等	
センター研修	AI時代の人や地域のあり方 ～みんなで考えよう長野県の可能性～	11月5日(木) ハイブリッド研修	A I 技術が社会のあらゆる側面に浸透し、人間や地域社会が、A I を「パートナー」として活用しています。この講座では、様々な事例を通してA I との共存を模索します。その上で、A I を通じて効率化されていく現代だからこそ、人や地域はどのように変わっていったのか、長野県の地域資源やコミュニティの現状を踏まえて考えます。 講義「今さら聞けないA I ～みんなで考えようA I の今～」 演習「A I 時代の人や地域のあり方 ～みんなで考えよう長野県の可能性～」 講師 長野大学社会福祉学部 教授 早坂 淳
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
センター研修	若者と社会教育 ～信州の事例から見える課題と展望～	12月3日(木) ハイブリッド研修	地域、学校への若者参画が求められています。県内で実践されている若者参画支援の事例、直面する課題を共有します。そして、地域と若者をつなぐ新たな可能性について、学校、公民館をはじめとした、若者と関わりの深い立場の方たちとともに考えます。 講義「若者と社会教育」 講師 文教大学人間科学部 准教授 青山 鉄兵 事例発表(若者の居場所づくり・若者参画サポート) パネルディスカッション「若者の地域参画をどう育む? 信州の事例から見える課題と展望」 パネリスト 松本市こども若者部若者参画課・CHUKOらんどチノチノ
	募集定員 会場30名 オンライン30名		
公民館を現地で学ぶ講座	公民館と学校が連携した 子ども向け公民館講座の可能性	7月29日(水) 東御市立田中小学校	令和4年度公民館活動アワードを受賞された東御市中央公民館の活動から現地で学びます。子ども講座、親子講座の企画運営を、「学校と連携」「子ども目線・親目線」を視点に行くと、どんな工夫ができるのか、「小学校出前講座」や「夜間親子講座」の実践紹介、講座体験から考え合います。 講義・意見交換「地域における子どもや親子の学びを支える公民館講座のあり方」 講師 東御市公民館長 原澤 利明 受講者と一緒に講座体験(理科の講座を予定)
	募集定員 30名		
公民館を現地で学ぶ講座	多世代がつながり利用する公民館 ～つながる学びと憩いの場～	12月7日(月) 松川村公民館	松川村公民館は、世代を超えて学び合い交流する場を提供します。公民館講座では、郷土文化や生活の知恵、デジタルスキルなどを学びながら地域の絆を深めます。さらに、子ども食堂や高齢者カフェを通じて、食を通じた温かな交流の場をつくり出します。「学び」「食」「つながり」をキーワードに、誰もが安心して集える居場所を目指します。 講義「松川村の公民館活動について」 講師 松川村公民館長 山田 渡 周辺施設見学 高齢者カフェ見学
	募集定員 20名		
県内各地の移動講座	公民館支援講座(移動講座) 公民館の職員として知っておきたい基礎的な知識や、地域づくりを推進する中心的な役割を担う公民館職員の意識の高揚を図る講座です。	各会場の内容・参加対象についての詳細を、開催1カ月前までにホームページに掲載します。	安曇野市(豊科地域 地区公民館役員研修会) 4月11日(土) 講師 当センター公民館支援専門員 下伊那郡町村公民館運営協議会 4月17日(金) 講師 大正大学地域創生学部教授 牧野 篤 塩尻市(塩尻市公民館研究集会) 5月31日(日) 講師 当センター公民館支援専門員 安曇野市(堀金公民館関係者研修会) 6月14日(日) 講師 当センター公民館支援専門員 東信公民館運営協議会 11月13日(金) 講師 当センター公民館支援専門員
	募集定員 会場による		
施設開放講座	天体観測と星空こども食堂 ～みんなで楽しく星を学ぼう～	10月10日(土)	普段体験することのできない50cm大望遠鏡での天体観測や、塩尻星の会のみなさんからの星空解説、こども食堂のみなさんの絵本の読み聞かせや紙芝居など、楽しみながら星空について学習する機会とします。天候が良い場合は、秋の星座や土星のリング(環)等を観測し、天候が悪い場合は、屋内で観測施設の見学や天体クイズなど、星に関する知識を深めます。 子ども食堂開店(子ども食堂の活動紹介・紙芝居・軽食提供等) この日の星空の解説 天体観測(天体観測室・センター屋上) 講師 塩尻星の会の皆様・総合教育センター専門主事
	募集定員 60名		

# その先生ひとりの学びを 同僚みんなの学びへ



## 教職員研修会サポート



センター受講者がその講座で学んだことを手がかりに、校内研修を通して、職場の先生方同士、お互いの「授業観」や「子供観」を交流させる機会をつくりませんか。センター専門主事がそんな関係づくり、組織づくりにつながる校内研修運営をお手伝いします。



センターでの  
学びをもとに  
教育センター

「対話」をもとにしたセンター研修の一部を  
受講した先生が同じように校内研修で実施する

### センター主事のサポート内容

- ◆「対話」をベースにした校内研修会を一緒に構想
- ◆研修講座で使用したシートや資料をそのまま準備、活用
- ◆依頼時間に合わせたタイムテーブル(進行計画)の提案
- ◆当日は学校訪問しICTの活用フォローやファシリテート等のフォローにあたる
- ◆オンラインでの実施希望にも対応



校内研修で  
同僚と対話  
学校

## どの講座でもサポートを受けることができます。

(一部サポートが難しい内容もありますのでご相談ください。)

### 教職員研修会サポート」申込方法 (※研修講座の受講前でも受講後でも申し込みいただけます)

- 1 日程調整……教頭先生から企画調査部へお電話いただき、日時等について調整。
- 2 申請書送付……申請書をHPからダウンロードいただき企画調査部へメールを送付。
- 3 研修会準備……担当主事と研修会の運営・内容を打合せ(センターから連絡がいきます)。
- 4 研修会当日……受講者が講師となり、研修会を実施(担当主事がサポートに入ります)。
- 5 研修会后……アンケートをHPからダウンロードいただき企画調査部へメールで送付。

【担当】総合教育センター 企画調査部

電話 0263-53-8802 電子メール sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

# 研修を欠席、遅刻、早退する場合の申請について

欠席、遅刻、早退の申請は「ながの電子申請サービス」から管理職が行ってください。

■ 電子申請の前に、必ず電話連絡をしてください。

- ◇指定研修 0263-53-8804 ( 所属長 から 教職教育部長 あてに)
- ◇希望研修 0263-53-8802 ( 管理職 から 企画調査部 あてに)

## 「ながの電子申請サービス」による申請の方法

当センターのホームページにある「欠席・遅刻・早退の電子申請はこちらから」のバナー(右図)をクリックし、パスワードを入力すると、指定研修用URLリンクと希望研修用URLリンクが表示された画面が開きます。該当のリンクから「ながの電子申請サービス」の入力フォームに移動します。  
(パスワードは年度当初に管理職に配付)



「ながの電子申請サービス」のフォームに必要事項を入力し、送信してください。 ※右ページ参照



送信後、「PDF ファイルを出力する」をクリックすると、入力内容が反映された「欠席・遅刻・早退届」の様式〔様式第 60 号 (指定研修)、様式第 71 号 (希望研修)〕(下図)が生成されますので、所属校で保管してください。

〔 様式第 60 号 (指定研修) 学校保管用 〕

様式第60号		令和 年 月 日	
研修種別	研修年度		
指定研修講座 届			
総合教育センター所属 様			
学校コード番号			
氏名		所属部署	
住所		電話番号	
このことについては、了解のとおりです。			
氏名	職名	職責番号	
氏名	職名	職責番号	
欠席・遅刻・早退の事由			
代替研修講座			
氏名	職名	職責番号	

〔 様式第 71 号 (希望研修) 学校保管用 〕

様式第71号		令和 年 月 日	
希望研修			
総合教育センター研修講座 届			
総合教育センター 所属 様			
学校コード番号			
氏名		所属部署	
住所		電話番号	
このことについては、了解のとおりです。			
届			
氏名	職名	職責番号	
氏名	職名	職責番号	
氏名	職名	職責番号	
欠席・遅刻・早退の事由			
※ 代替研修がある場合は、下の欄に代替研修番号を記入してください。			
なお、年度替り以降は、次の欄が使用されます。			
氏名	職名	職責番号	

欠席・遅刻・早退に係る申請

# 欠席・遅刻・早退に係る電子申請の方法 ～ながの電子申請サービス～

すでに利用者登録がお済みの方

利用者登録せずに申し込む方

[利用者登録せずに申し込む方はこちら >](#)

[利用者登録される方はこちら](#)

既に利用者登録がお済みの方

利用者IDを入力してください

利用者登録時に使用したメールアドレス、  
または各手続の担当部署から受領したIDをご入力ください。

利用者IDとパスワードを  
入力して、ログインをクリック

パスワードを入力してください

利用者登録時に設定していたパスワード、  
または各手続の担当部署から受領したパスワードをご入力ください。  
忘れた場合、「パスワードを忘れた場合はこちら」より再設定してください。

メールアドレスを変更した場合は、ログイン後、利用者情報のメールアドレスを変更ください。

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

[ログイン >](#)

次ページへ

[同意する >](#)

次ページへ

[利用者登録せずに申し込む方はこちら >](#)

[利用者登録される方はこちら](#)

既に利用者登録がお済みの方

利用者IDを入力してください

利用者登録時に使用したメールアドレス、  
または各手続の担当部署から受領したIDをご入力ください。

パスワードを入力してください

利用者登録時に設定していたパスワード、  
または各手続の担当部署から受領したパスワードをご入力ください。  
忘れた場合、「パスワードを忘れた場合はこちら」より再設定してください。

メールアドレスを変更した場合は、ログイン後、利用者情報のメールアドレスを変更ください。

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

[ログイン >](#)

次ページへ

[同意する >](#)

次ページへ

申請者を入力してください。 **必須**

この届けの申請を行う管理職の方の氏名を入力してください。

氏：  名：

連絡先メールアドレス **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先のメールアドレス（管理職と連絡がとれるメールアドレス）を入力してください。（半角入力）

メールアドレス

電話番号を入力してください。 **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先の電話番号（管理職と連絡がとれる電話番号）を市外番号から入力してください。（半角入力）

例) 0263-53-8800

電話番号

すでに申請者氏名、メールアドレス、電話番号は入力されています。残りの項目を入力して下さい。

入力後

[確認へ進む >](#)

次ページへ

[申込み >](#)

申請者を入力してください。 **必須**

この届けの申請を行う管理職の方の氏名を入力してください。

氏：  名：

連絡先メールアドレス **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先のメールアドレス（管理職と連絡がとれるメールアドレス）を入力してください。（半角入力）

メールアドレス

電話番号を入力してください。 **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先の電話番号（管理職と連絡がとれる電話番号）を市外番号から入力してください。（半角入力）

例) 0263-53-8800

電話番号

申請者氏名、メールアドレス、電話番号は入力されていません。これらの入力も含めて残りの項目を入力して下さい。

入力後

[確認へ進む >](#)

次ページへ

[申込み >](#)

# 研修講座の基本日程

終日開催	
受付	9:10 ~ 9:35
午前の研修	9:40 ~ 12:00
昼食	12:00 ~ 13:00
午後の研修	13:00 ~ 16:10

半日開催		
午前	受付	9:10 ~ 9:35
	研修	9:40 ~ 12:10
午後	受付	13:10 ~ 13:35
	研修	13:40 ~ 16:10

## 研修講座を欠席・遅刻・早退する場合のお願い

必ず、管理職を通じて申請をしてください。  
緊急の場合も同様です。手続きについてはp.82を参照してください。  
連絡先は次のとおりです。

指定研修 0263-53-8804 (教職教育部)

希望研修 0263-53-8802 (企画調査部)